

特 別 史 跡
名 古 屋 城 跡
保 存 活 用 計 画

資料編

資料編

資料編

資料-1 名古屋城跡関連年表.....	資料編-1
資料-2 文献・絵図・古写真等	資料編-7
資料-3 『金城温古録』に記録された植栽	資料編-68
資料-4 引用・参考文献.....	資料編-72
資料-5 用語の解説	資料編-75

資料-1 名古屋城跡関連年表

表 名古屋城跡の主なできごと

和暦	西暦	藩主・管理者	事項
大永年間	1521～1528 年	—	・ 駿河国主今川那古野氏が「那古野城」を築き、氏豊を城主とする
天文 7 年	1538 年		・ この頃、織田信秀が那古野城を奪取
天文 15 年	1546 年		・ この頃、織田信秀が古渡城を築き居城とし、信長に那古野城を譲る
天文 24 年 弘治元年	1555 年		・ 織田信長が清須城に移り、織田信光を那古野城主とする
天正 10 年	1582 年		・ 信光が家臣に殺害され、重臣であった林秀貞が那古野城主となる
慶長 5 年	1600 年		・ この頃、那古野城が廃城となる
慶長 8 年	1603 年		・ 関ヶ原の戦い
慶長 12 年	1607 年		・ 徳川家康が四男の松平忠吉に尾張一国を与え、忠吉が清須城城主となる
慶長 13 年	1608 年		・ 徳川家康が征夷大將軍に任命され、江戸幕府が開かれる
慶長 14 年	1609 年		・ 松平忠吉没する
慶長 15 年	1610 年	初代 義直	・ 徳川家康が九男義直を甲府から清須に移封
慶長 17 年	1612 年		・ 將軍秀忠が義直に尾張国一円を領地として与える
慶長 18 年	1613 年		・ 徳川家康が名古屋城築城を決定（「名古屋遷府令」）
慶長 19 年	1614 年		・ 公儀普請により名古屋城築城開始
慶長 20 年 元和元年	1615 年		・ 本丸・二之丸・西之丸・御深井丸などの石垣がほぼ完成
元和 2 年	1616 年		・ この頃、福島正則により堀川の開削を開始
元和 2～7 年	1616～1621 年		・ 大天守・小天守完成
元和 3 年	1617 年		・ この頃に東南隅櫓、西南隅櫓、本丸表二之門、二之丸大手二之門、二之丸東二之門が完成
元和 5 年	1619 年		・ 城下の検地と町割を実施
元和 6 年	1620 年		・ 諸士や町人の城下への住居が決定され、これ以降「清須越し」が行われる
寛永 5 年	1628 年		・ 三之丸堀、土塁、諸門が完成
寛永 7 年	1630 年		・ 暴風雨のため天守台北東石垣崩壊し福島正則が修復
寛永 10 年	1633 年		・ 二之丸に旧南御庭完成（御宿館の庭か）
寛永 11 年	1634 年		・ 本丸御殿完成
慶安 4 年	1651 年		・ 本丸御殿で義直と紀州和歌山藩主浅野幸長娘春姫との婚儀が行われる
寛文 2～3 年	1662～1663 年		・ 義直が尾張に正式に入国し、駿府城から名古屋城に居を移す
寛文 3 年	1663 年		・ この間に二之丸堀の建造と三之丸の枳形を石垣にする許可が下りる
寛文 4 年	1664 年		・ 二之丸御殿完成
寛文 5 年	1665 年		・ 三之丸に東照宮創建
寛文 9 年	1669 年	2代 光友	・ この頃、西北隅櫓完成
寛文 13 年 延宝元年	1673 年		・ 義直が二之丸御殿に居を移す（以後、歴代城主が居住）
延宝 7 年	1679 年		・ この頃、二之丸庭園（北御庭）が完成か
天和 2 年	1682 年		・ 雨により崩壊した二之丸石垣修復の許可が下りる
元禄 2 年	1689 年		・ 本丸御殿に上洛殿などを増築
元禄 7 年	1694 年		・ 將軍家光が上洛に際して本丸御殿に宿泊
元禄 12 年	1699 年		・ この頃、下御深井御庭を作庭
元禄 15 年	1702 年		・ 二之丸庭園の改修に着手
元禄 16 年	1703 年		・ この間に土居を崩しての三之丸水道修復と堀川から三之丸巾下へ堀を築いて取水することの許可が下りる
			・ 二之丸南の尾張藩家老竹腰・成瀬の両邸を三之丸へ移し、以後馬場や矢場等で構成される向屋敷を整備
		3代 綱成	・ 二之丸黒門と多聞（長屋）が完成
			・ 二之丸庭園権現山に熊野社・愛宕社を勧請
			・ 破損による二之丸多門下石垣内側 5 ケ所、外側 7 ケ所の修復許可が下りる
			・ 大天守の壁・屋根回りを修理（以後、元文 5 年（1740）に至るまで 13 回にわたり大小の修繕が行われる）
		4代 吉通	・ 崩れによる御園門枳形石垣の修復と三之丸北西の水道修復の許可が下りる
			・ 崩れによる二之丸東門（東鉄門）外側南方の堀下の石垣修復許可が下りる
			・ 破損により三之丸南方の土居下の水道修復
			・ 崩れと孕みによる本丸惣構東北隅石垣、三之丸水道の修復許可が下りる
			・ 裏土崩れによる二之丸惣構東方の堀道通石垣と三之丸水道の修復許可が下りる
			・ 崩れによる二之丸西鉄門土橋の石垣修復許可が下りる
			・ 三之丸の水道修復許可が下りる
			・ 三之丸の水道修復許可が下りる
			・ 崩れによる二之丸東の石垣と堀の修復許可が下りる

和暦	西暦	藩主・管理者	事項
宝永 5 年	1709 年	4 代 よしきちる 吉通	・ 本丸 3 ケ所、西之丸 1 ケ所、二之丸 11 ケ所の石垣と西之丸の水道修復許可が下りる
宝永 7 年	1710 年		・ 東南隅櫓修理
享保 5 年	1720 年	6 代 つぐとも 継友	・ 三之丸の水道修復許可が下りる
享保 9 年	1724 年		・ 二之丸庭園の聖堂を法蔵寺（現在の名古屋市中村区）に移築 ・ 三之丸の水道修復許可が下り、従来の木製の水道から石製の水道に造り替える
享保 12 年	1727 年		・ 孕みと崩れにより本丸 3 ケ所、二之丸 5 ケ所の石垣修復許可が下りる
享保 13 年	1728 年		・ 三之丸の水道修復許可が下りる ・ 本丸御殿屋根を柿葺から棧瓦葺に改修
享保 15 年	1730 年	7 代 むねはる 宗春	・ 金鯨が金網で覆われる
寛保 2 年	1742 年	8 代 むねかつ 宗勝	・ 金蔵が完成
寛延 3 年	1750 年		・ 本丸大天守台が沈下し、石垣が根本的に大修理を必要とする程度の孕みが発生
宝暦 2 年	1752 年		・ 宝暦 5 年（1755）まで、天守石垣の不同沈下による傾きを修正し、天守の一部解体、二、三、四重目の土瓦を五重目と同じ銅瓦に葺替えるなどの大修理を実施（宝暦の大修理）
寛政 11 年	1799 年	9 代 むねちか 宗睦	・ 東南隅櫓屋根修理
享和 2 年	1802 年	10 代 なりとも 斉朝	・ 西北隅櫓修理
文化 10 年	1813 年		・ 二之丸庭園の改修に着手か
文政 5 年	1822 年		・ 旧南御庭撤去（能舞台を移設して薪石の庭に）
文政 6 年	1823 年		・ この頃、二之丸庭園で「御城御庭絵図」の姿が完成か
文政 10 年	1827 年	11 代 なりはる 斉温	・ 斉朝の隠居に伴い御深井丸の新御殿を造営
天保 7 年	1836 年		・ 二之丸御殿の改修
天保 13 年	1842 年	12 代 なりたか 斉荘	・ 藩命により尾張藩士である奥村得義が『金城温古録』の執筆開始
安政 7 年 万延元年	1860 年	15 代 もちなが 茂徳	・ 奥村得義が『金城温古録』前半の清書本を藩に献上
慶応 3 年	1867 年	16 代 よしのり 義宣	・ 二条城で大政奉還が行われる ・ 王政復古の号令により新政府が発足
慶応 4 年 明治元年	1868 年		・ 前藩主・徳川慶勝が佐幕派の藩士 14 名を処刑（青松葉事件）
明治 2 年	1869 年		・ 版籍奉還により、名古屋藩となる ・ 二之丸庭園にあった御茶屋「風信」を現在の名古屋市西区児玉へ移築
明治 4 年	1871 年		・ 金鯨が天守から引き下ろされ、宮内省に献納 ・ 廃藩置県により名古屋藩と犬山藩が合併して名古屋県となる ・ 名古屋に東京鎮台第三分営が置かれる ・ 猿面茶席を現在の名古屋市千種区へ移築
明治 5 年	1872 年	陸軍省	・ 名古屋県と額田県が合併して愛知県となる ・ 6 月、名古屋城本丸に東京鎮台第三分営が置かれ、天守を仮兵舎、本丸御殿を本部として利用。9 月、二之丸が陸軍省の所管となる ・ 東京湯島聖堂で開催された日本最初の博覧会に名古屋城天守の金鯨（雄）が出品
明治 6 年	1873 年		・ 東京鎮台第三分営が名古屋鎮台に改称 ・ 全国城郭ノ処分並兵営地等撰定方（廃城令）が出されるが陸軍省所管となっていた名古屋城は廃城を免れるが、本丸を除く建造物等の撤去が進められ、二之丸御殿や本町門、御園門、巾下門など二之丸・三之丸の諸建築を撤去 ・ 金鯨（雌）をオーストリア・ウィーンの万国博覧会に出品 ・ この頃、吉田昭和が二之丸庭園前庭を作庭 ・ この頃、二之丸にあった御茶屋「余芳」を現在の名古屋市西区児玉に移築
明治 7 年	1874 年		・ 二之丸に兵舎が新築され天守の仮兵舎はこれに移る ・ 三之丸が陸軍省所管となる
明治 8 年	1875 年		・ 東照宮が三之丸外に移される
明治 9 年	1876 年		・ 築城前から三之丸に鎮座していた那古野神社が三之丸外に遷座
明治 10 年代	1877～ 1886 年		・ この頃、御深井丸に乃木倉庫が完成（建築年代は諸説あり）
明治 12 年	1879 年		・ 金鯨を天守に引き上げ ・ 射撃場として利用するため、三之丸東北端の土塁に射塚を増築 ・ 陸軍省、内務省、大蔵省により名古屋城が姫路城とともに永久保存する方針とされる
明治 13 年	1880 年		・ 陸軍省による本丸の櫓、多聞櫓の修繕（明治 15 年（1882）まで）
明治 14 年	1881 年		・ 三之丸庭園を造営（旧二之丸庭園の一部を元陸軍将校クラブ偕行社内に移築か）
明治 20 年	1887 年		・ 三之丸に司令部新庁舎が完成し本丸御殿から移る
明治 21 年	1888 年		・ 名古屋鎮台が第三師団に改称
明治 22 年	1889 年		・ 市町村制施行により名古屋市が成立する ・ 下御深井御庭が徳川家から陸軍省へ移管となり練兵場として整備

和暦	西暦	藩主・管理者		事項
明治 24 年	1891 年	陸軍省		・皇室経済会議で名古屋城の陸軍省から宮内省への移管が議決 ・濃尾地震が発生し本丸の多聞櫓、西之丸の榎多門などが大破、二之丸東二之門門外の南側石垣の一部が崩壊。石垣は本丸（内堀含め）17 面、西之丸 15 面、御深井丸 3 面に崩落、孕みが生じ、御深井丸に 1 箇所地割れが生じる
明治 26 年	1893 年	（本丸、西之丸、宮内省御深井丸）	（二之丸陸軍省）	・6 月 2 日 本丸と西之丸東部が陸軍省から宮内省に移管となり、名古屋離宮となる（官報第 2976 号 官廳事項）
明治 30 年	1897 年			・翌年（1898）にかけて二之丸南側（二之丸東門（東鉄門）から二之丸大手門（西鉄門）までの間）の滞水していた堀が空堀化
明治 35 年	1902 年			・陸軍省所管の水堀を男爵 黒川通軌に無償貸与 ・奥村得義養子 定が『金城温古録』の後半清書本を尾張徳川家に献上
明治 42 年	1909 年			・西之丸全域と御深井丸、水堀の一部が陸軍省から宮内省に移管 ・陸軍省が(株)瀬戸電気鉄道による三之丸南・東外堀への鉄道敷設のための借地申請を許可し、鉄道敷設工事によって東門・本町門・御園門の枳形が改変、各土橋を開削 ・三之丸西側の外堀が民有地となり埋め立てられる
明治 43 年	1910 年			・濃尾大地震により大破した榎多門を撤去し、旧江戸城蓮池門を移築（翌年完成） ・小天守、東北隅櫓、東南隅櫓、西南隅櫓、西北隅櫓、本丸表一之門、正門に旧江戸城の鯨を取り付け
明治 44 年	1911 年			・三之丸東・南外堀全域に瀬戸電気鉄道外堀線開通（土居下駅～堀川駅間）
大正 5 年	1916 年			・西北隅櫓修理
大正 8 年	1919 年			・この頃、宮内省内匠寮が名古屋離宮の実測図作成に着手
大正 10 年	1921 年			・暴風雨により崩壊した西南隅櫓と櫓台石垣を修復（大正 12 年まで）
大正 11 年	1922 年			・陸軍省から借用していた鉄道用地が(株)瀬戸電気鉄道の所有となる
大正 12 年	1923 年			・三之丸南西端の土地が(株)日本放送協会の所有地となる（戦後に一部がアメリカ合衆国、後に名古屋市開発公社の所有となったが、現在は名古屋市と愛知県の所有）
昭和 4 年	1929 年			・本町門西の三之丸土塁に接する土地が陸軍省から名古屋市に払い下げ（現在は愛知縣護国神社の所有）
昭和 5 年	1930 年	（本丸、西之丸、名古屋御深井丸）	（二之丸陸軍省）	・12 月 11 日 名古屋離宮が廃止となり名古屋市に下賜され、本丸・西之丸・御深井丸が名古屋市所管となる（宮内省告示第 37 号） ・12 月 13 日 元離宮名古屋城内城郭建造物 24 棟が国宝（旧国宝）に指定（12 月 13 日 文部省告示第 239 号）
昭和 6 年	1931 年			・愛知県史蹟名勝天然記念物調査会が名古屋城を調査した内容を報告書にまとめる ・名古屋城管理事務所を設置 ・名古屋城の一般公開開始（二之丸を除く） ・名城公園開園
昭和 7 年	1932 年			・国宝建造物 24 棟の実測調査を開始（「昭和実測図」） ・7 月 25 日 名古屋城のカヤが天然記念物に指定（文部省告示第 192 号） ・12 月 12 日 本丸・西之丸・御深井丸・水堀・二之丸空堀・三之丸土塁・外堀等が史跡指定を受け「史蹟 名古屋城」となる（文部省告示第 234 号） 民有 20 筆、国有 6 筆 指定総面積 26 筆 117,992.16 坪(390,056.72 m²)
昭和 8 年	1933 年			・水堀が陸軍省から文部省所管となる ・4 月 26 日 陸軍省所管部分を除く史跡指定地の管理者に名古屋市が指定 ・三之丸南東の大津通に接する土塁の開削、堀上に架橋し、三之丸外堀から市庁舎前までの大津町線道路が延長開通 ・三之丸に名古屋市庁舎を建設
昭和 10 年	1935 年			・5 月 15 日、御園橋西の土塁 48.63 坪が史跡に追加指定（文部省告示第 197 号） 指定総面積 27 筆 118,040.79 坪（390,217.48 m²） ・三之丸本町門西の三之丸土塁に接する土地に官祭招魂社（現在の愛知縣護国神社）が遷座
昭和 12 年	1937 年			・重森三玲による二之丸庭園実測調査
昭和 13 年	1938 年			・三之丸に愛知県庁舎が建設
昭和 15 年	1940 年			・「ガラス乾板写真」の撮影を開始（翌年（1939）まで）
昭和 17 年	1942 年			・6 月 26 日 旧本丸御殿障壁画 345 面附 16 面が国宝（旧国宝）に指定（文部省告示第 519 号）
昭和 20 年	1945 年			・旧本丸御殿障壁画等を乃木倉庫・西北隅櫓に移す ・5 月 14 日の大空襲により天守、旧本丸御殿をはじめとする主要な建造物が焼失し、東南隅櫓・西南隅櫓・西北隅櫓・表二之門・二之丸東二之門・二之丸大手二之門の 6 棟を残すのみとなる ・焼失を免れた旧本丸御殿障壁画の一部を灰宝神社（現在の豊田市）へ疎開 ・終戦後、二之丸が大蔵省（現財務省）所管となる

和暦	西暦	藩主・管理者	事項
昭和 21 年	1946 年	名古屋市	・疎開していた旧本丸御殿障壁画を名古屋城に戻す ・名古屋城公開を再開
昭和 23 年	1948 年		・二之丸の旧兵舎が名古屋大学校舎として利用開始され、翌年（1949）から名古屋学生会館としても利用開始
昭和 24 年	1949 年		・御深井丸に猿面望嶽茶席・書院・次之間・五畳座敷を新築、又隠茶席移築
昭和 25 年	1950 年		・文化財保護法施行により西南隅櫓、東南隅櫓、西北隅櫓、本丸表二之門、旧本丸御殿障壁画 199 面附 16 面が重要文化財に指定
昭和 26 年	1951 年		・旧本丸御殿障壁画を展示するための絵画館（西之丸展示館）を西之丸に建設
昭和 27 年	1952 年		・3 月 29 日 「史蹟 名古屋城」が特別史跡に指定され、「特別史跡名古屋城跡」になる（昭和 29 年（1954）8 月 11 日 文化財保護委員会告示第 34 号）指定総面積 27 筆 118,040.79 坪(390,217.48 m ²)※史跡指定時の地番地積をそのまま踏襲 ・大天守・小天守台石垣の積替え修復を実施（昭和 31 年まで） ・東南隅櫓を解体修理（昭和 28 年まで）
昭和 28 年	1953 年		・3 月 31 日 二之丸庭園北御庭の一部と前庭が大蔵省から文部省に移管となり、名勝に指定され、「名勝名古屋城二之丸庭園」となる（昭和 29 年（1954）8 月 3 日 文化財保護委員会告示第 31 号） ・二之丸庭園北御庭池底の改修（昭和 30 年（1955）まで）
昭和 30 年	1955 年		・6 月 22 日 旧本丸御殿障壁画 132 面が重要文化財に追加指定（文化財保護委員会告示第 38 号） ・御深井丸に織部堂建設
昭和 31 年	1956 年		・大天守・小天守・剣堀（橋台）・正門の再建が決定し、名古屋城再建準備委員会が発足 ・6 月 28 日 旧本丸御殿障壁画天井板絵 331 面附 369 面が重要文化財に指定（文化財保護委員会告示第 29 号）
昭和 32 年	1957 年		・天守の再建工事開始
昭和 34 年	1959 年		・旧本丸御殿障壁画天井板絵を修理（翌年（1958）まで） ・大天守閣・小天守閣・剣堀（橋台）・正門（榎多門）が完成
昭和 37 年	1962 年		・西北隅櫓の解体修理（昭和 39 年まで） ・天守閣が博物館相当施設に認定
昭和 38 年	1963 年		・二之丸から名古屋大学が移転 ・大蔵省から名古屋市が二之丸南の無償貸付を受け、愛知県への設置許可により翌年（1964）愛知県体育館が建設される ・二之丸大手二之門、二之丸東二之門を解体（解体部材は保管） ・二之丸東門桁形西側石垣を愛知県体育館園路拡張のために 9m 撤去
昭和 40 年頃	1965 年		・この頃までに国道 22 号線（伏見通）の新設に伴い、御園橋東と巾下門南の土塁が分断撤去、御園橋東に新御園橋を架橋 ・市道新出来町線の拡幅工事と清水橋架橋により、三之丸東門北側土塁の一部が撤去
昭和 40 年	1965 年		・10 月 28 日 名古屋市が名勝名古屋城二之丸庭園の管理者に指定（文化財保護委員会告示第 63 号）
昭和 41 年	1966 年		・2 月 9 日 昭和 8 年（1933）史跡指定地管理者未指定部分と昭和 10 年（1935）の追加指定部分の管理者に名古屋市が指定（文化財保護委員会告示第 2 号） ・二之丸の東入口を整備
昭和 42 年	1967 年		・二之丸大手二之門を復原 ・二之丸広場を整備 ・二之丸庭園の名勝指定区域を一般公開 ・大津町線の道路拡幅工事により大津町線に接する三之丸土塁をさらに掘削
昭和 43 年	1968 年		・旧本丸御殿障壁画天井板絵を修理（昭和 46 年まで）
昭和 45 年	1970 年		・豪雨により御深井丸北側の石垣が延長 32m にわたって崩壊したため補修工事を実施
昭和 46 年	1971 年		・昨年の豪雨を契機とし、はらみ状態の著しい箇所、戦災による焼石の多い箇所を中心に城内の石垣の現状調査実施
昭和 47 年	1972 年		・旧二之丸東二之門を本丸東二之門跡へ移築
昭和 48 年	1973 年		・旧兵舎である名古屋学生会館（西側棟）から出火 ・東南隅櫓屋根葺替えと部分修理 ・本丸表二之門屋根葺替えと部分修理
昭和 49 年	1974 年		・旧本丸御殿障壁画杉戸絵修理（翌年（1975）まで） ・旧兵舎である名古屋学生会館（東側棟）から出火、その後建物を撤去 ・大蔵省から名古屋市が名勝指定範囲以外の二之丸北の無償貸付を受ける
昭和 50 年代	1975～1984 年		・御深井丸西部に池や植栽等の整備を行う
昭和 50 年	1975 年		・6 月 23 日 二之丸大手二之門、旧二之丸東二之門（本丸東二之門）が重要文化財に指定される（文部省告示第 103 号） ・昭和 50 年度～平成 13 年度まで各所の石垣補修工事を開始 ・塩蔵門跡（東側）石垣修復工事 ・東庭園、南池の試掘調査実施

和暦	西暦	藩主・管理者	事項
昭和 51 年	1976 年	名古屋市	・名古屋鉄道瀬戸線栄乗り入れが決定し、土居下駅～堀川駅間が廃線となり三之丸外堀の鉄道施設撤去工事開始（昭和 53 年（1978）乗り入れ開始） ・東庭園、南池の発掘調査実施 ・不明門跡石垣修復工事（翌年（1977）まで）
昭和 52 年	1977 年		・東庭園、南池の発掘調査実施 ・6 月 27 日 二之丸内と三之丸北東の土塁（いずれも財務省所管地）が、文化財保護審議会（平成 13 年には他の審議会と整理・統合され文化審議会となる）から特別史跡に追加指定すべき箇所として答申されるも告示はされず
昭和 53 年	1978 年		・本丸不明門を復元 ・東庭園の整備 ・本丸東一之門跡（東側）石垣修復工事（翌年（1979）まで）
昭和 54 年	1979 年		・二之丸東庭園公開
昭和 55 年	1980 年		・元御春屋門跡石垣修復工事
昭和 56 年	1981 年		・水堀に工業用水を導入開始 ・東南隅櫓南二之丸境石垣修復工事
昭和 57 年	1982 年		・御深井丸展示館完成 ・本丸表一之門跡（北側）石垣修復工事（翌年（1983 年）まで）
昭和 58 年	1983 年		・猿面茶席屋根葺替え修理
昭和 59 年	1984 年		・名古屋城博開催に伴い金鯱を天守閣から下ろす ・本丸表一之門跡（南側）石垣修復工事（翌年（1985 年）まで）
昭和 60 年	1985 年		・小天守収蔵庫の全面改修工事（専用棚、空調設備、消火設備、警備設備が導入）
昭和 61 年	1986 年		・塩蔵門跡（西側）石垣修復工事（昭和 63 年まで） ・旧本丸御殿障壁画の継続的な修理を開始（～現在）
昭和 63 年	1988 年		・東南隅櫓屋根葺替えと部分修理 ・西北隅櫓屋根葺替えと部分修理
昭和 64 年 平成元年	1989 年		・東南隅櫓壁・屋根修理 ・本丸東一之門跡（西側）石垣修復工事（平成 3 年まで）
平成 2 年	1990 年		・大天守閣に美術品専用展示ケース導入
平成 4 年	1992 年		・本丸御殿障壁画復元模写開始 ・くるみ林・塩蔵構境石垣修復工事（翌年（1993）まで）
平成 5 年	1993 年		・石垣の状況の変化について縦断測量及び現況写真による調査実施
平成 6 年	1994 年		・塩蔵構南面石垣修復工事 ・台風により二之丸東二之門跡北側石垣の北面が崩壊したため補修工事を実施
平成 7 年	1995 年		・二之丸東二之門跡北側・二之丸東面石垣修復工事（翌年（1996 年）まで）
平成 9 年	1997 年		・乃木倉庫が国登録有形文化財に指定 ・大天守閣にエレベーター棟を増築 ・塩蔵構南面石垣修復工事
平成 10 年	1998 年		・二之丸東一之門跡西面石垣修復工事
平成 11 年	1999 年		・水堀の水質浄化対策実施 ・二之丸東二之門跡石垣修復工事
平成 12 年	2000 年		・不明門北東石垣修復工事（翌年（2001 年）まで）
平成 14 年	2002 年		・本丸搦手馬出周辺石垣の修復工事に着手（～現在）
平成 17 年	2005 年		・金鯱を天守から下ろし愛知万博（愛・地球博）開会式に出品 ・「新世紀・名古屋城博」に金鯱を出品
平成 21 年	2009 年		・本丸御殿復元整備に着手
平成 22 年	2010 年		・西南隅櫓を半解体修理（平成 27 年まで） ・本丸東二之門（旧二之丸東二之門）を解体修理（平成 25 年まで） ・天守閣の耐震診断実施 ・御茶屋「余芳」の解体部材が民間から名古屋市へ寄贈
平成 23 年	2011 年		・翌年（2012）にかけて名古屋城のカヤの根・土壌外観調査、土壌透水試験、土壌貫入試験、土壌物理性・化学性試験、周辺環境調査、幹・枝の腐食状況調査を実施
平成 24 年	2012 年		・旧名古屋鉄道瀬戸線用地の鉄道用地として必要な部分以外が、名古屋鉄道株式会社から名古屋市と国土交通省に寄贈 ・本丸表二之門両袖土塀の補修工事
平成 25 年	2013 年		・名古屋城のカヤの土壌改良を実施 ・本丸御殿玄関・表書院公開 ・二之丸庭園保存修復整備に着手し、笹巻山の発掘調査、笹巻山(植栽)・権現山(植栽)を修復
平成 26 年	2014 年		・二之丸大手二之門の耐震診断調査 ・二之丸庭園の権現山東・栄螺山・多春園の発掘調査、権現山(築山・植栽)・笹巻山(築山・石組)を修復 ・名古屋城のカヤの土壌改良とロープ柵範囲拡大を行う

和暦	西暦	藩主・管理者	事項
平成 27 年	2015 年	名古屋市	・ 二之丸庭園の北園地東・多春園・奥御文庫・二子山・園路の発掘調査、権現山(石段・社跡・築山)を修復
平成 28 年	2016 年		・ 二之丸庭園の北園地・栄螺山・園路の発掘調査、権現山(築山)・栄螺山(築山・石組)を修復 ・ 本丸御殿対面所・下御膳所公開 ・ 西の丸展示館（旧絵画館）撤去
平成 30 年	2018 年		・ 2 月 13 日 二之丸庭園全体の区域が名勝に追加指定（文部科学省告示第十七号）

資料-2 文献・絵図・古写真等

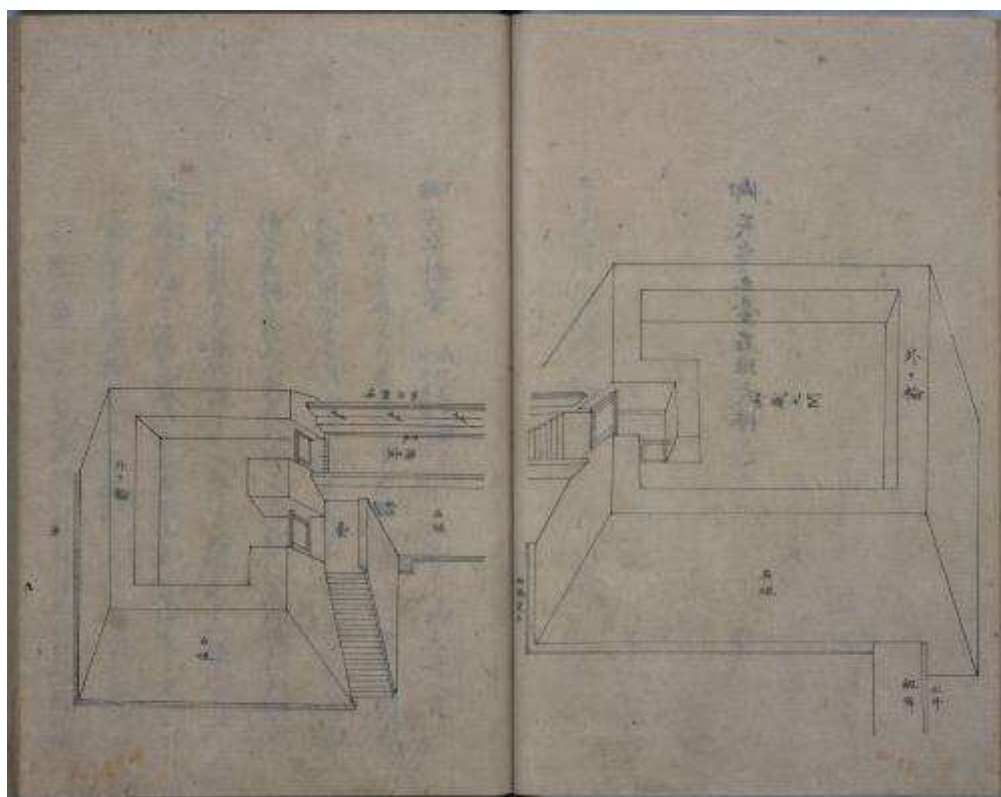
■文献

	史資料名	時代	所蔵
1	御天守御修復留	宝暦2年(1752)	名古屋市蓬左文庫
2	事蹟録	宝暦13年(1763)	徳川林政史研究所
3	敬公実録	文化元年(1808)	名古屋市蓬左文庫 名古屋市鶴舞中央図書館
4	国秘録 第四十九冊 御本丸記事「御本丸御殿画評」	天保6年(1835)	徳川林政史研究所
5	金城温古録 草稿本	安政5年(1858)	(公財)東洋文庫
6	柳城禁図	安政5年(1858)	(一財)名古屋城振興協会
7	金城温古録	万延元年(1860)	名古屋市蓬左文庫
8	源敬様御代御記録	江戸時代後期	徳川林政史研究所
9	金城温古録	江戸時代後期～明治35年(1902)	名古屋市蓬左文庫
10	金鷄尾貢献並城内建物取毀ノ儀伺 「公文録 明治二年 第一四六巻」	明治3年(1870)	国立公文書館
11	金城温古録	明治初年頃まで	(公財)東洋文庫
12	金鷄尾復旧之儀二付伺 「大日記 明治十一年七月 六鎮台」	明治11年(1878)	防衛省防衛研究所図書館
13	金城録 写本	明治23年(1890)	宮内庁書陵部宮内公文書館
14	金城温古録付録 名古屋城・天守閣図画 写本	明治26年(1893)以降か	名古屋城総合事務所
15	蓬佐年代詳聞録 写本	明治42年(1909)	名古屋市鶴舞中央図書館
16	蓬佐遷府記稿 写本	明治42年(1909)	名古屋市鶴舞中央図書館
17	金城温古録	明治42年(1909)	名古屋市鶴舞中央図書館
18	金城温古録 写本	明治42年(1909)	名古屋市鶴舞中央図書館
19	金城温古録 写本	明治42年(1909)	(公財)東洋文庫
20	金府記較 写本	明治43年(1910)	名古屋市鶴舞中央図書館
21	金城温古録 写本	明治	名古屋城総合事務所
22	金城録絵図 写本	明治	名古屋城総合事務所
23	金城温古録付属 御天守御豊因数図 写本	明治	名古屋城総合事務所
24	金城録 写本	明治から大正	名古屋城総合事務所
25	蓬佐遷府記稿 写本	大正15年(1926)	名古屋城総合事務所
26	編年大略	不明	国立国会図書館 徳川林政史研究所 東京大学史料編纂所 名古屋市蓬左文庫



金城温古録

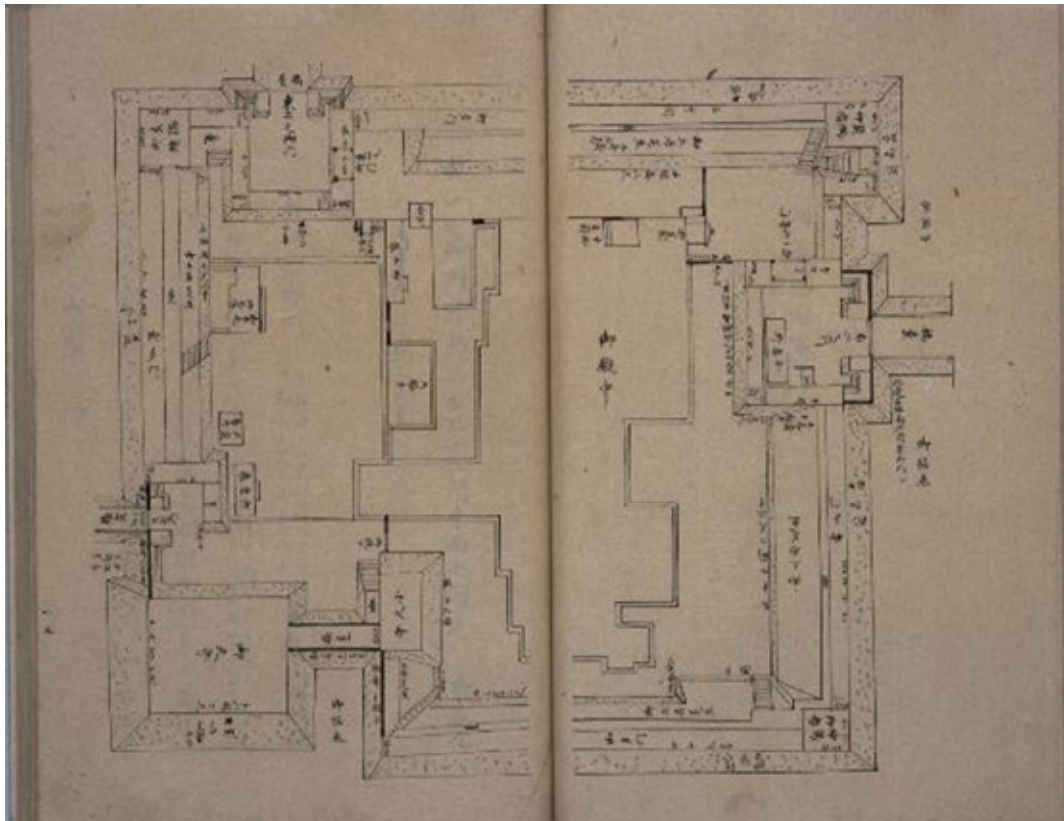
江戸時代後期～明治 35 年（1902） 名古屋市蓬左文庫所蔵



金城温古録

卷 10 御天守編之三 御天守部「御天守土台石垣大体」

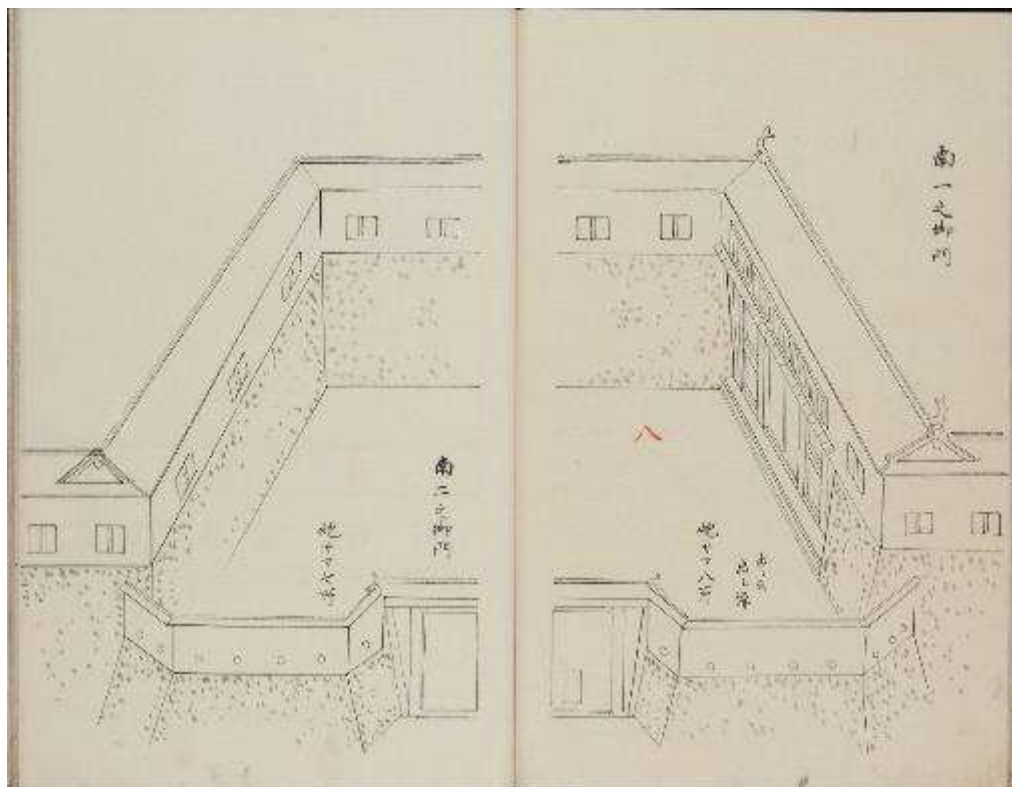
江戸時代後期～明治 35 年（1902） 名古屋市蓬左文庫所蔵



金城温古録

卷 16 御天守編之一 大手部「御本丸細見」

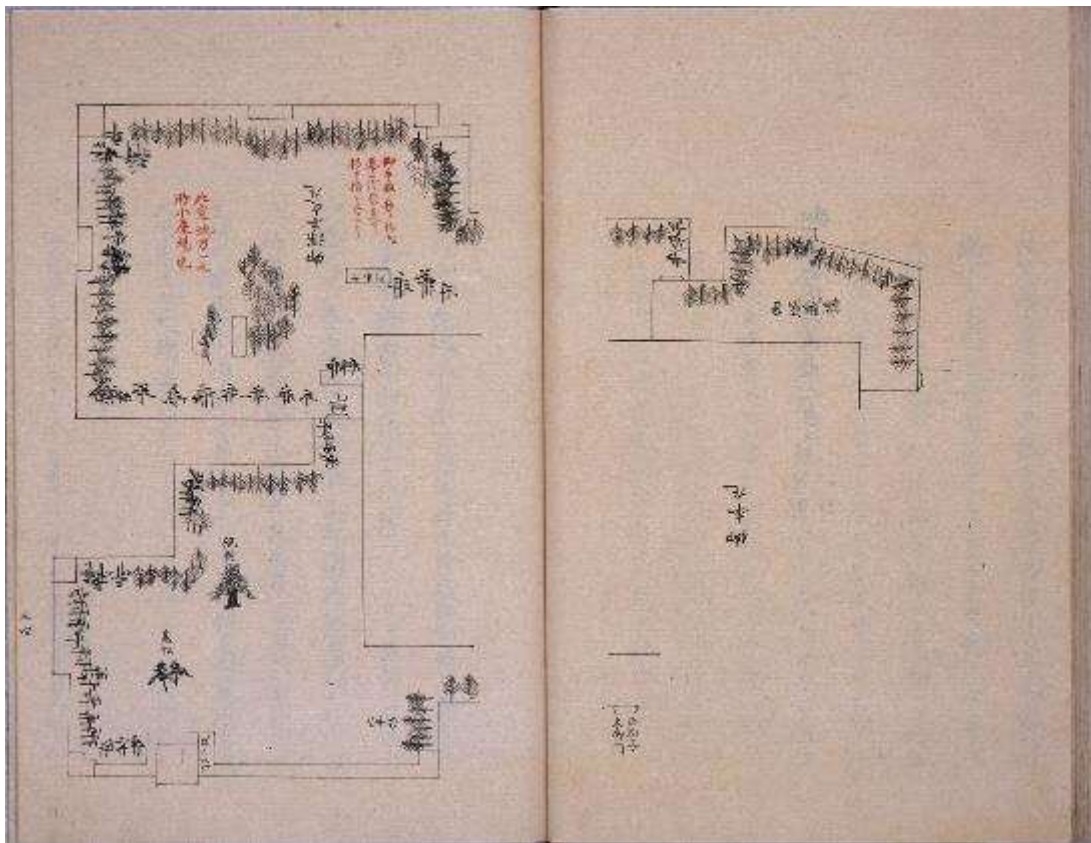
江戸時代後期～明治 35 年（1902） 名古屋市蓬左文庫所蔵



金城温古録

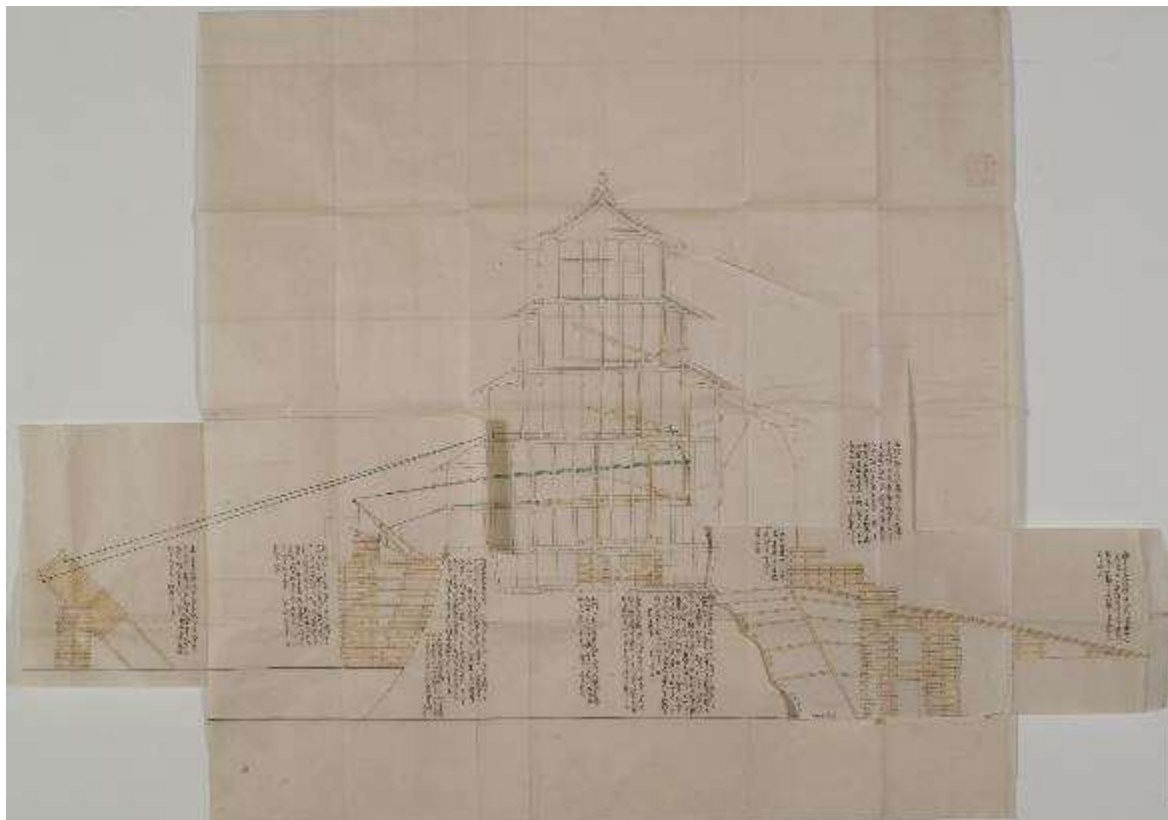
卷 23 御本丸編之八 図彙部「南一之御門」

江戸時代後期～明治 35 年（1902） 名古屋市蓬左文庫所蔵

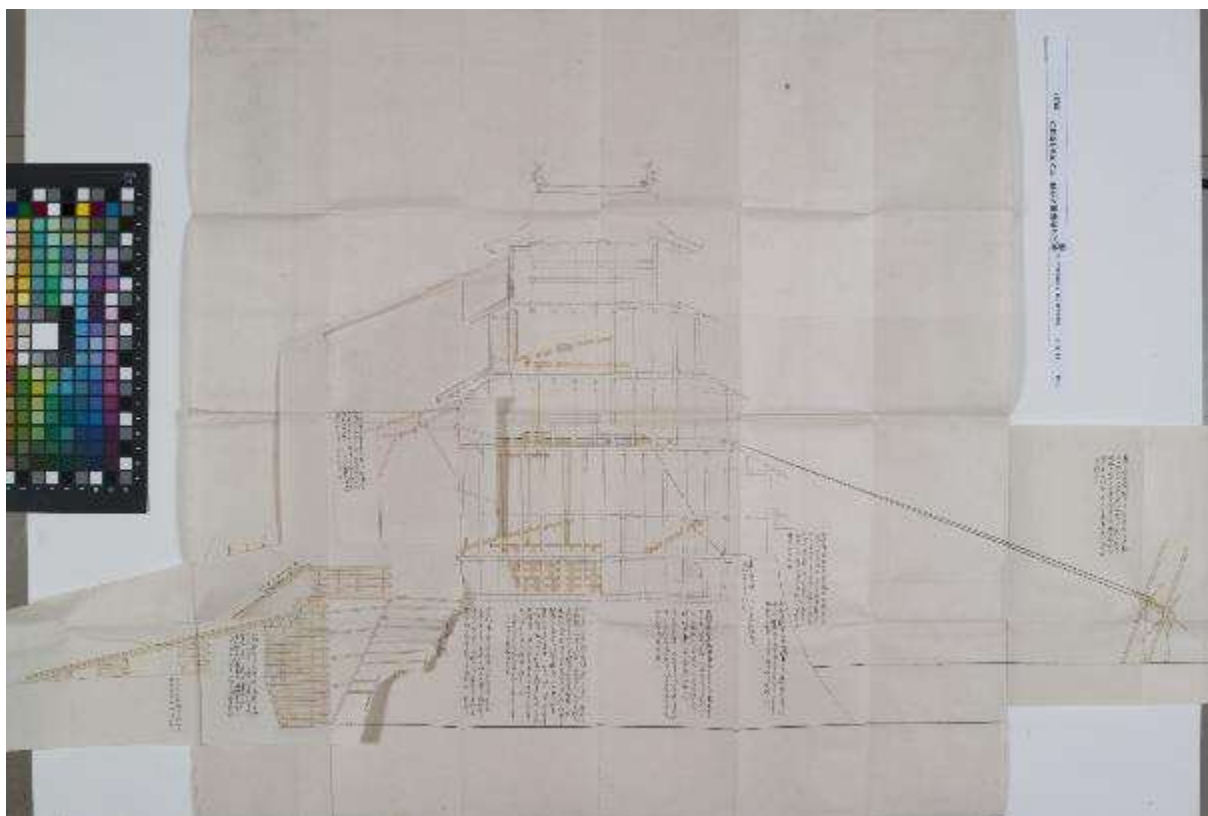


金城温古録

卷 29 御深井丸編之六 西之丸部「御深井丸御植木之古体 元禄以降」
江戸時代後期～明治 35 年（1902） 名古屋市蓬左文庫所蔵



金城温古録付属 御天守御修復仕様妻之方ヨリ見渡之図
明治写 名古屋城総合事務所所蔵



金城温古録付属 御天守御修復仕様平之方ヨリ見渡之図
明治写 名古屋城総合事務所所蔵



金城温古録付属 御天守御石垣取解築方起指図
明治写 名古屋城総合事務所所蔵

■絵図・図面

	作品名	時代	所蔵
1	御城取大体之図	天正 10 年(1580)～慶長 13 年(1608)	名古屋市蓬左文庫
2	大工頭中井家関係資料 なこや御城惣指図	江戸時代初期	中井正知氏・中井正純氏蔵 大阪市立住まいのミュージアム寄託
3	大工頭中井家関係資料 なこや御城之指図	江戸時代初期	中井正知氏・中井正純氏蔵 大阪市立住まいのミュージアム寄託
4	名古屋築城大名分担丁場割図	慶長 14 年(1609)～慶長 19 年(1614)	名古屋城総合事務所
5	御城郭内屋鋪割	元和元年(1615)～元和 6 年(1620)	名古屋市蓬左文庫
6	名古屋御城惣図(蓬左遷府記稿)	寛永 11 年(1634)以降	名古屋市蓬左文庫
7	万治年間名古屋城図	寛文 8 年(1668)～延宝 3 年(1675)	(一財)名古屋城振興協会
8	下御深井絵図	貞享元年(1684)	名古屋市蓬左文庫
9	元禄十年名古屋城絵図	元禄 10 年(1697)	名古屋市蓬左文庫
10	御二之丸御奥方差図	江戸時代中期	徳川林政史研究所
11	中御座之間北御庭惣絵	江戸時代前期	名古屋市蓬左文庫
12	御二之丸奥方御差図	江戸時代前期	名古屋市蓬左文庫
13	二之丸御奥方御差図	江戸時代前期～中期	名古屋市蓬左文庫
14	尾州名古屋城	享保 2 年(1717)写	名古屋市蓬左文庫
15	尾陽名護屋城図	享保 2 年(1717)写	名古屋市蓬左文庫
16	享保十四年名護屋絵図	享保 14 年(1729)	愛知県図書館
17	尾張国名古屋城破損所之絵図	享保 17 年(1732)5 月	静嘉堂文庫
18	名古屋図	享保 17 年(1732)～21 年(1736)	名古屋市蓬左文庫
19	御作事深井丸内諸役人詰所指図	宝暦 2 年(1752)～	名古屋城総合事務所
20	御天守地割 御天守平地割	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
21	御天守地割 御天守妻地割	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
22	御天守地割図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
23	御天守上見通絵図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
24	御深井丸内諸御役人詰所御作事本ノ所諸番所取建方指図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
25	御天守修復仕様津満の方ヨリ見渡之図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
26	御天守修復仕様平の方ヨリ見渡之図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
27	御天守御石垣取毀方築方起指図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
28	御天守地割 御天守石垣屋形図	宝暦 5 年(1755)	個人蔵
29	尾陽視聴合記のうち 名古屋城図	安永 8 年(1779)	前田博氏
30	尾州二ノ丸御指図	江戸時代中期	徳川林政史研究所
31	尾州御城絵図	江戸時代中期	名古屋市蓬左文庫
32	正徳年三之丸図	江戸時代中期	名古屋市鶴舞中央図書館
33	名古屋城内巡覧図	江戸時代中期～後期(天保 5 年(1834)以前)	個人蔵
34	尾州名護屋慶長以前之古図	文化 14 年(1817)7 月 6 日写	名古屋市博物館
35	御城御庭絵図	文政年間(1818～1830)	名古屋市蓬左文庫
36	御本丸御深井丸図	文政元年(1818)～天保 5 年(1834)	名古屋市博物館
37	御城二之丸図	文政以降(1818～)	名古屋城総合事務所
38	蓬左城極秘図	文政 2 年(1819) 岡本成允写	名古屋市博物館
39	御本丸御殿中之図	文政 5 年(1822)	(一財)名古屋城振興協会
40	東照宮祭礼図巻 巻 1	文政 5 年(1822)	名古屋市博物館
41	名古屋城二之丸御殿図	文政 5 年(1822)	名古屋市蓬左文庫
42	名古屋城二之丸絵図	文政 5 年(1822)以後	名古屋城総合事務所
43	二之丸御庭道及踏石図	文政 5 年(1822)以後	名古屋市蓬左文庫
44	戸山御庭之図	文政 9 年(1826)	徳川美術館
45	御天守鯨木地仕口尺之図面	文政 10 年(1827)閏 6 月	名古屋城総合事務所
46	名古屋城城郭図 [名古屋城図]	文政 11 年(1828)9 月写	(公財)東洋文庫
47	江戸幕府作事方大棟梁甲良家鯨雛形(天保 9 年〔1838〕3 月甲良若狭記)	天保 9 年(1838)	東京都立中央図書館
48	名古屋城俯瞰図	天保 13 年(1842)	名古屋市博物館
49	御本丸御殿中御城御次第之図	天保 14 年(1843)写	(一財)名古屋城振興協会
50	御本丸御殿中御成次第之図	天保 14 年(1843)写	(一財)名古屋城振興協会

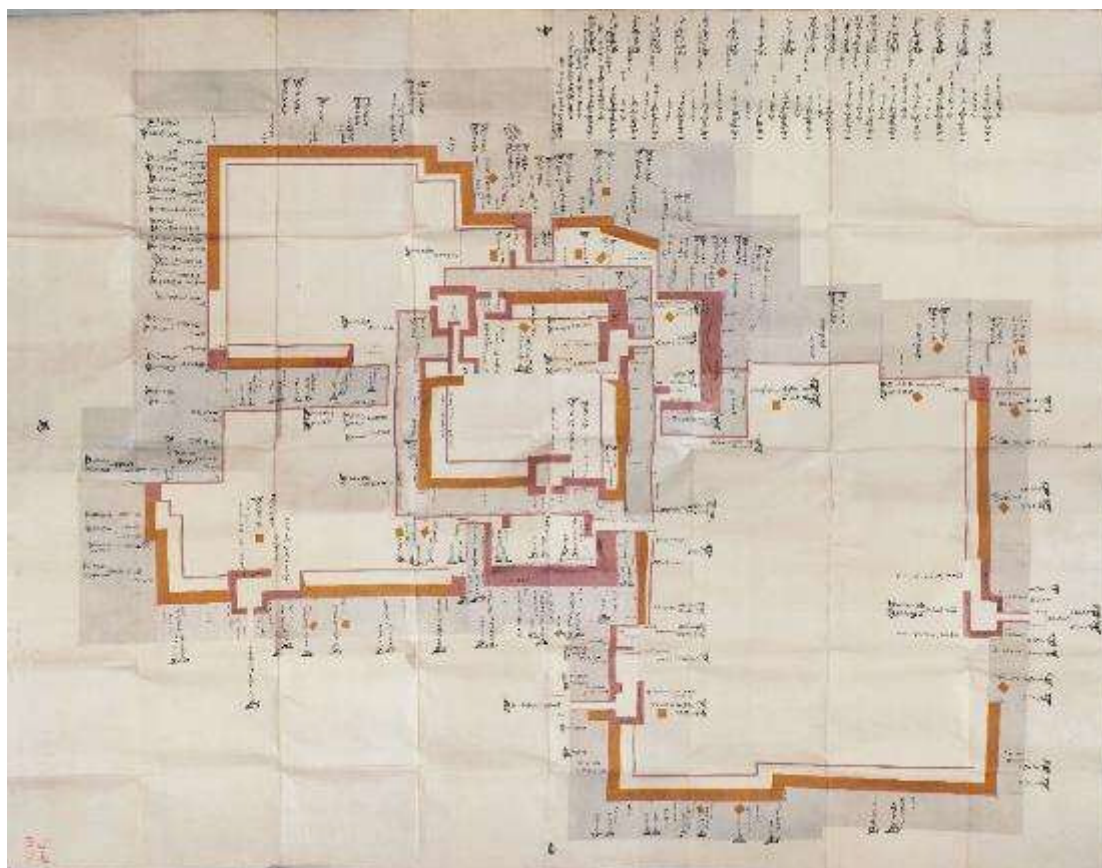
	作品名	時代	所蔵
51	御本丸御成御送迎座列居之図	天保 14 年(1843)写	(一財)名古屋城振興協会
52	尾張名所図会 前編 巻一「加藤清正石引の図」	天保 15 年(1844)	(一財)名古屋城振興協会
53	尾張名所図会 前編 巻一「巾下新馬場より御城を望む図」	天保 15 年(1844)	名古屋城総合事務所
54	尾張名所図会 前編 巻一「三の丸御宮の図」	天保 15 年(1844)	名古屋市博物館
55	下御深井図面	嘉永 2 年(1849)	名古屋市蓬左文庫
56	那古野村之古図	嘉永 3 年(1850)6 月 15 日 奥村得義写	名古屋市博物館
57	名古屋御本丸廻り之図	安政元年(1854)	(一財)名古屋城振興協会
58	柳城禁図	安政 5 年(1858)	(一財)名古屋城振興協会
59	名古屋城城郭図 [建物部分図]	万延元年(1860)	(公財)東洋文庫
60	名古屋城城郭図 [二之丸図]	万延元年(1860)	(公財)東洋文庫
61	名古屋城城郭図 [名古屋城惣図]	文久 2 年(1862)	(公財)東洋文庫
62	名古屋城城郭図 [二之丸御殿図]	文久 2 年(1862)	(公財)東洋文庫
63	源頼朝公京都より下向の図 東海道吉田駅豊川の長橋	文久 3 年(1863)	豊橋市二川宿本陣資料館
64	東海道 鳴海	文久 3 年(1863)	(一財)名古屋城振興協会
65	東海道名所之内 熱田一の鳥居	文久 3 年(1863)	豊橋市二川宿本陣資料館
66	尾城本丸之図 御泊之節御対顔之次第	慶応元年(1865)	名古屋市蓬左文庫
67	御本丸御殿中絵図	江戸時代後期	名古屋市博物館
68	進饗要覧 付録 第四冊	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
69	御殿平面図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
70	御城図面	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
71	尾二ノ丸御庭之図	江戸時代後期	徳川美術館
72	御城二之丸図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
73	二之丸御殿道及踏石図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
74	御城二ノ丸御庭之図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
75	桜御間南御庭四季之図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
76	御深井丸内諸御役人詰所 御作事本々所諸番所取 建方指図	江戸時代後期	名古屋城総合事務所
77	名古屋城本丸御殿御間之図 御巡覧道書添	江戸時代後期	(一財)名古屋城振興協会
78	名古屋城御本丸周囲御堀之図 (酉十月御天守御本 丸外御堀内墨引絵図)	江戸時代後期	(一財)名古屋城振興協会
79	名古屋城図	江戸時代後期	名古屋城総合事務所
80	名古屋城本丸御殿平面図	江戸時代後期	名古屋城総合事務所
81	五月初節供幟図 (徳川義宣初節供)	江戸時代後期	徳川美術館
82	御城二之丸御庭之図	江戸時代後期	名古屋市蓬左文庫
83	源順様御代下御庭図面	江戸時代後期	徳川林政史研究所
84	御軍用図引 金城眺望録	江戸時代後期	名古屋市博物館
85	堀川図屏風	江戸時代後期	名古屋市博物館
86	東照宮祭礼之図	江戸時代後期	前田博氏
87	名古屋城本丸御殿障壁画修理記録一 [江戸]	江戸時代後期	名古屋城総合事務所
88	仙鶴遐齡図 熊斐筆	江戸時代後期	
89	名古屋城郭図屏風	江戸時代後期～明治	名古屋城総合事務所
90	名古屋城普請町場請取絵図	江戸時代	徳川美術館
91	名古屋城普請丁場割之図	江戸時代	名古屋市蓬左文庫
92	御城二之丸図	江戸時代	名古屋城総合事務所
93	大日本五道中図屏風	江戸時代	三井記念美術館
94	名古屋城舊建家之図	明治初期	宮内庁書陵部宮内公文書館
95	博覧会図 昇斎一景画	明治 5 年(1872)	(一財)名古屋城振興協会
96	博覧会諸人群集之図 昇斎一景画	明治 5 年(1872)	(一財)名古屋城振興協会
97	古今珍物集覧 二代歌川国輝画	明治 5 年(1872)	(一財)名古屋城振興協会
98	御物金鯢之図	明治 8 年(1875)	(一財)名古屋城振興協会
99	愛知県名古屋明細図	明治 10 年(1877)	名古屋市蓬左文庫
100	名古屋城本丸並深井丸千二百分一ノ縮図	明治 12 年(1879)	国立公文書館
101	尾張名所図会 前編 第一冊	明治 13 年(1880)	名古屋城総合事務所
102	万国一等名古屋金城煉兵之図	明治 19 年(1886)	(一財)名古屋城振興協会
103	名古屋鎮台行軍出営之図	明治 20 年(1887)	(一財)名古屋城振興協会
104	名古屋城城郭之図 (二十年中草取区画決定)	明治 21 年(1888)頃	東京都立中央図書館木子文庫
105	名古屋城複多門内配置図 (本丸・深井丸)	明治 22 年(1889)	東京都立中央図書館木子文庫
106	名古屋城之真景図	明治 23 年(1890)	(一財)名古屋城振興協会
107	名古屋城本丸並深井丸等平面図「壱大日記明治二 十六年五月」	明治 23 年(1890)	防衛省防衛研究所図書館
108	名古屋普請町場請取絵図	明治 23 年(1890)写	宮内庁書陵部宮内公文書館
109	観兵式之図	明治 24 年(1891)以前	(一財)名古屋城振興協会
110	名古屋旧城鎮台天守金鯢図	明治 24 年(1891)	(一財)名古屋城振興協会

	作品名	時代	所蔵
111	名古屋旧城鎮台天守金鯱図	明治 24 年(1891)	(一財)名古屋城振興協会
112	明治廿四年十月廿八日 大地震図	明治 24 年(1891)	名古屋博物館
113	明治廿四年十月廿八日 大地震後図	明治 24 年(1891)	名古屋博物館
114	名古屋金城之図	明治 26 年(1893)	(一財)名古屋城振興協会
115	名古屋城本丸御殿障壁画修理記録二〔明治〕	明治 26 年(1893)	名古屋城総合事務所
116	名古屋第三師団観兵式之図	明治 28 年(1895)	(一財)名古屋城振興協会
117	名古屋金城及名所図	明治 28 年(1895)	(一財)名古屋城振興協会
118	名古屋離宮々殿之図（「内匠寮 明治三十年工事記録第六号」より）	明治 30 年(1897)	宮内庁書陵部宮内公文書館
119	内匠寮 明治三十年工事録第三号 名古屋離宮々殿図	明治 30 年(1897)	宮内庁書陵部宮内公文書館
120	内匠寮 明治三十年工事録第三号 名古屋離宮屋根伏 貳百分壱図	明治 30 年(1897)	宮内庁書陵部宮内公文書館
121	内匠寮 明治三三・三四年建物台帳異動録 名古屋離宮々殿図 貳百分壱	明治 33 年(1900)	宮内庁書陵部宮内公文書館
122	名古屋城本丸及深井丸之図 7400 分の 1	明治 33 年(1900)か	宮内庁書陵部宮内公文書館
123	名古屋城複多聞内配置図 1200 分の 1	明治 33 年(1900)か	宮内庁書陵部宮内公文書館
124	名古屋離宮複多聞内総地図六百分一	明治 33 年(1900)か	宮内庁書陵部宮内公文書館
125	名古屋離宮御間内ノ図二百分一	明治 33 年	名古屋城総合事務所
126	名古屋離宮御間内ノ図百分一	明治 33 年	名古屋城総合事務所
127	旧名古屋城郭内全図	明治 34 年(1901)か	宮内庁書陵部宮内公文書館
128	名古屋離宮宮殿及附属建物図	明治 34 年(1901)か	宮内庁書陵部宮内公文書館
129	第三師団衛生核兵種出門之図	明治 36 年(1903)	(一財)名古屋城振興協会
130	部分図（名古屋離宮御膳水井戸屋形新設地之間図）	明治 38 年(1905)	名古屋城総合事務所
131	名古屋御城水道絵図	明治 42 年(1909)写	名古屋市鶴舞中央図書館
132	名古屋離宮城之図	明治 43 年(1910)	(一財)名古屋城振興協会
133	御殿向引渡請取図	明治	名古屋城総合事務所
134	本丸・深井丸・西之丸地図（震災石垣被損箇所調査）	明治	東京都立中央図書館木子文庫
135	名古屋離宮及陸軍所轄複多門内総地図	明治	名古屋城総合事務所
136	名古屋離宮宮殿地之間図	明治	宮内庁書陵部宮内公文書館
137	名古屋離宮内閣全図	明治	名古屋城総合事務所
138	名古屋城本丸御殿平面図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
139	名古屋城本丸御殿平面図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
140	名古屋城本丸建家屋葺換修繕図（屋根伏図）	明治	東京都立中央図書館木子文庫
141	名古屋城本丸旧殿屋根替二付小屋伏之図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
142	名古屋城本丸御殿 旧表書院東ヨリ見付小屋組切断図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
143	名古屋城本丸御殿 旧対面所東ヨリ見付小屋組切断図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
144	名古屋城本丸御殿 旧上洛殿東ヨリ見付小屋組切断図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
145	名古屋城旧殿上洛殿 小屋組切断図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
146	名古屋城本丸御殿 旧表書院 旧対面所 旧上洛殿軒廻り断面図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
147	名古屋城本丸御殿玄関廻り調査図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
148	名古屋城本丸御殿上洛殿・湯殿書院廻り調査図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
149	名古屋城本丸御殿表書院廻り調査図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
150	名古屋城本丸御殿対面所廻り調査図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
151	名古屋城本丸御殿湯殿書院・黒木書院調査図	明治	東京都立中央図書館木子文庫
152	名古屋城本丸御殿調査図（平面）	明治	東京都立中央図書館木子文庫
153	名古屋城本丸内玄関関係図 1	明治写	宮内庁書陵部宮内公文書館
154	名古屋城本丸内玄関関係図 2	明治写	宮内庁書陵部宮内公文書館
155	名古屋城本丸内玄関関係図 3	明治写	宮内庁書陵部宮内公文書館
156	名古屋城本丸内玄関関係図 4	明治写	宮内庁書陵部宮内公文書館
157	離宮図（名古屋離宮内閣全図）	明治写	名古屋城総合事務所
158	金城録・金城録絵図	明治写	名古屋城総合事務所
159	金城録 町場請取絵図	明治～大正写	名古屋城総合事務所
160	金城録 名古屋御城石垣絵図	明治～大正写	名古屋城総合事務所
161	離宮図（名古屋離宮平面図）	大正 4 年(1915)10 月	名古屋城総合事務所
162	名古屋離宮大礼関係設備配置図	大正 4 年(1915)	国立公文書館
163	名古屋離宮巡行線路図	大正 6 年(1917)	名古屋城総合事務所
164	離宮図（名古屋離宮総図）	大正 8 年(1919)4 月	名古屋城総合事務所
165	名古屋離宮俯瞰図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
166	名古屋離宮御殿平面図 附湯沸所及渡廊下	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館

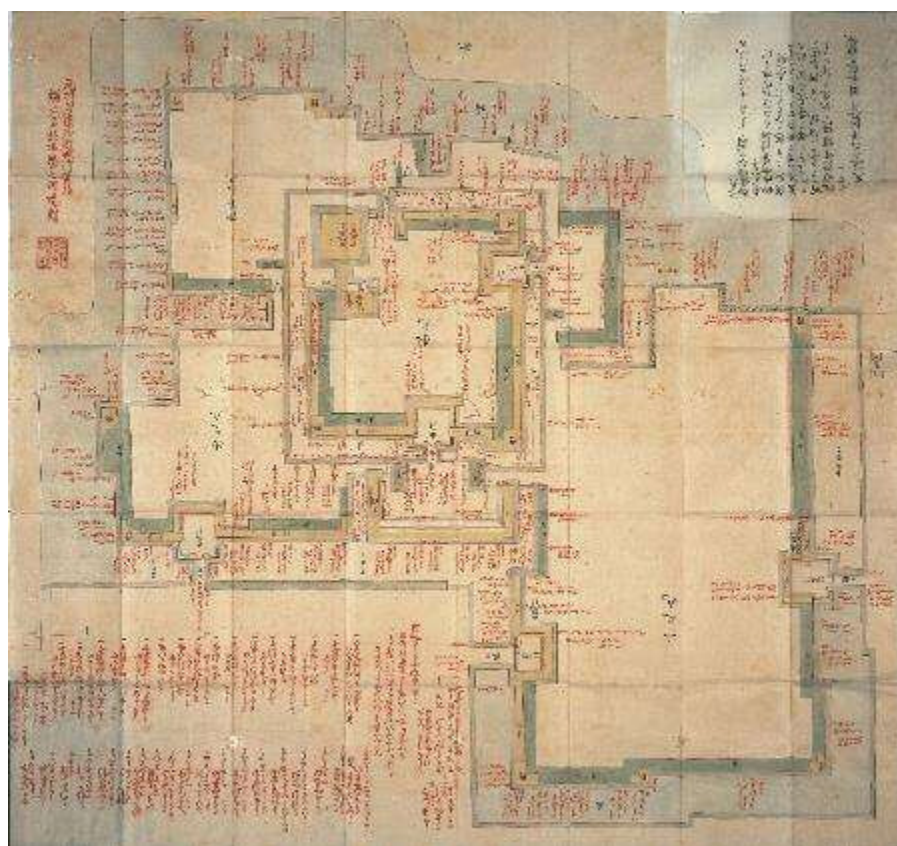
	作品名	時代	所蔵
167	名古屋離宮天守閣平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
168	名古屋離宮天守閣平面図（其一）	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
169	名古屋離宮天守閣平面図（其二）	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
170	名古屋離宮天守閣平面図（其三）	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
171	名古屋離宮各隅櫓小天守閣各渡櫓門平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
172	名古屋離宮西北櫓小天守平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
173	名古屋離宮東南櫓東北櫓西南櫓平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
174	名古屋離宮各渡櫓門平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
175	名古屋離宮附属建物平面図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
176	名古屋離宮附属建物平面図（其一）	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
177	名古屋離宮附属建物平面図（其二）	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
178	名古屋離宮総図附図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
179	名古屋離宮建築細部実測図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
180	名古屋離宮御湯殿書院風呂屋形	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
181	名古屋離宮虎ノ間床及棚	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
182	名古屋離宮御殿鷺之廊下	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
183	名古屋離宮総図	大正 8 年(1919)	宮内庁書陵部宮内公文書館
184	離宮図（名古屋離宮総図）（計 2 枚）	大正 10 年(1921)5 月	名古屋城総合事務所
185	西南隅櫓（名古屋離宮西南櫓之図）	大正 10 年(1921)10 月	名古屋城総合事務所
186	西南隅櫓（名古屋離宮西南櫓基礎設計図）	大正 10 年(1921)11 月	名古屋城総合事務所
187	名古屋離宮平面図	大正 10 年(1921)	宮内庁書陵部宮内公文書館
188	西南隅櫓（名古屋離宮西南櫓南側櫓狭間断面図）	大正 11 年(1922)～12 年(1923)	名古屋城総合事務所
189	西南隅櫓（名古屋離宮西南櫓西側櫓狭間断面図）	大正 11 年(1922)～12 年(1923)	名古屋城総合事務所
190	部分図（名古屋離宮水道工事明細図）	大正 13 年(1924)11 月	名古屋城総合事務所
191	部分図（名古屋離宮鉄管布設竣工図）	大正 13 年(1924)か	名古屋城総合事務所
192	名古屋離宮 総図	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
193	名古屋離宮 御殿図	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
194	名古屋離宮 天守閣図	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
195	名古屋離宮 小天守・西南隅櫓	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
196	名古屋離宮 各門・隅櫓	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
197	名古屋離宮 湯沸所等	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
198	名古屋離宮 付属舎類	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
199	名古屋離宮 正門櫓類	大正	宮内庁書陵部宮内公文書館
200	名古屋防空演習記念絵皿	昭和 4 年(1929)	(一財)名古屋城振興協会
201	名古屋離宮御下賜記念名城大展示会出品目録	昭和 6 年(1931)	名古屋市蓬左文庫
202	東北隅櫓（計 18 枚）	昭和 6 年(1931)	名古屋城総合事務所
203	舊二之丸北之御庭平面図（現歩兵聯隊将校集會所庭園）（『愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 第十一』所収）	昭和 8 年（1933）頃か	
204	防空防護ポスター	昭和 11 年(1936)頃	名古屋市博物館
205	名古屋防空演習ポスター	昭和 11 年(1936)頃	名古屋市博物館
206	名古屋城	昭和 12 年(1937)	(一財)名古屋城振興協会
207	名古屋汎太平洋平和博覧会ポスター（英語版）	昭和 12 年(1937)	名古屋市市政資料館
208	港湾協会第十回通常総会記念絵皿	昭和 12 年(1937)	名古屋城総合事務所
209	絵皿	昭和 12 年(1937)	個人蔵
210	名古屋城舊二ノ丸庭園平面図（『日本庭園史圖鑑』所収）	昭和 12 年（1937）実測	
211	名古屋城樹木現況調査図	昭和 14 年(1939)	名古屋城総合事務所
212	名古屋城防空設備資材配置図	昭和 18 年(1943)	名古屋城総合事務所
213	拝観順路予定図	昭和前期	名古屋城総合事務所
214	名古屋鯨三題乃内 月の熱田を望む	昭和前期	(一財)名古屋城振興協会
215	名古屋鯨三題乃内 雪の犬山を望む	昭和前期	(一財)名古屋城振興協会
216	名古屋鯨三題乃内 桜の八事山を望む	昭和前期	(一財)名古屋城振興協会
217	東北隅櫓 三層懸魚拓本	昭和前期	名古屋城総合事務所
218	東北隅櫓 二層東出窓千鳥破風鬼板拓本	昭和前期	名古屋城総合事務所
219	上洛殿一之間南入側境舞良襖戸蒔絵摺本	昭和前期	(公財)文化財建造物保存技術協会
220	上洛殿一之間南入側境舞良襖戸蒔絵中央部原寸図	昭和前期	(公財)文化財建造物保存技術協会
221	石垣刻文拓本	昭和前期	名古屋城総合事務所
222	本丸御殿拓本類（計 275 枚）	昭和前期	名古屋城総合事務所
223	本丸御殿上洛殿建具框摺本・原寸図	昭和前期	(公財)文化財建造物保存技術協会
224	昭和実測図（計 309 枚）	昭和前期	名古屋城総合事務所

	作品名	時代	所蔵
225	天守閣（天守閣跡礎石平面並高低図）	昭和 20 年(1945)以降	名古屋城総合事務所
226	表二之門（名古屋城表二之門他修繕工事配置図詳細図）	昭和 25 年(1950)1 月	名古屋城総合事務所
227	史蹟名古屋城平面図	昭和 25 年(1950)頃	名古屋城総合事務所
228	修理竣工図 東南隅櫓（計 19 枚）	昭和 28 年(1953)	名古屋城総合事務所
229	名古屋城二の丸庭園実測量及絵図面	昭和 28 年(1953)	名古屋城総合事務所
230	本丸御殿図（名古屋城重要文化財障壁画配置図）	昭和 35 年(1960)12 月	名古屋城総合事務所
231	修理竣工図 東南隅櫓・多聞櫓（計 2 枚）	昭和 39 年(1964)	名古屋城総合事務所
232	修理竣工図 西北隅櫓（計 21 枚）	昭和 39 年(1964)	名古屋城総合事務所
233	旧学生会館取壊し前図面（アルバム添付図面）	昭和 49 年(1974)以前か	名古屋城総合事務所
234	名古屋城本丸御殿址実測図	昭和 53 年(1978)か	
235	本丸御殿定規（計 153 枚）	昭和	名古屋城総合事務所
236	本丸御殿（拝観順路予定図）	昭和	名古屋城総合事務所
237	名古屋城本丸御殿障壁画修理記録三〔昭和〕	昭和	名古屋城総合事務所
238	なこや御城惣指図		中井忠重
239	名古屋御城石垣絵図		宮内庁書陵部宮内公文書館
240	元禄拾年御城絵図		名古屋市蓬左文庫
241	下御深井図面		名古屋市蓬左文庫
242	万治年間名古屋城下絵図（仮題）		名古屋城総合事務所
243	名護屋初築之図		
244	尾張国名護屋		名古屋市蓬左文庫
245	尾州名古屋城之図		金沢市立図書館
246	尾陽名古屋城図		国立公文書館
247	尾張名護屋		岡山大学附属図書館池田家文庫
248	尾張国名護屋城		西尾市岩瀬文庫
249	万治 3 年（1660）正月大火図		名古屋市鶴舞中央図書館
250	御天守御修復仕様妻之方ヨリ見渡之図（宝暦 2 年〔1752〕修理図）		
251	名古屋御天守各層間取図		名古屋市鶴舞中央図書館
252	名古屋御天守平地割図		名古屋市鶴舞中央図書館
253	名古屋御天守地割図		名古屋市鶴舞中央図書館
254	名古屋御天守妻地割図		名古屋市鶴舞中央図書館
255	御城取大体之図		
256	深井丸堀の断面		
257	大天守金鯰（「御天守鯉木地仕口寸尺之図面」部分）		名古屋城総合事務所
258	元和年二之丸大体		
259	寛文以後二之丸大体		
260	西鉄御門枳形		
261	東鉄御門枳形		
262	未申隅御櫓		
263	御太鼓櫓		
264	辰巳隅御櫓		
265	丑寅隅御櫓		
266	二丸孔雀門		
267	二丸御庭迎涼閣		
268	二丸御殿鎖之間		
269	二丸御殿数奇屋		
270	二丸露地扁額絵図		
271	二丸御殿露地		
272	二丸南御庭		
273	旧二之丸御城御殿之図		名古屋市鶴舞中央図書館
274	慶長年中三之丸図		
275	清水門		
276	東門		
277	本町門		
278	巾下より名古屋城を望む		
279	公儀御霊屋		
280	西丸		
281	西丸榎多門		
282	西丸月見櫓		
283	未申隅櫓		
284	深井丸		
285	深井丸大手塩蔵門枳形		
286	深井丸弓矢櫓		

	作品名	時代	所蔵
287	深井丸西北隅櫓		
288	下深井御庭		
289	下深井御庭松山御茶屋絵図		名古屋市蓬左文庫
290	瀬戸御茶屋御指図		名古屋市蓬左文庫
291	瀬戸御茶屋絵図		名古屋市蓬左文庫
292	三丸竹腰邸と二丸		
293	東片端付近の武家屋敷		
294	三丸の武家屋敷、右端渡辺半蔵邸		
295	尾張名古屋（諸国当城之図）		広島市立図書館浅野文庫
296	二ノ丸奥方御好之御差図		名古屋市蓬左文庫
297	不明門（計 7 枚）		名古屋城総合事務所
298	離宮図（名古屋離宮平面図）		名古屋城総合事務所
299	西南隅櫓（名古屋城断面図）		名古屋城総合事務所
300	東北隅櫓（計 4 枚）		名古屋城総合事務所



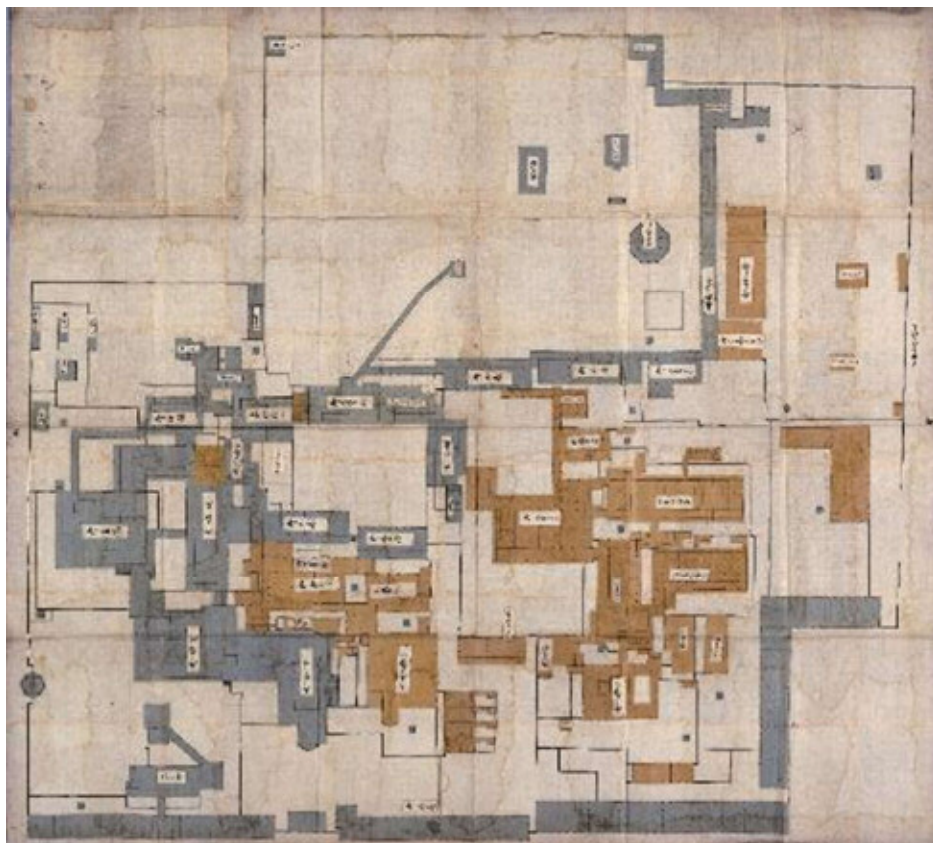
名古屋普請町場請取絵図
明治 23 年 (1890) 写 宮内庁宮内公文書館所蔵



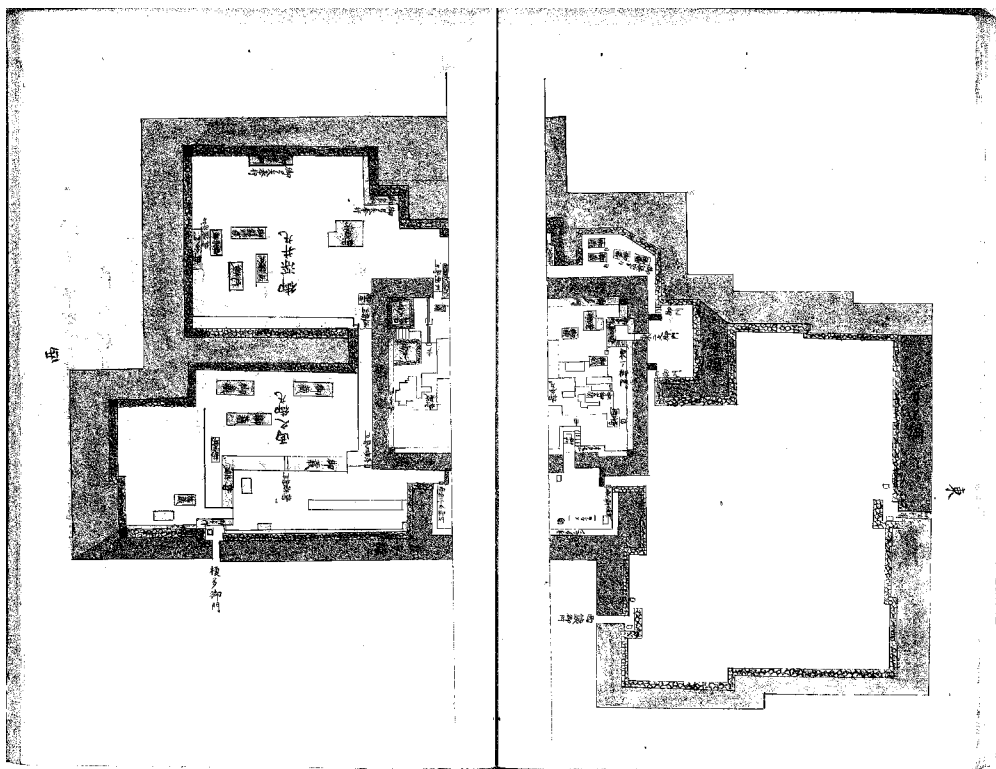
蓬左城極秘図
文政 2 年 (1819) 写 名古屋市博物館所蔵



中御座之間北御庭惣絵
江戸時代前期 名古屋市蓬左文庫所蔵



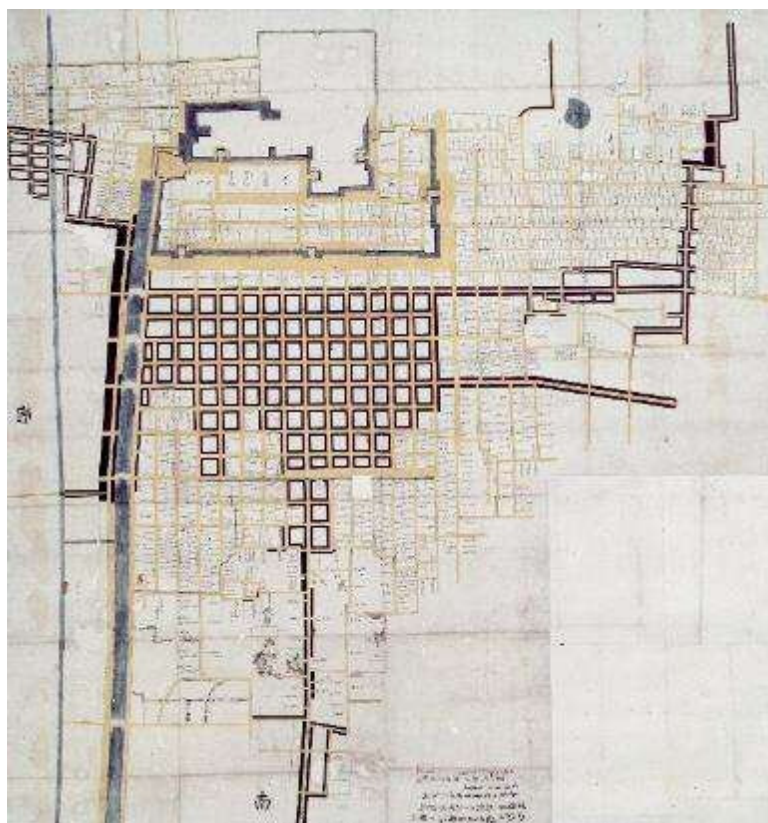
尾州二ノ丸御指図
江戸時代前期 徳川林政史研究所所蔵



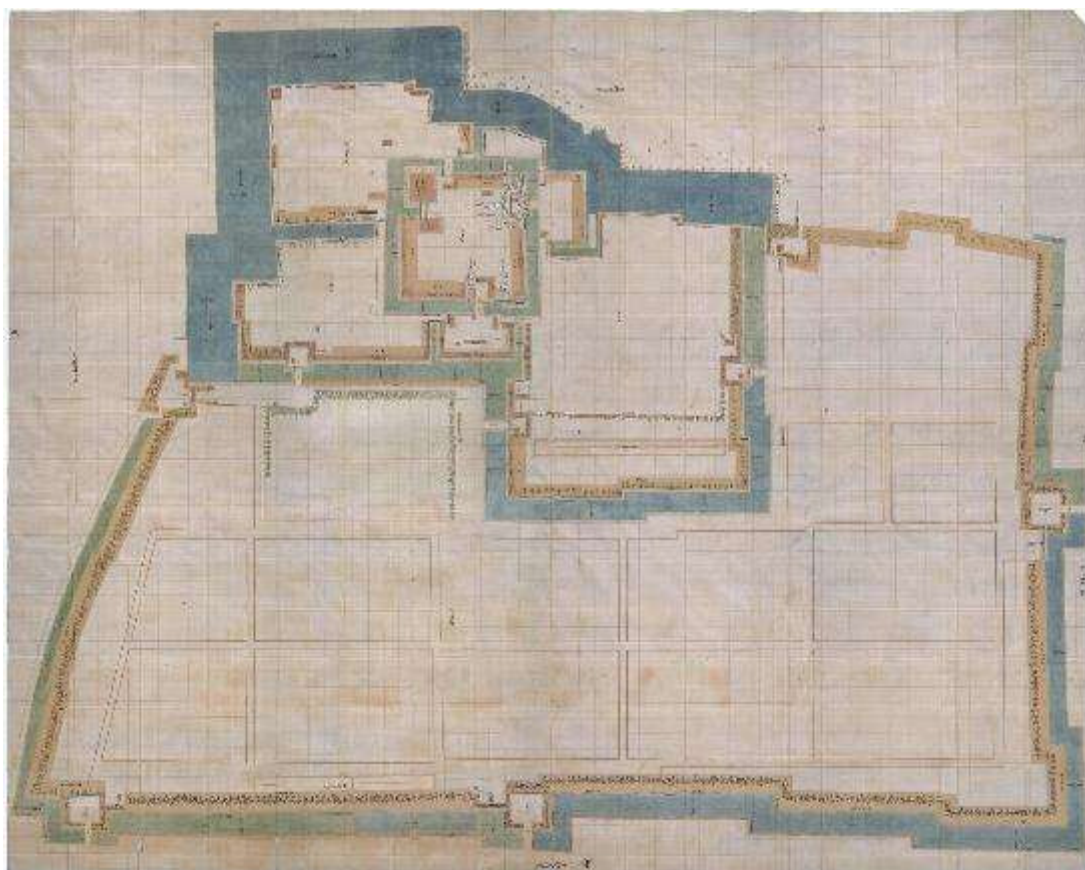
名古屋御城惣図（蓬左遷府記稿）
寛永 11 年（1634）以降 名古屋市蓬左文庫所蔵



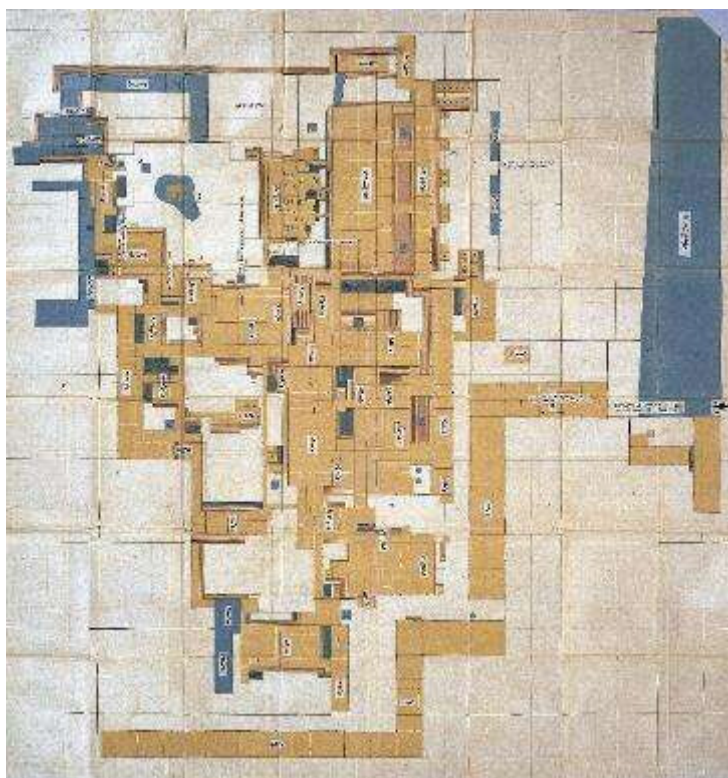
正保四年名古屋城絵図
正保 4 年（1647） 徳川美術館所蔵 ・徳川美術館イメージアーカイブ／DN Partcom



万治年間名古屋城図
寛文 8 年（1668）～延宝 3 年（1675） 一般財団法人名古屋城振興協会所蔵



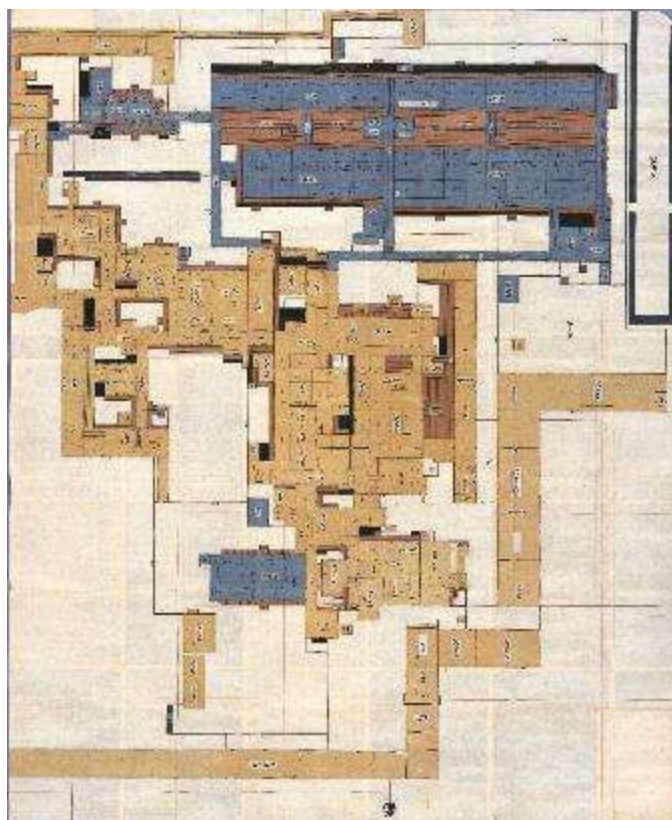
元禄十年名古屋城絵図
元禄 10 年（1697） 名古屋市蓬左文庫所蔵



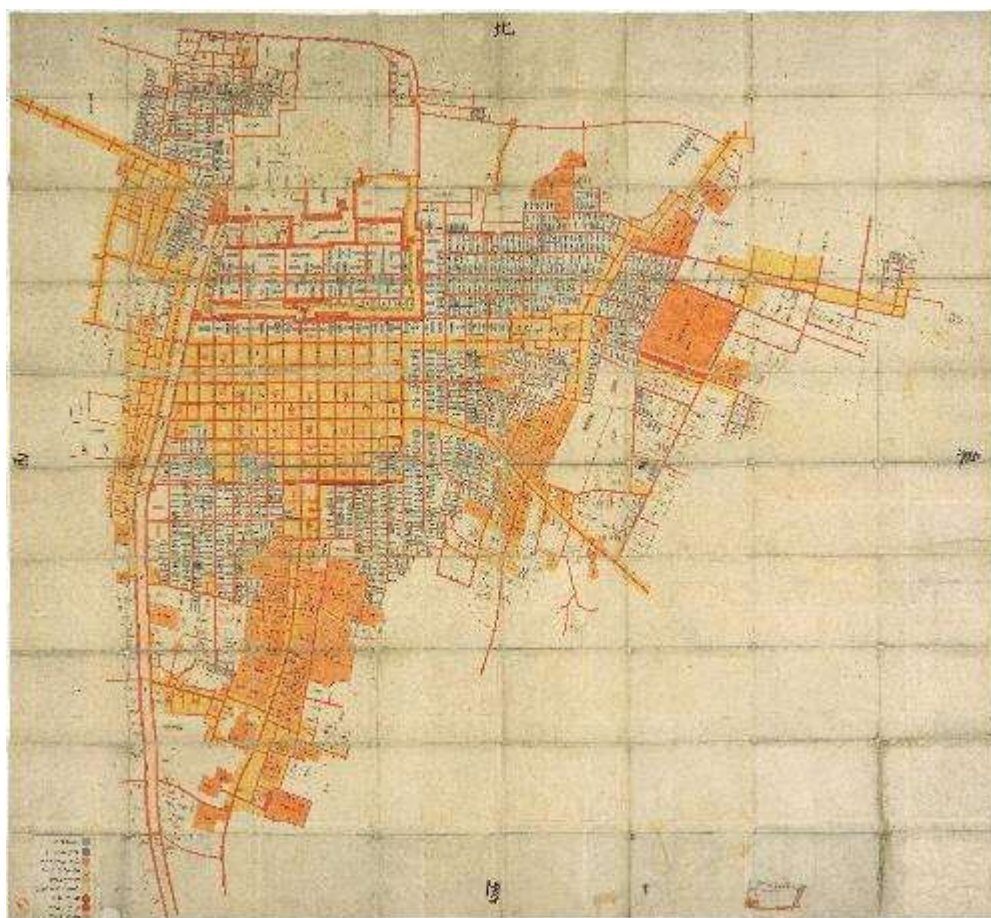
二之丸御奥方御差図
江戸時代前期～中期 名古屋市蓬左文庫所蔵



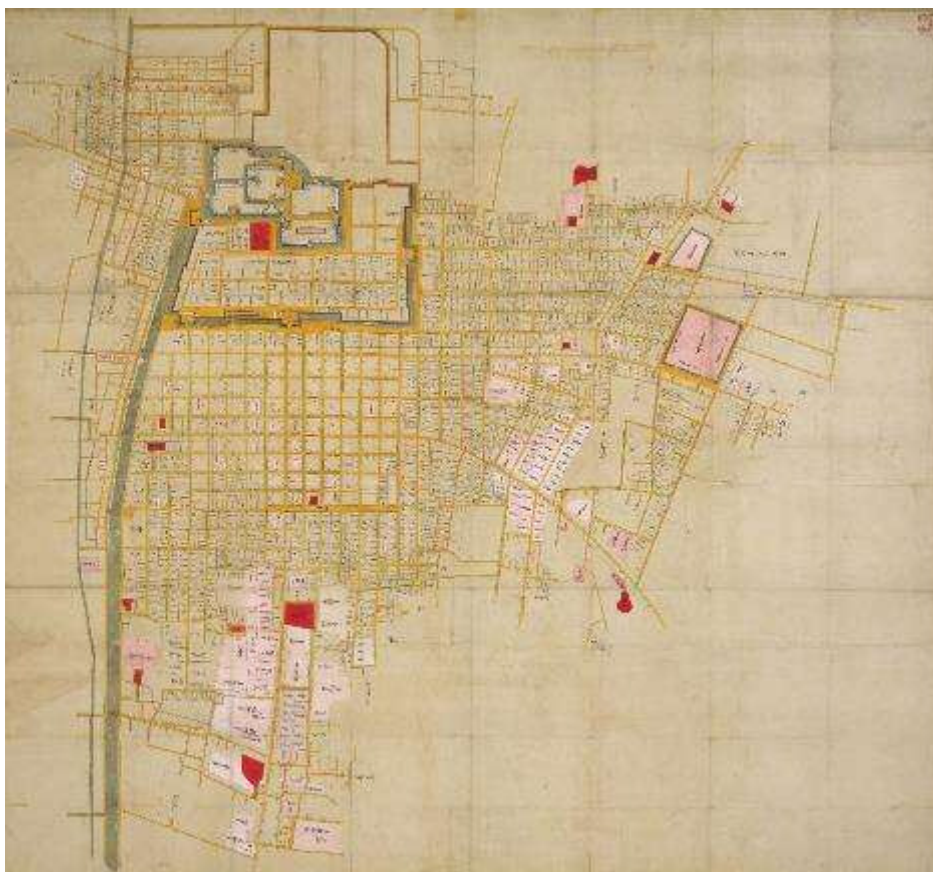
正徳年三之丸図
江戸時代中期 名古屋市鶴舞図書館所蔵



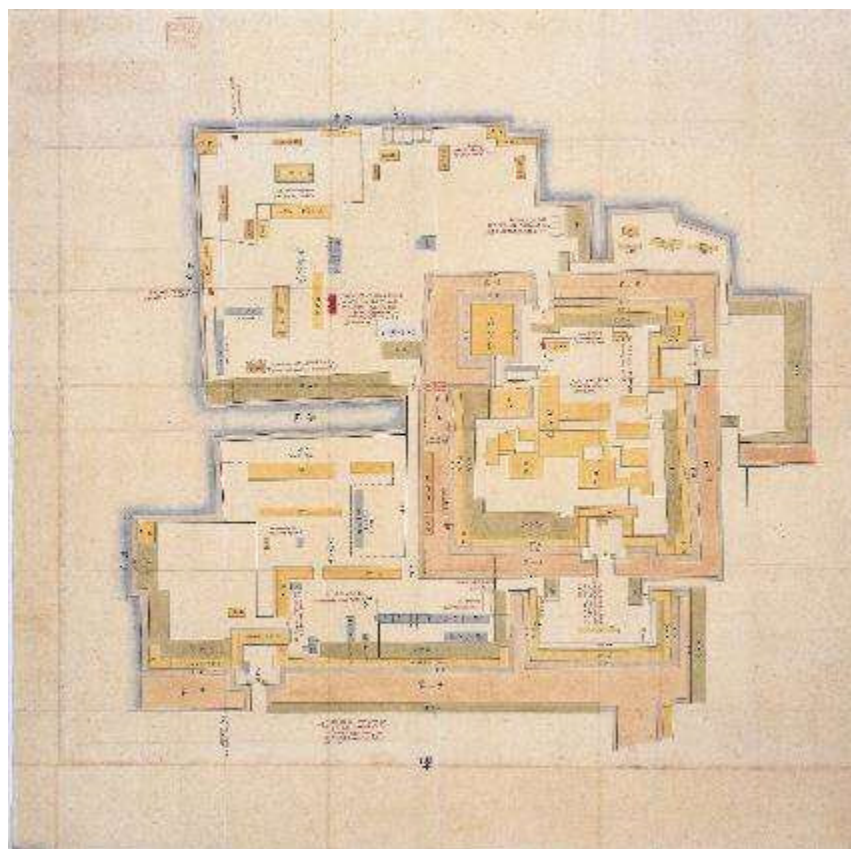
御二之丸御奥方差図
江戸時代中期 徳川林政史研究所所蔵



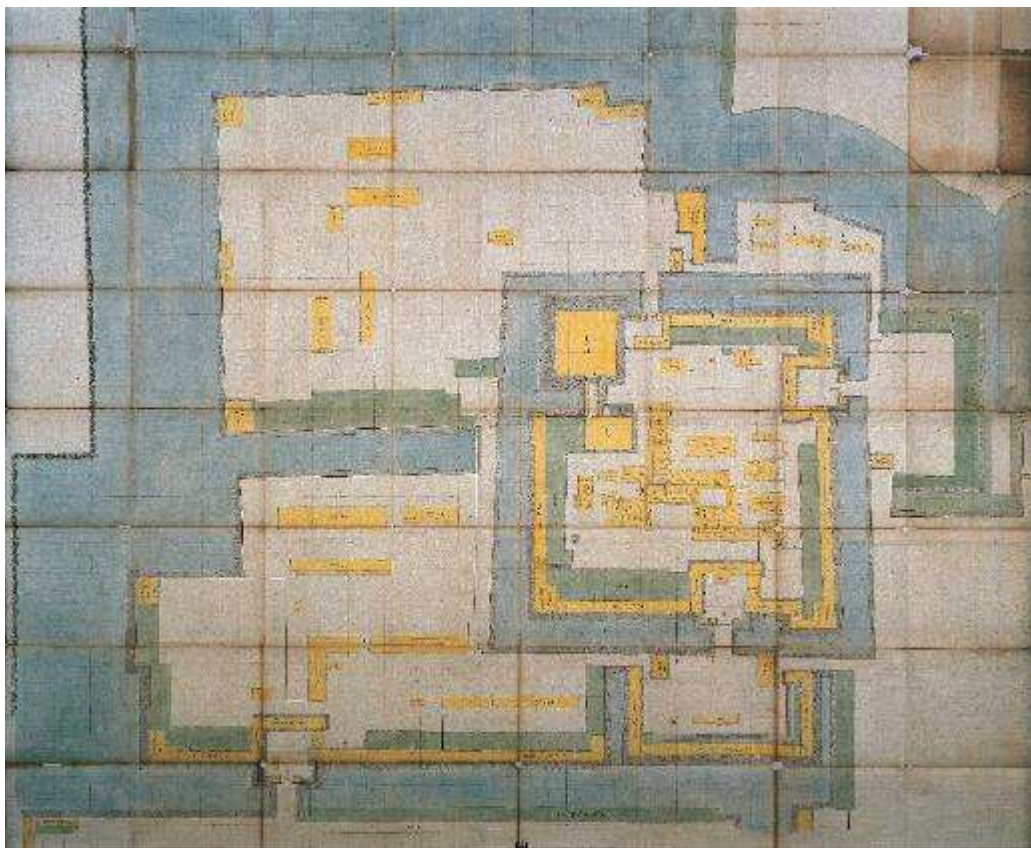
享保十四年名護屋絵図
享保 14 年（1729） 愛知県図書館所蔵



名古屋図
享保 17 年（1732）～21 年（1736） 名古屋市蓬左文庫所蔵



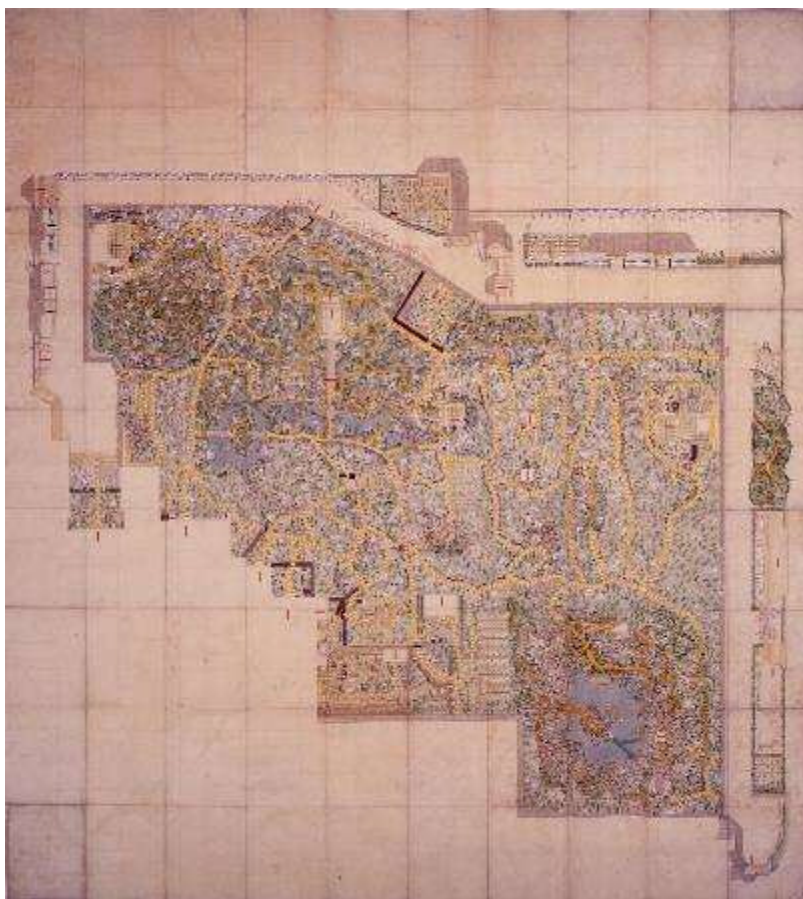
御作事深井丸内諸役人詰役人詰所指図
宝暦 2 年（1752） 名古屋城総合事務所所蔵



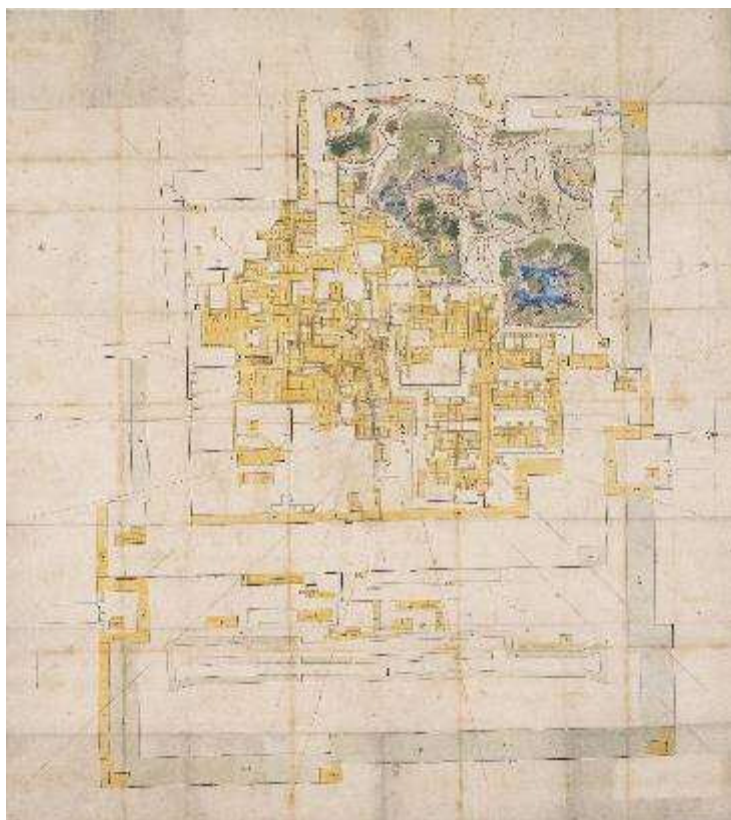
御本丸御深井丸図
文政元年（1818）～天保5年（1834） 名古屋市博物館所蔵



御殿平面図
江戸時代後期 名古屋市蓬左文庫所蔵



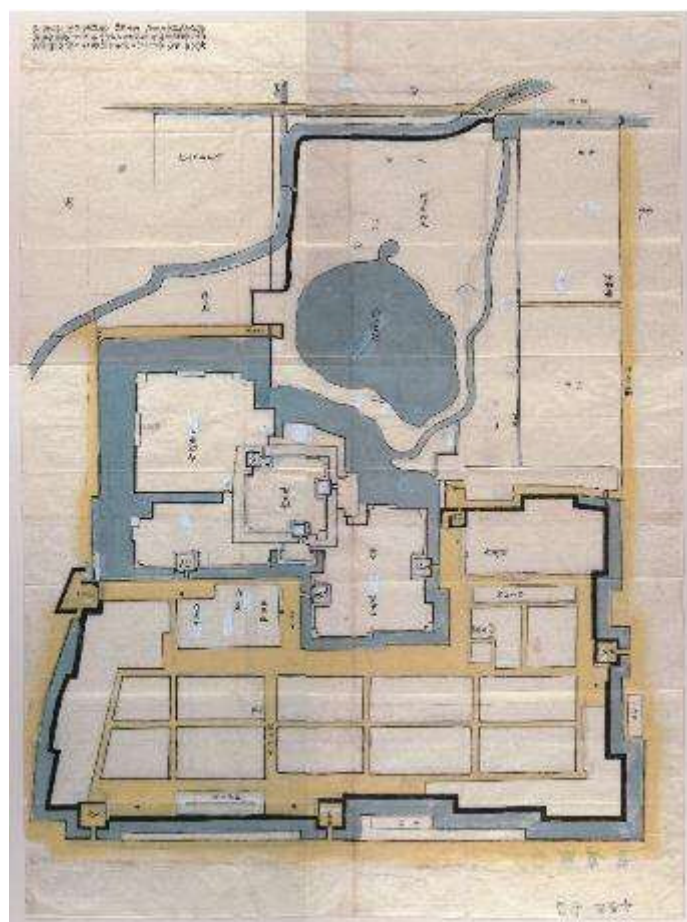
御城御庭絵図
文政年間（1818～1830） 名古屋市蓬左文庫所蔵



御城二之丸図
文政以降（1818～） 名古屋城総合事務所所蔵



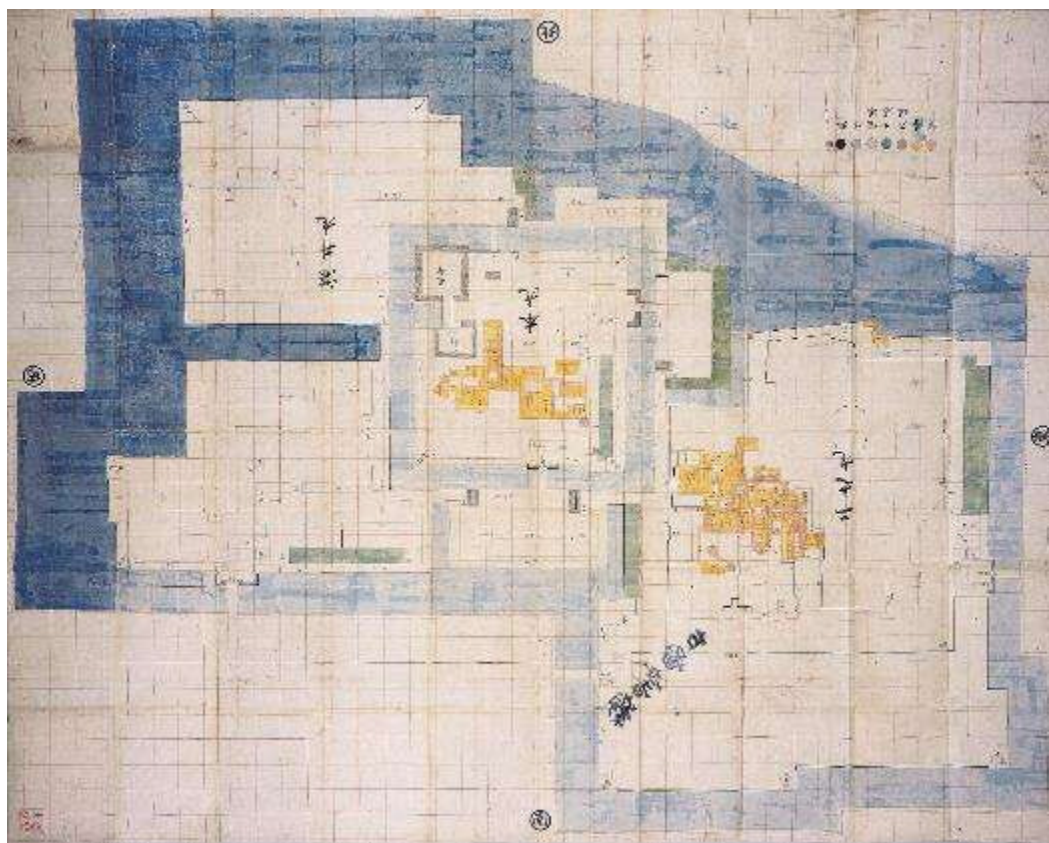
下御深井図面
嘉永 2 年（1849） 名古屋市蓬左文庫所蔵



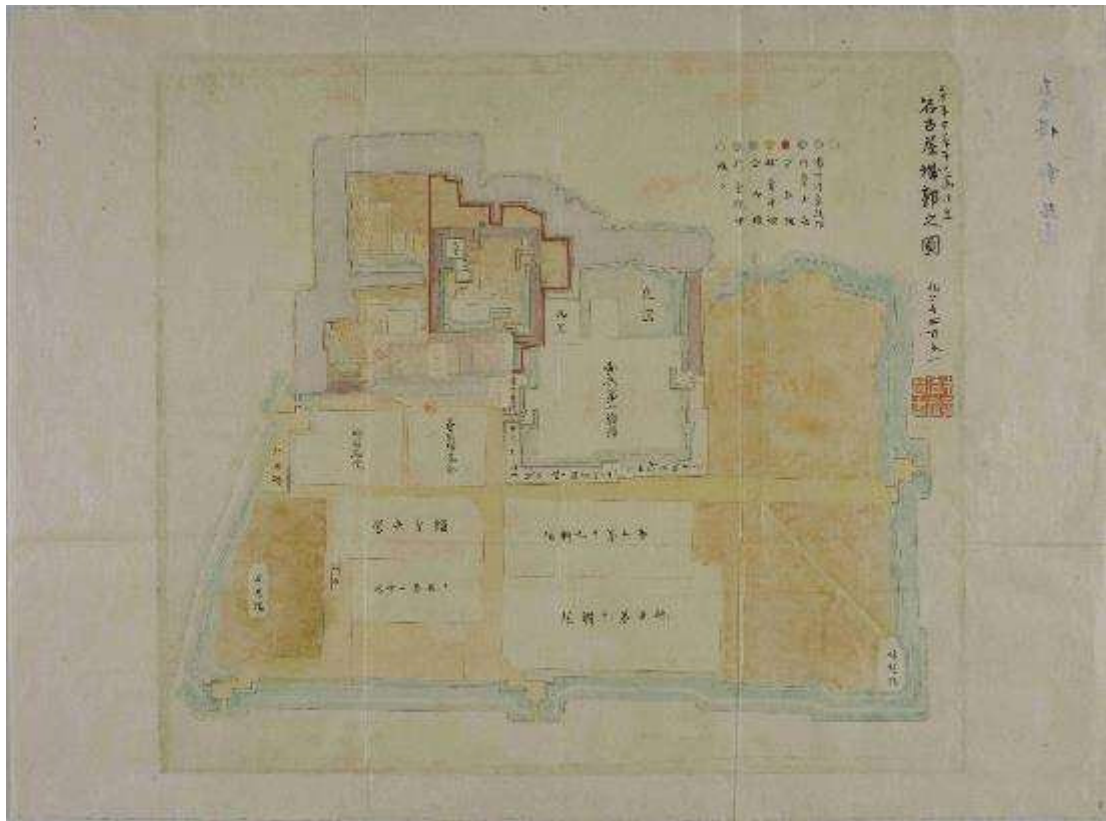
名古屋城城郭図 [名古屋城惣図]
文久 2 年（1862） 公益財団法人東洋文庫所蔵



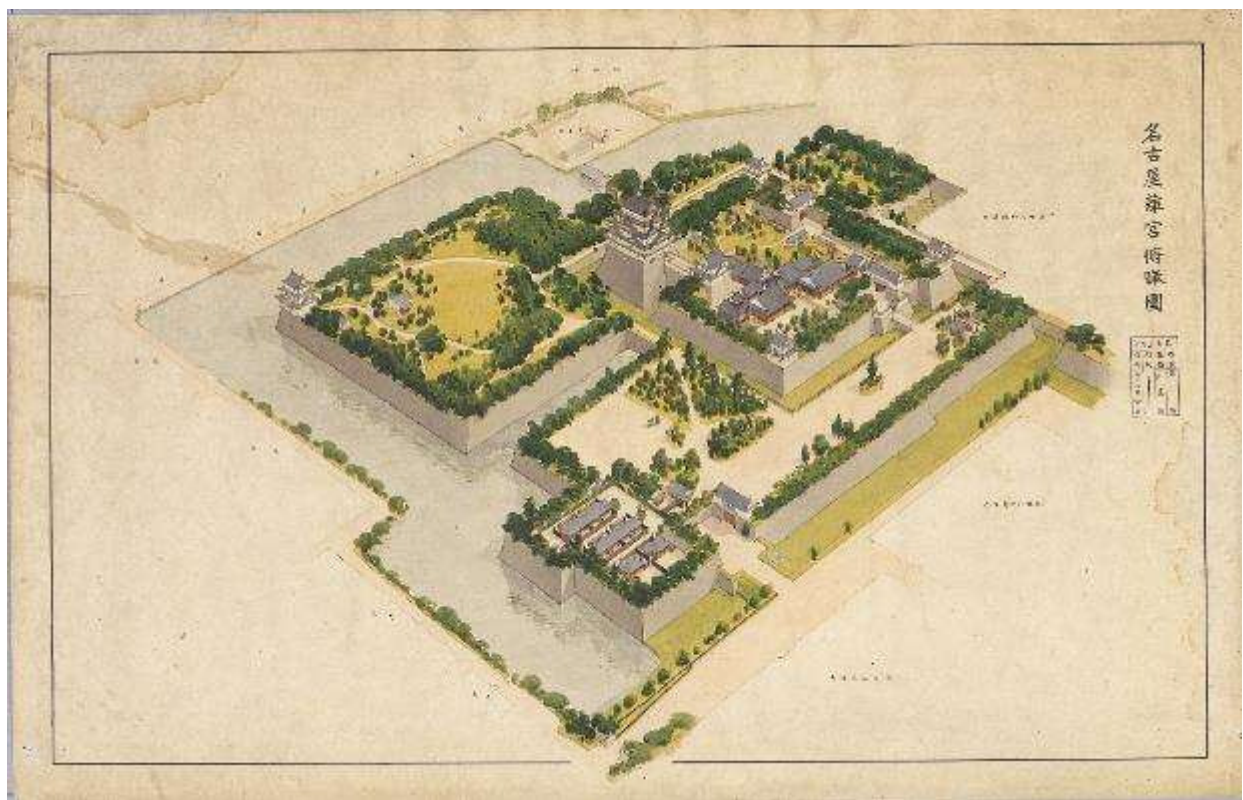
名古屋城城郭図〔二之丸御殿図〕
文久 2 年（1862） 公益財団法人東洋文庫所蔵



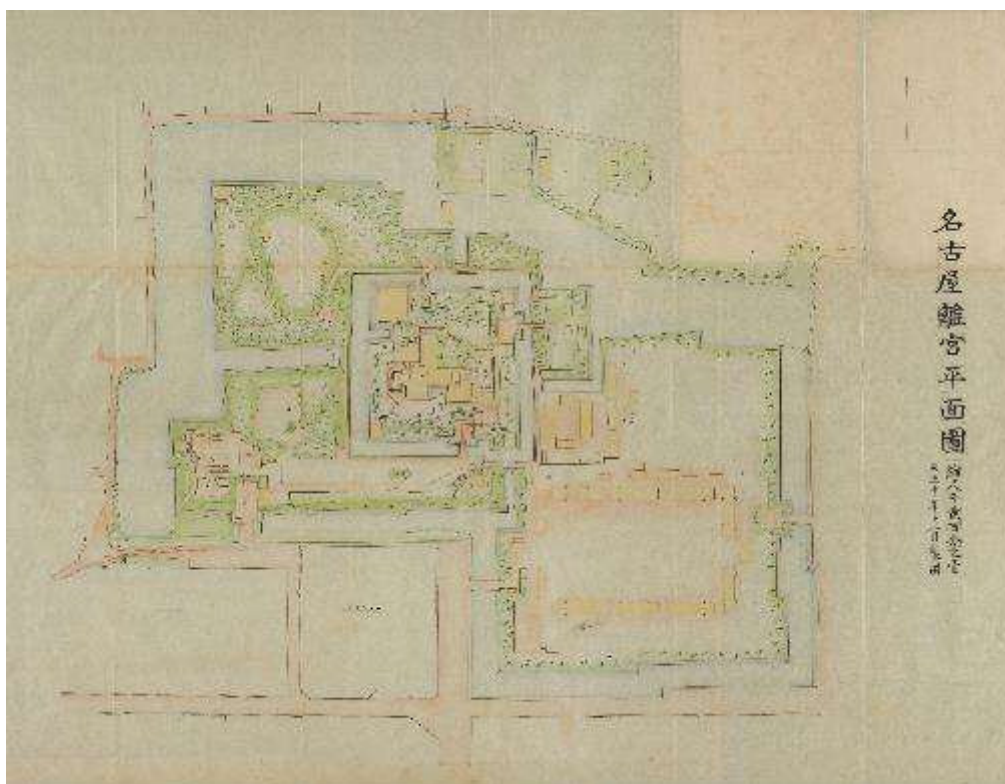
名古屋城舊建家之図
明治初期 宮内庁宮内公文書館所蔵



名古屋城城郭之図（二十年草取区画決定）
明治 21 年（1888）頃 東京都立中央図書館特別文庫室所蔵



名古屋離宮俯瞰図
大正 8 年（1919） 宮内庁宮内公文書館所蔵

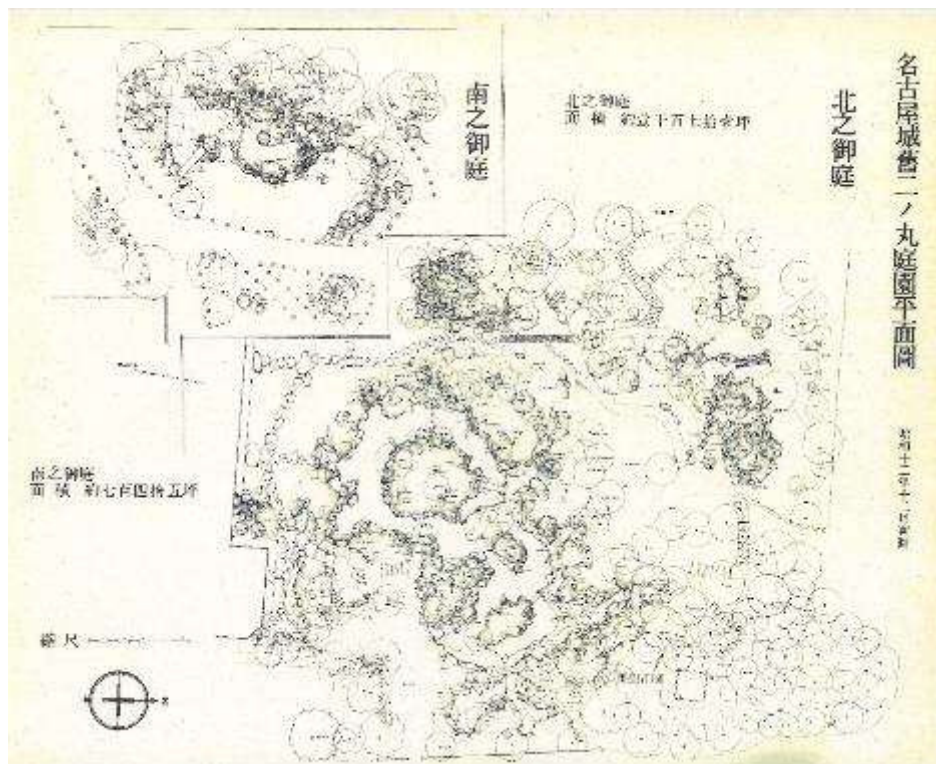


名古屋離宮平面図
大正 10 年（1921） 宮内庁宮内公文書館所蔵



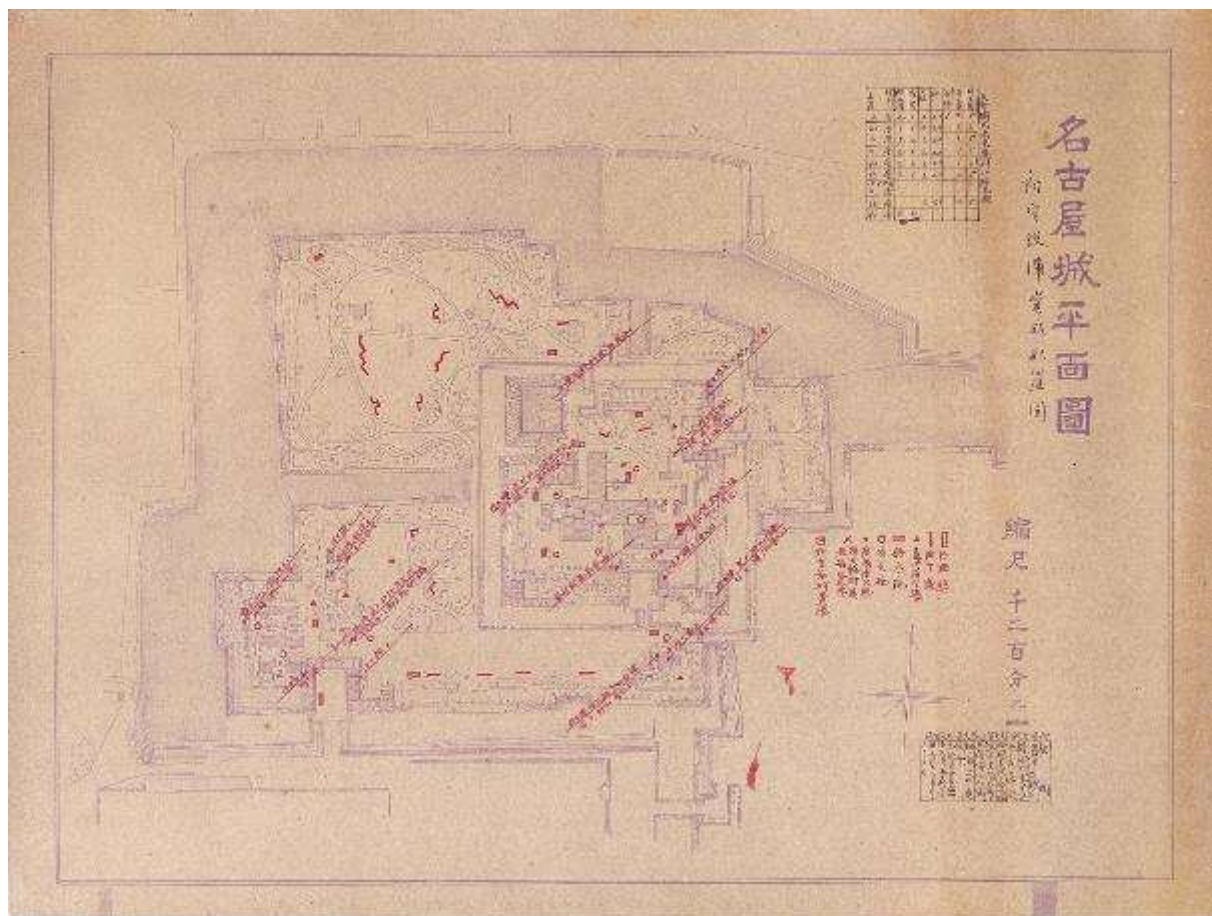
舊二之丸北之御庭平面図（現歩兵聯隊内將校集會所庭園）
昭和 8 年（1933）頃か

引用：愛知県史蹟名勝天然記念物調査会、1937 年、『愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 第十一』、愛知県



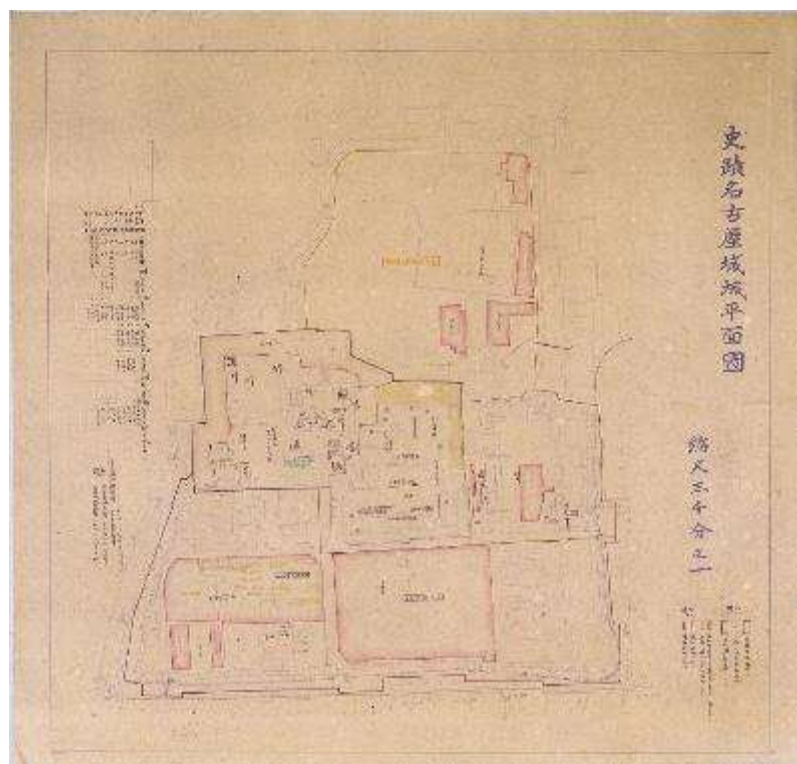
名古屋城舊二ノ丸庭園平面図

昭和 12 年（1937）実測 引用：重森三玲、1938 年、『日本庭園史圖鑑』、有光社



名古屋城防空設備資材配置図

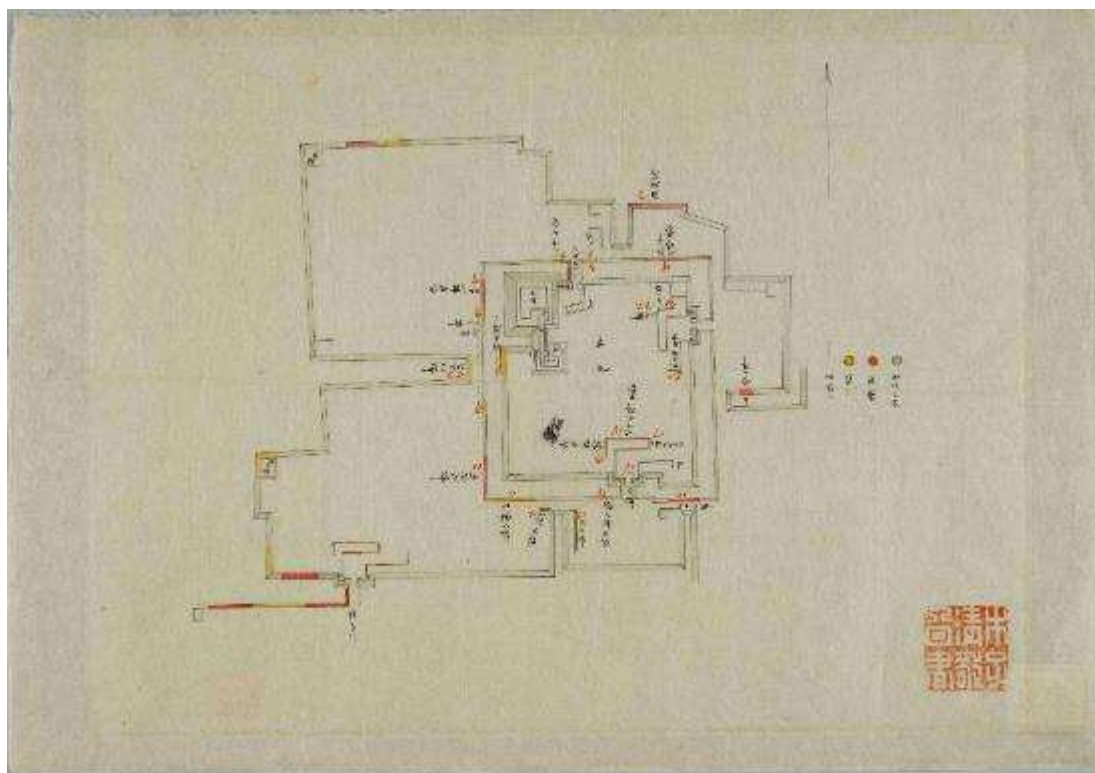
昭和 18 年（1943）名古屋城総合事務所所蔵



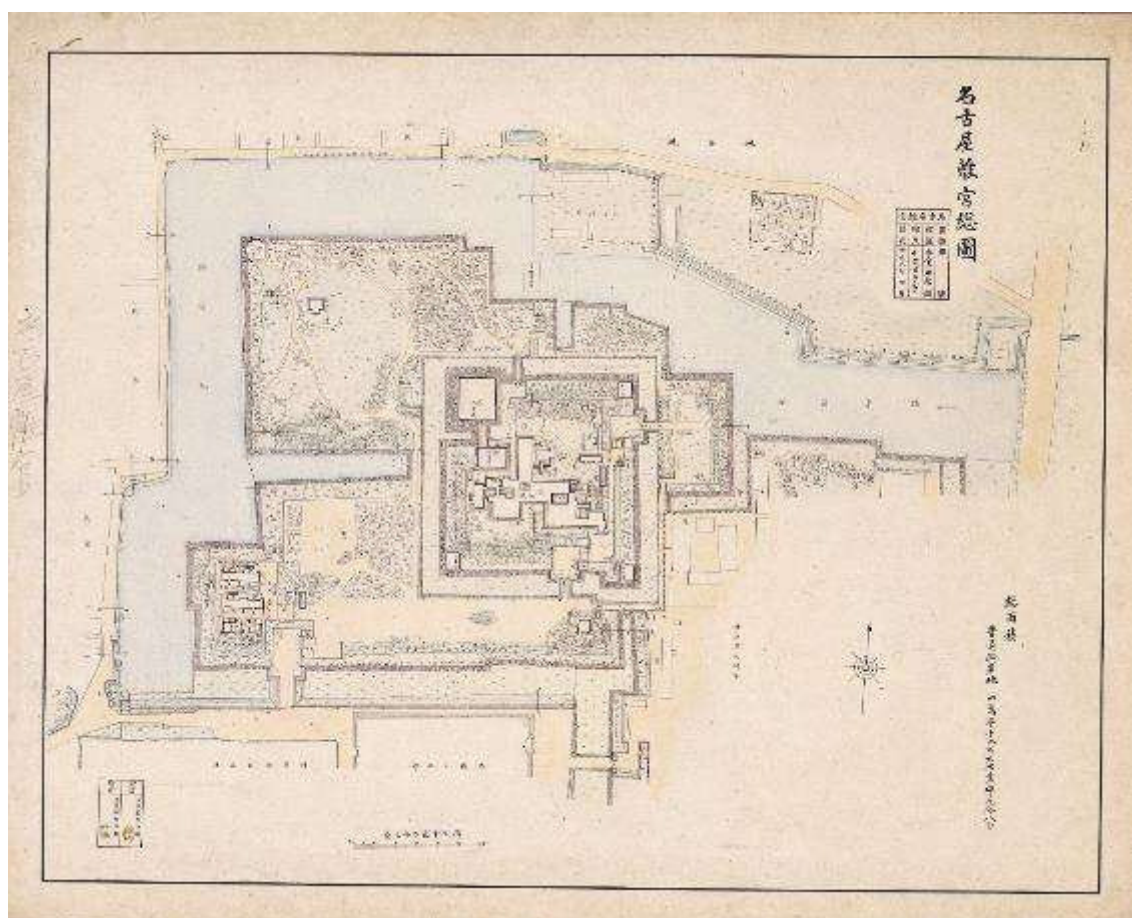
史蹟名古屋城平面図
昭和 25 年（1950）頃 名古屋城総合事務所蔵



名古屋城二の丸庭園実測量及絵図面
昭和 28 年（1953） 名古屋城総合事務所蔵



本丸・深井丸・西之丸地図（震災石垣被損箇所調査）
明治 東京都立中央図書館特別文庫室所蔵



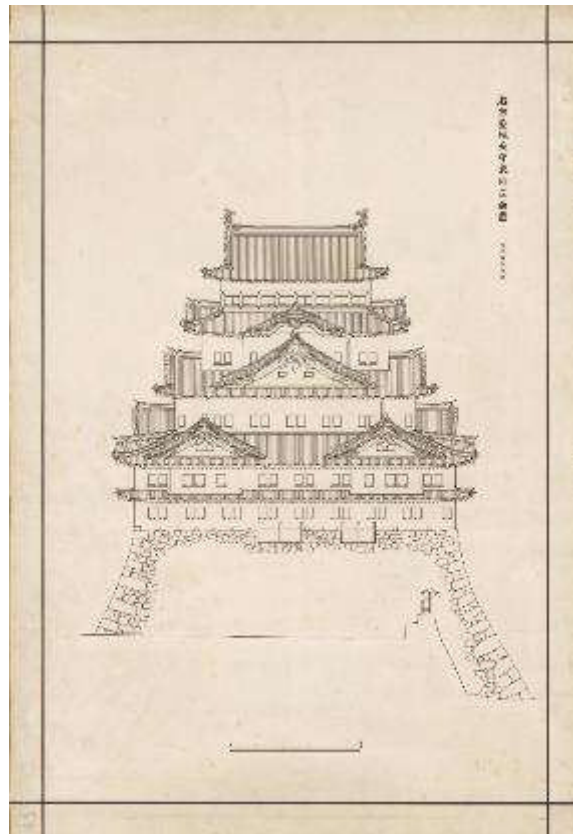
名古屋離宮総図
大正 8 年（1919） 宮内庁宮内公文書館所蔵



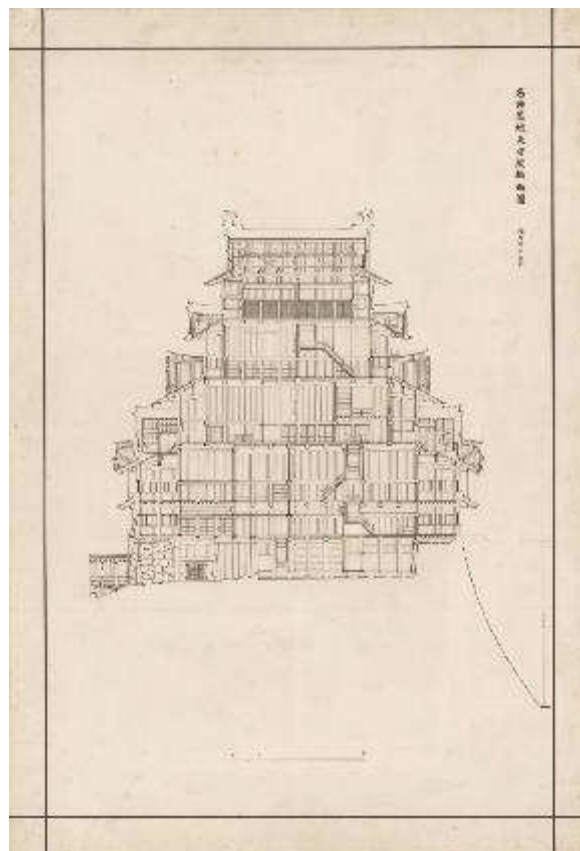
名古屋離宮虎ノ間床及棚
大正 8 年（1919） 宮内庁宮内公文書館所蔵



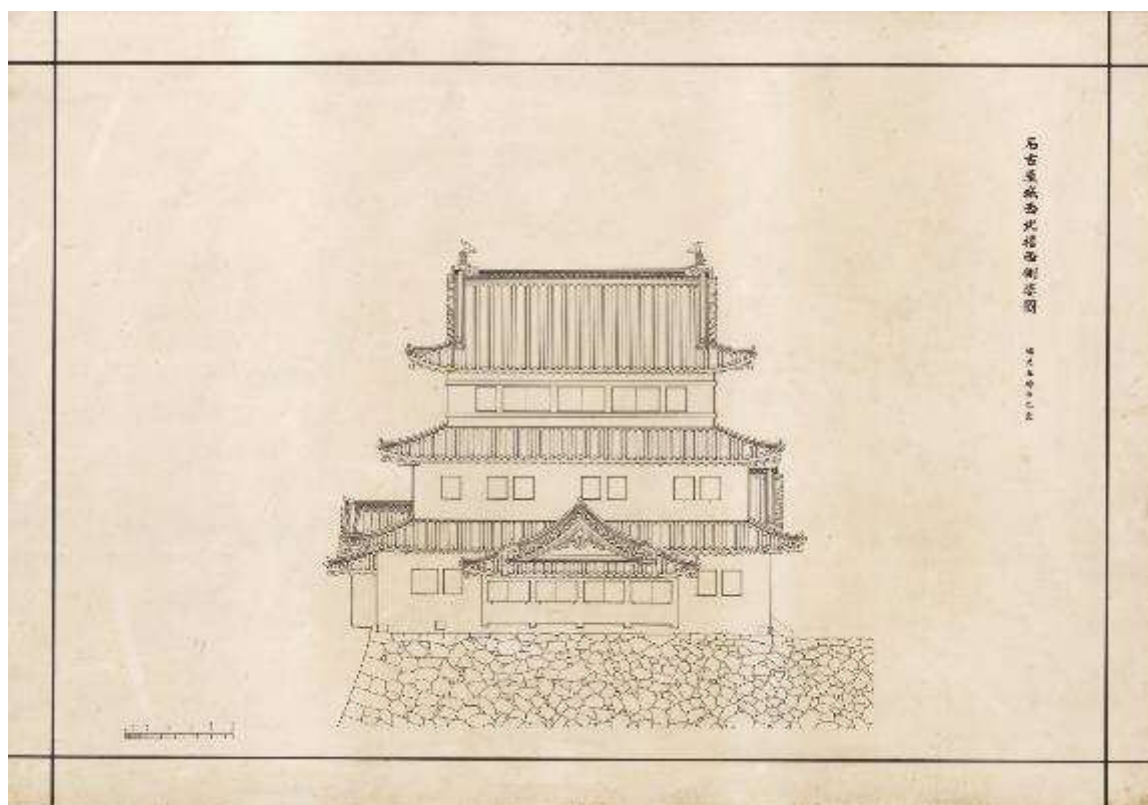
名古屋離宮建築細部実測図 名古屋離宮上洛殿欄間
大正 8 年（1919） 宮内庁宮内公文書館所蔵



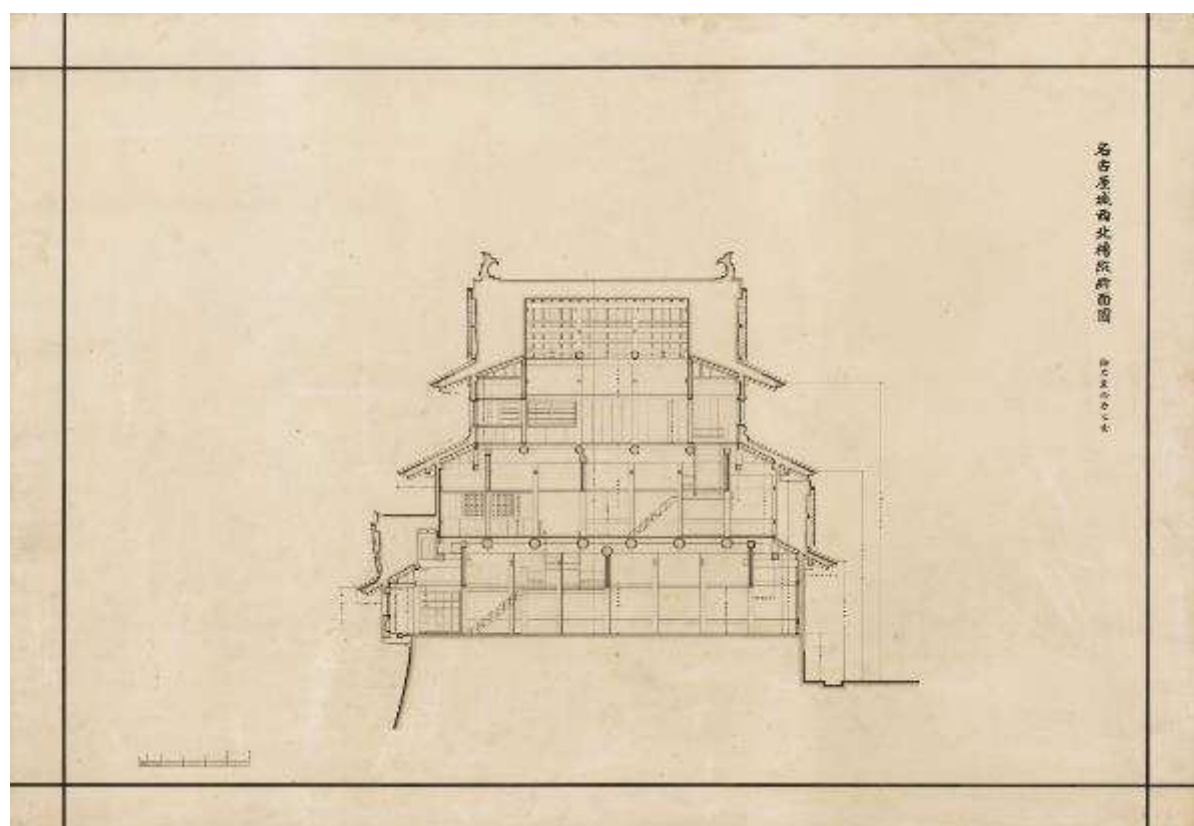
昭和実測図 名古屋城天守東側立面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



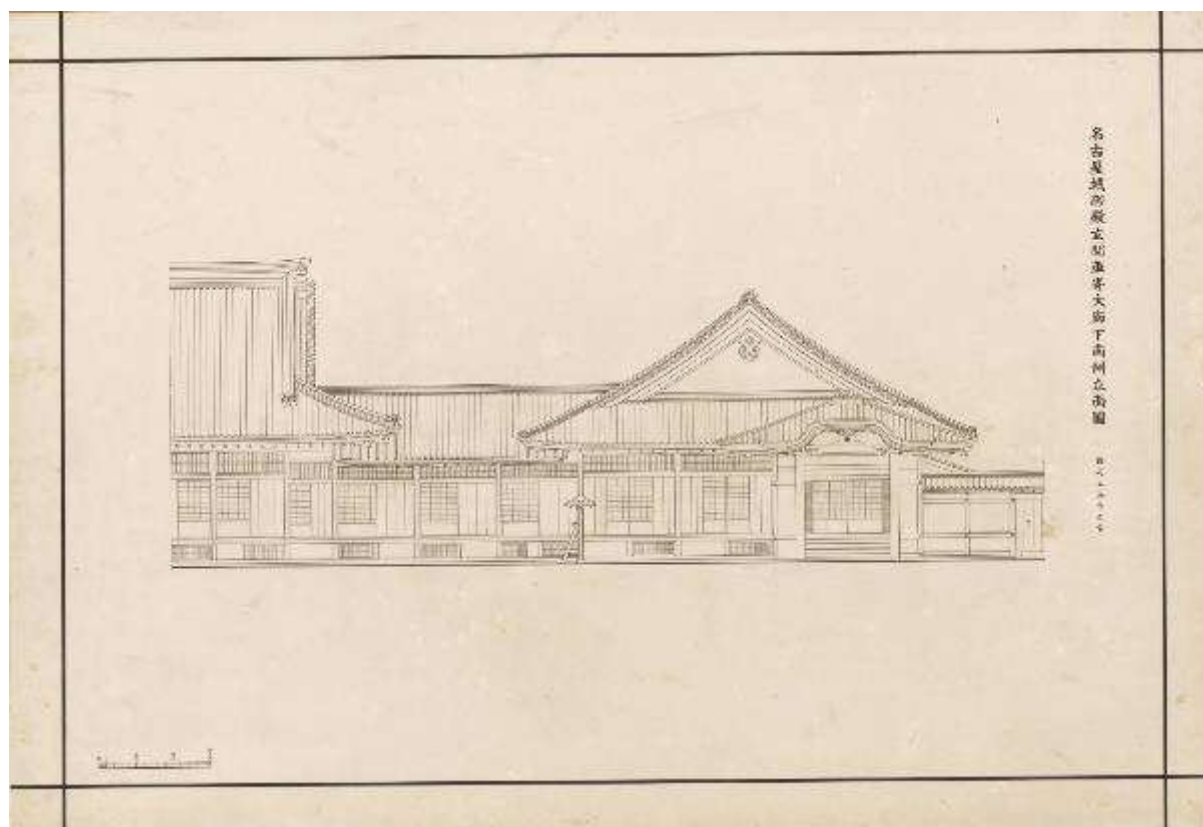
昭和実測図 天守縦断面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



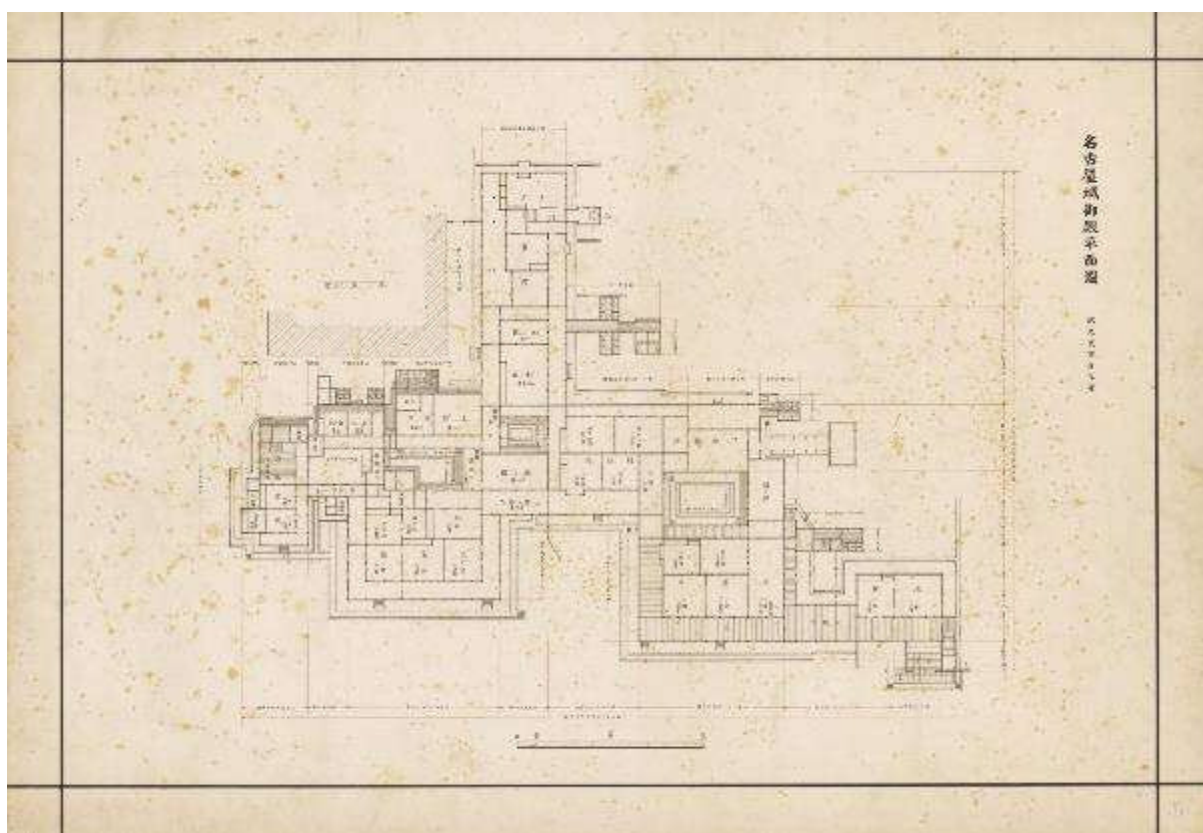
昭和実測図 名古屋城西北櫓西側姿図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



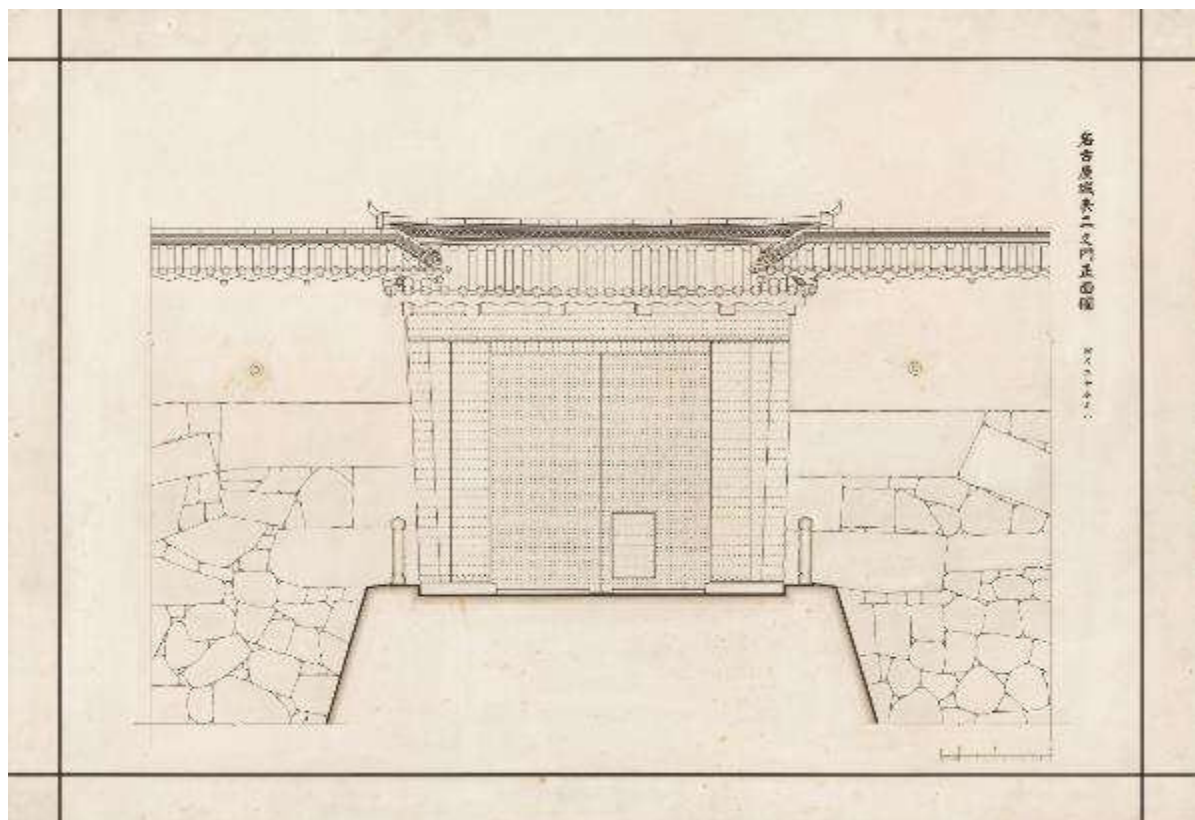
昭和実測図 名古屋城西北櫓縦断面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



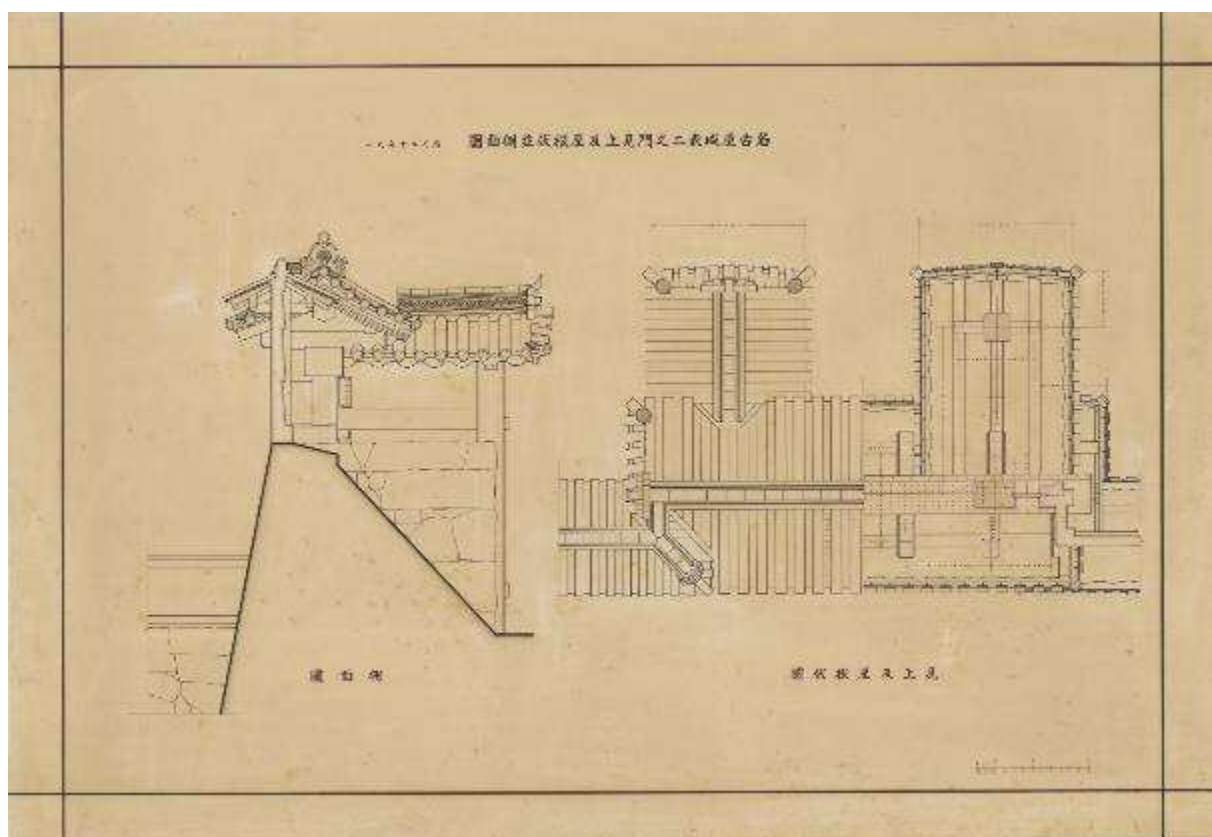
昭和実測図 名古屋城御殿玄關車寄大廊下南側立面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



昭和実測図 名古屋城御殿平面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



昭和実測図 名古屋城表二之門正面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵



昭和実測図 名古屋城表二之門見上及屋根伏並側面図
昭和前期 名古屋城総合事務所蔵

■古写真

	史資料名	時代	所蔵
1	314 [名古屋城天守閣・本丸辰巳櫓]	幕末	徳川林政史研究所
2	315 [名古屋城西丸月見櫓]	幕末	徳川林政史研究所
3	316 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
4	317 名古屋城隅櫓（二丸丑寅櫓・逐涼閣）	幕末	徳川林政史研究所
5	318 [名古屋城本丸末申櫓遠望]	幕末	徳川林政史研究所
6	319 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
7	320 [名古屋城清須櫓遠望]	幕末	徳川林政史研究所
8	321 [名古屋城清須櫓]	幕末	徳川林政史研究所
9	322 [名古屋城清須櫓]	幕末	徳川林政史研究所
10	323 尾州黒門（名古屋城二丸黒門）	幕末	徳川林政史研究所
11	324 [名古屋城西丸月見櫓]	幕末	徳川林政史研究所
12	338 [名古屋城二丸黒門]	幕末	徳川林政史研究所
13	339 [名古屋城二丸黒門]	幕末	徳川林政史研究所
14	340 [名古屋城逐涼閣]	幕末	徳川林政史研究所
15	341 [名古屋城清須櫓]	幕末	徳川林政史研究所
16	342 [名古屋城清須櫓]	幕末	徳川林政史研究所
17	343 [名古屋城内]	幕末	徳川林政史研究所
18	344 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
19	345 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
20	346 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
21	347 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
22	348 [名古屋城天守閣]	幕末	徳川林政史研究所
23	384「天守」（名古屋城天守閣・本丸辰巳櫓）	幕末	徳川林政史研究所
24	385「天守」（名古屋城天守閣・本丸辰巳櫓）	幕末	徳川林政史研究所
25	386「尾張城」（名古屋城本丸辰巳櫓付近）	幕末	徳川林政史研究所
26	387「東鉄」（名古屋城二丸東鉄門付近）	幕末	徳川林政史研究所
27	388「祭礼」（名古屋祭礼山車曳風景）	幕末	徳川林政史研究所
28	364 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
29	365 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
30	366 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
31	367 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
32	368 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
33	369 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
34	370 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
35	371 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
36	372 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
37	373 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
38	374 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
39	375 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
40	376 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
41	377 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
42	378 [名古屋城金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
43	819 [貢物名古屋城天守金鯱]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
44	866 [名古屋城二の丸より下御深井御庭船倉を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
45	943 名古屋新御殿	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
46	946 [渡辺半九郎邸正門前の名古屋祭礼山車]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
47	947 [名古屋城二の丸より下御深井御庭を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
48	952 [名古屋城清州櫓・月見櫓]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
49	953 [名古屋新御殿遠望]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
50	955 [名古屋城二の丸より下深井御庭船蔵を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
51	956 [名古屋祭礼山車]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
52	957[名古屋城下深井御庭茅庵門付近より天守閣を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
53	967 [下深井御庭内部]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
54	969 [下深井御庭内部]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
55	976 [名古屋城二の丸北側塀の修理足場]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
56	977 [名古屋城迎涼閣を下より望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
57	1085 [名古屋城清州櫓]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
58	1087 [名古屋城二ノ丸御殿より本丸表門を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
59	1089 [名古屋城二ノ丸より三ノ丸武家屋敷を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
60	1105 [名古屋城二ノ丸より御屋形を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所

	史資料名	時代	所蔵
61	1107 [向屋敷馬場馬見所]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
62	1109 [名古屋城二ノ丸御殿より本丸天守と辰巳櫓を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
63	1110 [名古屋城内建物]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
64	1113 [名古屋城内建物]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
65	1115 [名古屋城二ノ丸御殿]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
66	1122 従新御殿御二階望西北図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
67	1129 新御殿倉庫之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
68	1133 新御殿御二階之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
69	1134 渡辺半九郎屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
70	1135 竹腰兵部少輔屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
71	1136 御太鼓櫓筋之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
72	1137 鈴木嘉十郎屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
73	1138 津田太郎兵衛・渡辺半九郎屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
74	1139 東鉄下馬之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
75	1140 御深井之景	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
76	1141 御屋形表門之図(1)	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
77	1142 御屋形長屋之景(2)	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
78	1143 御本丸戌亥御櫓（未申櫓・清須櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
79	1144 迎涼閣之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
80	1145 御城桜御間御二階	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
81	1146 向屋敷御馬見所	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
82	1147 御城梅之御間	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
83	1148 東大手之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
84	1150 成瀬氏中屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
85	1152 御屋形御庭之景	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
86	1154 御屋形之景	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
87	1155 御屋形之図	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
88	1156 御屋形御書斎	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
89	1157 成瀬氏中屋敷	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
90	1158 [深井御庭波渡場]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
91	1160 [名古屋城二ノ丸南蛮堀]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
92	1163 [御文庫前の人々と迎涼閣]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
93	1180 [名古屋城三ノ丸御屋形長屋門堀]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
94	1181 [深井御庭]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
95	1182 [名古屋城三ノ丸遠山鞆負屋敷遠望]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
96	1186 [迎涼閣を下より望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
97	1187 [名古屋城天守閣を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
98	1188 [猿面茶席]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
99	1189 [名古屋城門前番所]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
100	1191 [名古屋城天守を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
101	1196 [名古屋城二ノ丸丑寅隅櫓裏]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
102	1197 [御文庫と迎涼閣]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
103	1203 [名古屋城二ノ丸庭園]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
104	1204 [名古屋城下深井御庭を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
105	1207 [名古屋城二ノ丸下南波渡場]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
106	1210 [城郭内の石垣と堀]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
107	1214 [名古屋城三ノ丸御屋形]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
108	1215 [名古屋城三ノ丸御屋形]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
109	1216 [名古屋城二ノ丸御殿]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
110	1217 [名古屋城二ノ丸御殿]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
111	1218 [名古屋城二ノ丸御殿]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
112	1219 名古屋城（西丸月見櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
113	1220 名古屋城（清州櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
114	1221 名古屋城（清州櫓～弓矢多聞櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
115	1222 名古屋城（深井丸弓矢櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
116	1223 名古屋城東鉄御門外（三丸武家屋敷を望む）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
117	1224 名古屋城内御屋形（御屋形正門）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
118	1225 名古屋城内御屋形（御屋形正門から連続）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
119	1226 名古屋城三（御屋形長屋門）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
120	1227 名古屋城四（御屋形長屋門から連続）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所

	史資料名	時代	所蔵
121	1228 [名古屋城天守遠望]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
122	1298 [名古屋城本丸遠望、西丸と大手馬出付近]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
123	1332 [邸内より外部を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
124	1336 名古屋新御殿御庭（物見台）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
125	1339 名古屋新御殿	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
126	1340 [名古屋城新御殿より堀越しに深井御庭を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
127	1342 [名古屋城新御殿より深井御庭を望む(1)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
128	1343 [名古屋城新御殿より深井御庭を望む(2)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
129	1344 [名古屋城新御殿より深井御庭を望む(3)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
130	1348 [名古屋城二ノ丸逐涼閣]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
131	1349 新御殿御馬場	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
132	1350 [名古屋城新御殿(1)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
133	1351 [名古屋城新御殿(2)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
134	1352 [名古屋城新御殿(3)]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
135	1356 名古屋新御殿御庭御物見	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
136	1357 名古屋新御殿	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
137	1358 [名古屋城二ノ丸御殿より南蛮練堀越しに深井御庭を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
138	1359 [名古屋城御文庫蔵と迎涼閣]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
139	1360 [名古屋二ノ丸御殿より南蛮練堀越しに深井御庭を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
140	1364 [名古屋城二ノ丸より深井御庭御船倉を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
141	1372 名古屋城（二ノ丸太鼓櫓・辰巳櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
142	1373 名古屋城御櫓（清須櫓）	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
143	1374 名古屋御城内	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
144	1375 [名古屋城二ノ丸御殿桜間を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
145	1376 [名古屋城二ノ丸御殿庭園]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
146	1377 [名古屋城天守閣を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
147	1663 [名古屋城清須櫓]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
148	1664 [名古屋城二ノ丸御殿より本丸を望む]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
149	1665 [名古屋天王祭山車行列]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
150	1666 [名古屋天王祭山車行列]	幕末～明治初期	徳川林政史研究所
151	本丸南二の門	明治初期	
152	本丸西面	明治初期	名古屋城総合事務所
153	天守・小天守と本丸御殿	明治初期	
154	西之丸榎多聞付近から天守遠望	明治初期	小沢健志氏
155	1551 [台車に載せられた名古屋城天守金鯨]	明治 5 年(1872)	徳川林政史研究所
156	1552 [台車に載せられた名古屋城天守金鯨]	明治 5 年(1872)	徳川林政史研究所
157	金鯨のない名古屋城大天守東面（本丸東一之門から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成 22 年）	明治 5 年(1872)	㈱中日新聞社
158	陸軍司令部となった本丸御殿	明治 5 年(1872)	東京国立博物館
159	西之丸と御深井丸 西から	明治 5 年(1872)	東京国立博物館
160	壬申検査時の大天守 東から	明治 5 年(1872)	東京国立博物館
161	下御深井御庭の御蓮池	明治 5 年(1872)～22 年(1889)	長崎大学附属図書館
162	天守と本丸御殿 東から	明治 12 年(1879)～20 年(1887)頃	個人
163	榎多門付近から天守遠望	明治 12 年(1879)～24 年(1891)	長崎大学附属図書館
164	写真「名古屋城天守 本丸大手馬出と西之丸を隔てる空堀南から」	明治 20～30 年代（1887～1906）頃か	個人
165	大天守 東から	明治 20 年(1887)	長崎大学附属図書館
166	大天守 東から	明治 20 年(1887)頃	個人
167	〔天守閣・糺多聞櫓〕	明治 20 年(1887)頃	
168	天守 北から	明治 22 年(1889)以前	長崎大学附属図書館
169	名古屋城天守閣古写真	明治前期	(一財)名古屋城振興協会
170	歩兵第六聯隊絵葉書（二之丸東二之門）	明治前期	個人
171	（名古屋百景）名古屋城絵葉書（榎多冠木門）	明治前期	個人
172	603 [第五十五号 名古屋城三の丸演習風景]	明治 23 年(1890)	徳川林政史研究所
173	604 [第五十六号 名古屋城天守閣]	明治 23 年(1890)	徳川林政史研究所
174	大天守 北西から	明治 24 年(1891)以前	個人
175	名古屋城本丸大手門枅形と大天守（南東から）	明治 24 年(1891)	㈱中日新聞社
176	濃尾地震で被災した二之丸東門付近	明治 24 年(1891)	宮内庁書陵部宮内公文書館
177	〔表二之門・表一之門〕	明治 24 年(1891)	

	史資料名	時代	所蔵
178	天守 南から	明治 24 年(1891)～大正 3 年(1914)	長崎大学附属図書館
179	濃尾地震の被害から修理工事中の天守北東から	明治 25 年(1892)	宮内庁書陵部宮内公文書館
180	濃尾地震の被害から修理工事中の天守南西から	明治 25 年(1892)	宮内庁書陵部宮内公文書館
181	濃尾地震の被害から修理工事中の天守内部	明治 25 年(1892)	宮内庁書陵部宮内公文書館
182	大天守 北西から	明治 26 年(1893)～42 年(1909)	長崎大学附属図書館
183	〔天守閣・月見櫓・四番御蔵か〕	明治中期	
184	古写真「天守 5 階から南東方向を望む」	明治 33 年(1900)以後	宮内庁書陵部宮内公文書館
185	古写真「天守 5 階から東方向を望む」	明治 33 年(1900)以後	宮内庁書陵部宮内公文書館
186	古写真「天守 5 階から北方向を望む」	明治 33 年(1900)以後	宮内庁書陵部宮内公文書館
187	古写真「天守 5 階から西方向を望む」	明治 33 年(1900)以後	宮内庁書陵部宮内公文書館
188	古写真「天守 5 階から南方向を望む」	明治 33 年(1900)以後	宮内庁書陵部宮内公文書館
189	西之丸写真	明治 35 年(1902)	名古屋城総合事務所
190	名古屋城古写真	明治後期	(一財)名古屋城振興協会
191	名古屋城古写真	明治	來木雅之氏
192	本丸西面	明治	個人
193	天守遠望	明治	個人
194	北西堀側から天守	明治	放送大学附属図書館
195	名古屋城天守・小天守	明治	個人
196	本丸御殿	明治	長崎大学附属図書館
197	本丸全景	明治	
198	〔表二之門・具足多聞櫓・表一之門・天守閣〕	明治	名古屋城総合事務所
199	〔天守閣・小天守・本丸御殿・糺多聞櫓〕	明治	名古屋城総合事務所
200	〔天守閣〕	明治	名古屋城総合事務所
201	〔西之丸西面・深井丸南〕	明治	名古屋城総合事務所
202	天守閣・丑寅隅櫓・糺多聞櫓	明治	
203	〔天守閣・四番御蔵か〕	明治	鶴舞中央図書館
204	戌亥隅櫓（清洲櫓）・月見櫓	明治か	徳川林政史研究所
205	〔二之丸迎涼閣〕	明治か	徳川林政史研究所
206	陸軍特別大演習大観兵式之光景絵葉書	大正 2 年(1913)	名古屋市博物館
207	縣社東照宮絵葉書	大正～昭和前期	名古屋東照宮
208	水掘で演習を行う陸軍工兵第三大隊	大正～昭和前期	長谷川裕恭氏
209	名古屋名勝 名古屋城に黄金の鯨を礼賛する望遠鏡覗き絵葉書	大正～昭和前期	個人
210	名古屋城舊二之丸庭園・北ノ御庭・南西部より見たる全景（『日本庭園史圖鑑 第 5 巻』所収）	昭和初期	
211	名古屋城舊二之丸庭園・南ノ御庭・北東部より見たる全景（『日本庭園史圖鑑 第 5 巻』所収）	昭和初期	
212	本丸を東上空から望む	昭和初期	個人
213	上空南東より本丸を望む	昭和初期	個人
214	〔東一之門・茶壺蔵か〕	昭和初期	名古屋城総合事務所
215	〔茶壺蔵か〕	昭和初期	名古屋城総合事務所
216	〔茶壺蔵か〕	昭和初期	名古屋城総合事務所
217	〔未申隅櫓・辰巳隅櫓・表二之門〕	昭和初期	名古屋市博物館
218	〔天守閣・小天守〕	昭和初期	名古屋市博物館
219	〔天守閣・丑寅隅櫓〕	昭和初期	名古屋市博物館
220	〔天守閣〕	昭和初期	名古屋市博物館
221	〔辰巳隅櫓・丑寅隅櫓〕	昭和初期	名古屋市博物館
222	〔正門か〕	昭和初期	名古屋市博物館
223	〔小天守〕	昭和初期	名古屋市博物館
224	名古屋城関係写真資料 四ッ切サイズ以下 300 枚、半切サイズ 100 枚以上	昭和初期	東京国立博物館
225	戌亥隅櫓（清洲櫓）（西面）	昭和初期	田中工策氏
226	戌亥隅櫓（清洲櫓）（西面）	昭和初期	田中工策氏
227	未申隅櫓（西南面）	昭和初期	田中工策氏
228	本丸御殿玄関	昭和初期	田中工策氏
229	本丸御殿屋根	昭和初期	田中工策氏
230	不明門（北面）	昭和初期	田中工策氏
231	不明門（南面）	昭和初期	田中工策氏
232	表二之門（南面）	昭和初期	田中工策氏
233	表一之門（西面）	昭和初期	田中工策氏
234	東二之門（東面）	昭和初期	田中工策氏

	史資料名	時代	所蔵
235	東二之門（西面）	昭和初期	田中工策氏
236	辰巳隅櫓（南西面）	昭和初期	田中工策氏
237	東一之門・清正石	昭和初期	
238	辰巳隅櫓・表一之門・二之門	昭和初期	
239	〔二之丸高麗門（西鉄門）〕	昭和初期	
240	〔二之丸庭園〕	昭和初期か	名古屋市博物館
241	ガラス乾板（鷺之廊下障壁画）	昭和3年(1928)	京都市立芸術大学芸術資料館
242	名古屋城本丸・西之丸・御深井丸航空写真（南南東から） （出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
243	名古屋城本丸・御深井丸航空写真（東南東から）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
244	名古屋城大天守東面（二之丸北水堀から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
245	名古屋城大天守東北（御深井丸鶴の首から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
246	名古屋城正門（樓多門）南西（土橋西から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
247	名古屋城大天守東面（塩蔵構から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
248	名古屋城大天守南西（西之丸梅林から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
249	名古屋城大天守・小天守西面（水堀西側鶴の首から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
250	名古屋城大天守南西面（西之丸梅林から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
251	名古屋城大天守東面（本丸東一之門南から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
252	名古屋城大天守南西面（西之丸梅林から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
253	名古屋城小天守から西之丸を望む（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
254	名古屋城大天守東北面直下（本丸御殿から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
255	名古屋城大天守から二之丸南東を望む（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
256	名古屋城大天守から御深井丸北西を望む（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
257	名古屋城本丸御殿玄関正面と大天守（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
258	名古屋城本丸御殿対面所南面（南側庭から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
259	名古屋城本丸御殿一之間内部北東面（出典：『名古屋城いまむかし』平成22年）	昭和6年(1931)2月	㈱中日新聞社
260	名古屋城拝観記念絵葉書	昭和6年(1931)	名古屋市博物館
261	「愛せよ恩賜の国宝 護れ天下の名城」絵葉書	昭和10年(1935)	名古屋市博物館
262	第五回・四谷区参宮団（名古屋城）絵葉書	昭和11年(1936)	個人
263	ガラス乾板写真「天守と本丸御殿」	昭和15年(1940)～16年(1941)	名古屋城総合事務所
264	ガラス乾板写真「大天守1階西側入側（廊下）」	昭和15年(1940)～17年(1942)	名古屋城総合事務所
265	1594 名古屋城内先聖堂額	昭和16年(1941)	徳川林政史研究所
266	本丸御殿・本丸辰巳（東南）隅櫓より見る	昭和16年(1941)頃	
267	天守焼失後の名古屋城大天守台および小天守台（東南から望む）	焼失前	
268	焼失前の名古屋城本丸を西南から望む	焼失前	
269	天守焼失後の名古屋城大天守台石塁	焼失前	
270	大天守地階明窓	焼失前	
271	大天守一階西入側	焼失前	
272	大天守二階東入側武者返	焼失前	
273	大天守二階東入側武者返外観	焼失前	
274	大天守三階東側破風之間	焼失前	
275	大天守四階東側破風之間入口	焼失前	
276	大天守四階御成階	焼失前	
277	大天守五階入側	焼失前	
278	小天守奥御門	焼失前	
279	本丸東一之門	焼失前	

	史資料名	時代	所蔵
280	本丸東二之門	焼失前	
281	本丸不明門	焼失前	
282	本丸搦手門と東北隅櫓	焼失前	
283	本丸御殿遠侍一之間	焼失前	
284	本丸御殿広間南側外観	焼失前	
285	本丸御殿広間上段之間	焼失前	
286	本丸御殿対面所上段之間違棚・納戸構	焼失前	
287	本丸御殿鷺之廊下外観	焼失前	
288	本丸御殿鷺之廊下	焼失前	
289	本丸御殿御成書院南・西側外観	焼失前	
290	本丸御殿御成書院一之間	焼失前	
291	本丸御殿御成書院上段之間床・棚・納戸構	焼失前	
292	本丸御殿御成書院上段之間釘隠詳細	焼失前	
293	本丸御殿御成書院南側廊下欄間詳細	焼失前	
294	本丸御殿御成書院西側廊下	焼失前	
295	本丸御殿上り場御殿上段之間	焼失前	
296	本丸御殿上り場御殿風呂屋	焼失前	
297	本丸御殿黒木書院二之間	焼失前	
298	本丸御殿上台所北東側外観	焼失前	
299	網が掛けられた名古屋城大天守金鯱（雄）（出典：『名古屋城いまむかし』平成 22 年）	焼失前	㈱中日新聞社
300	網が掛けられた名古屋城大天守金鯱（雌）（出典：『名古屋城いまむかし』平成 22 年）	焼失前	㈱中日新聞社
301	空襲を受ける名古屋城（B29 から）（出典：『名古屋城いまむかし』平成 22 年）	昭和 20 年(1945)	米軍
302	金鯱を疎開させるために組まれた足場	昭和 20 年(1945)5 月	(一財)名古屋城振興協会
303	空襲で焼失する名古屋城天守	昭和 20 年(1945)5 月 14 日	名古屋空襲を記録する会
304	名古屋の絵葉書集 [本丸御殿玄関正面]	昭和前期	名古屋市鶴舞中央図書館
305	四谷区市立小学校連合 参宮記念名古屋城絵葉書	昭和前期	個人
306	大天守 北西から	昭和前期	鈴木章氏
307	航空写真	昭和前期	
308	ガラス乾板（計 738 枚）	昭和前期	名古屋城総合事務所
309	旧学生会館 現在の東庭園イチョウ周辺	昭和 23 年(1948)～昭和 48 年(1973)	㈱竹中工務店
310	旧学生会館 棟不明-1	昭和 23 年(1948)～昭和 48 年(1973)	㈱竹中工務店
311	旧学生会館 棟不明-2	昭和 23 年(1948)～昭和 48 年(1973)	㈱竹中工務店
312	旧学生会館 棟不明-3	昭和 23 年(1948)～昭和 48 年(1973)	㈱竹中工務店
313	西北から見た本丸御殿跡と東南隅櫓	昭和 24 年(1949)	
314	名古屋城菊花大会	昭和 24 年(1949)	岡崎茂氏
315	再建中の天守	昭和 33 年(1958)5 月頃	㈱安藤ハザマ
316	1960 年当時の名城キャンパス	昭和 35 年(1960)	㈱中日新聞社
317	旧学生会館取壊し前 全景西面	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
318	旧学生会館取壊し前 全景南西面	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
319	旧学生会館取壊し前 全景南面	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
320	旧学生会館取壊し前 A 棟北	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
321	旧学生会館取壊し前 A 棟東	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
322	旧学生会館取壊し前 B 棟東-1	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
323	旧学生会館取壊し前 B 棟東-2	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
324	旧学生会館取壊し前 B 棟西	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
325	旧学生会館取壊し前 B 棟西	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
326	旧学生会館取壊し前 B 棟南	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
327	旧学生会館取壊し前 B 棟北	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
328	旧学生会館取壊し前 C 棟東-1	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
329	旧学生会館取壊し前 C 棟東-2	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
330	旧学生会館取壊し前 C 棟東-3	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
331	旧学生会館取壊し前 C 棟西	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
332	旧学生会館取壊し前 C 棟南	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
333	旧学生会館取壊し前 C 棟北	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所
334	旧学生会館取壊し前 D 棟東	昭和 49 年(1974)5 月	名古屋城総合事務所

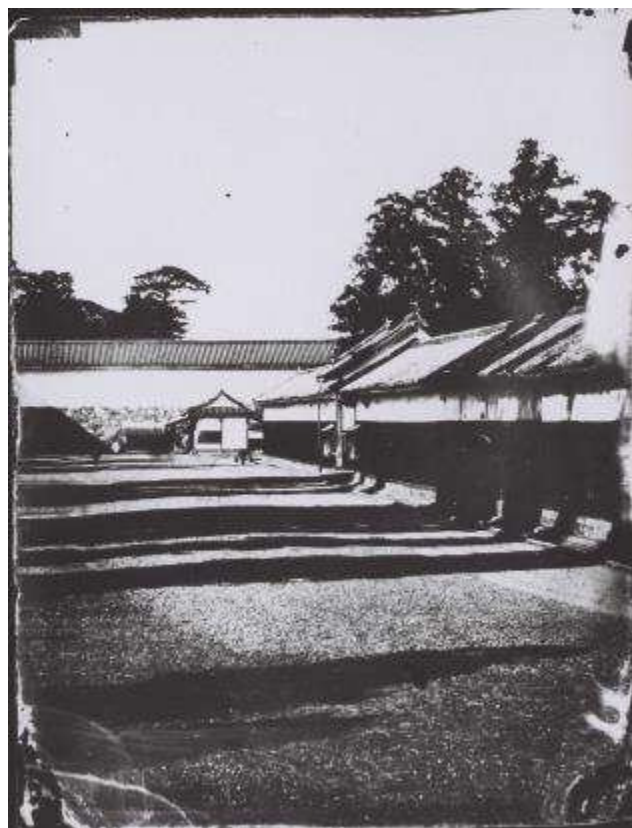
	史資料名	時代	所蔵
335	旧学生会館取壊し前 D棟南	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
336	旧学生会館取壊し前 D棟北	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
337	旧学生会館取壊し前 E棟東	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
338	旧学生会館取壊し前 E棟西	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
339	旧学生会館取壊し前 E棟南	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
340	旧学生会館取壊し前 E棟北	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
341	旧学生会館取壊し前 F棟西	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
342	旧学生会館取壊し前 F棟北	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
343	旧学生会館取壊し前 F棟南	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
344	旧学生会館取壊し前 G棟東	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
345	旧学生会館取壊し前 G棟西-1	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
346	旧学生会館取壊し前 G棟南-1	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
347	旧学生会館取壊し前 G棟西-2	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
348	旧学生会館取壊し前 G棟南-2	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
349	旧学生会館取壊し前 G棟南-3	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
350	旧学生会館取壊し前 G棟北-1	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
351	旧学生会館取壊し前 G棟北-2	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
352	旧学生会館取壊し前 G棟北-3	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
353	旧学生会館取壊し前 H棟東	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
354	旧学生会館取壊し前 H棟西	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
355	旧学生会館取壊し前 H棟南-1	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
356	旧学生会館取壊し前 H棟南-2	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
357	旧学生会館取壊し前 H棟南-3	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
358	旧学生会館取壊し前 場所不明 (H棟か)	昭和49年(1974)5月	名古屋城総合事務所
359	南池発掘調査	昭和51年(1976)～52年(1977)	名古屋市教育委員会
360	戦災焼失後の天守台	昭和後期	名古屋城総合事務所
361	本丸丑寅隅櫓北面	昭和	
362	本丸丑寅隅櫓東面	昭和	
363	大手門	昭和	
364	本丸東二の門正面	昭和	
365	本丸南(表)一の門西面	昭和	
366	本丸不明門正面	昭和	
367	本丸東一の門北面	昭和	
368	御深井丸西北隅櫓	昭和	個人
369	本丸御殿玄関・式台	昭和	
370	本丸御殿玄関・式台	昭和	個人
371	本丸御殿玄関・式台	昭和	個人
372	本丸御殿上段の間	昭和	
373	本丸御殿広間上段の間	昭和	
374	大天守		
375	名古屋城		個人
376	大天守南面		
377	天守内部地階		
378	天守内部五階		
379	天守内部二階		
380	天守内部一階		
381	小天守東北面		
382	小天守西北面		
383	小天守内部地階		
384	小天守内部一階		
385	小天守西南面		
386	北から見た天守		長崎大学附属図書館
387	本丸南面		小沢健志氏
388	東南隅櫓三階内部	修理前	
389	〔東照宮社殿〕		名古屋市博物館



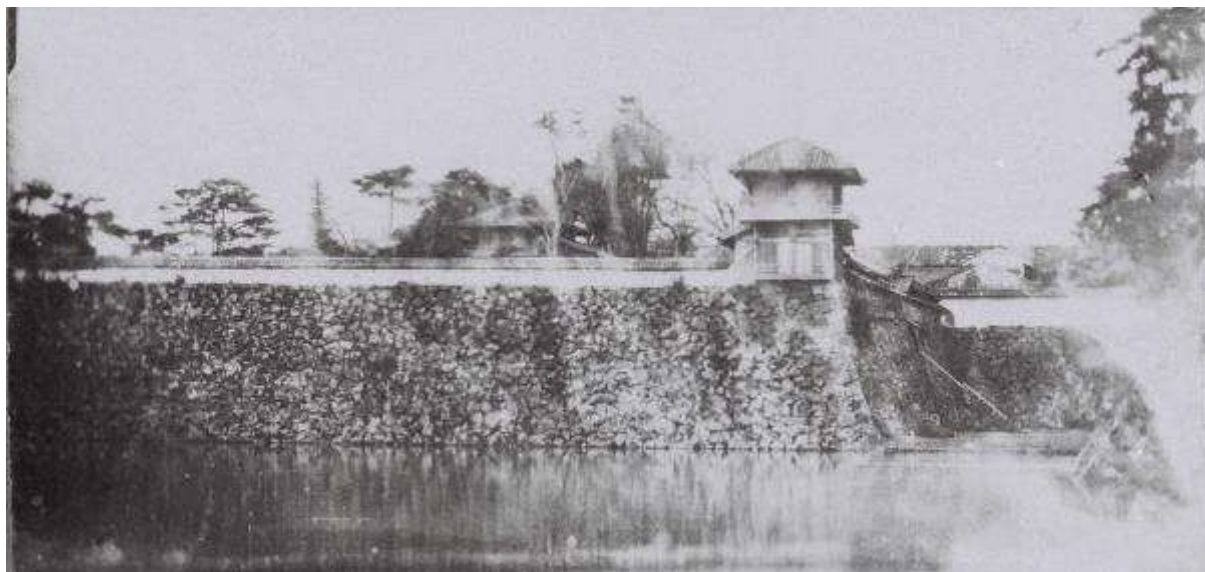
1376 [名古屋城二ノ丸御殿庭園]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所所蔵



1375 [名古屋城二ノ丸御殿桜間を望む]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所所蔵



339 [名古屋城二丸黒門]
幕末 徳川林政史研究所所蔵



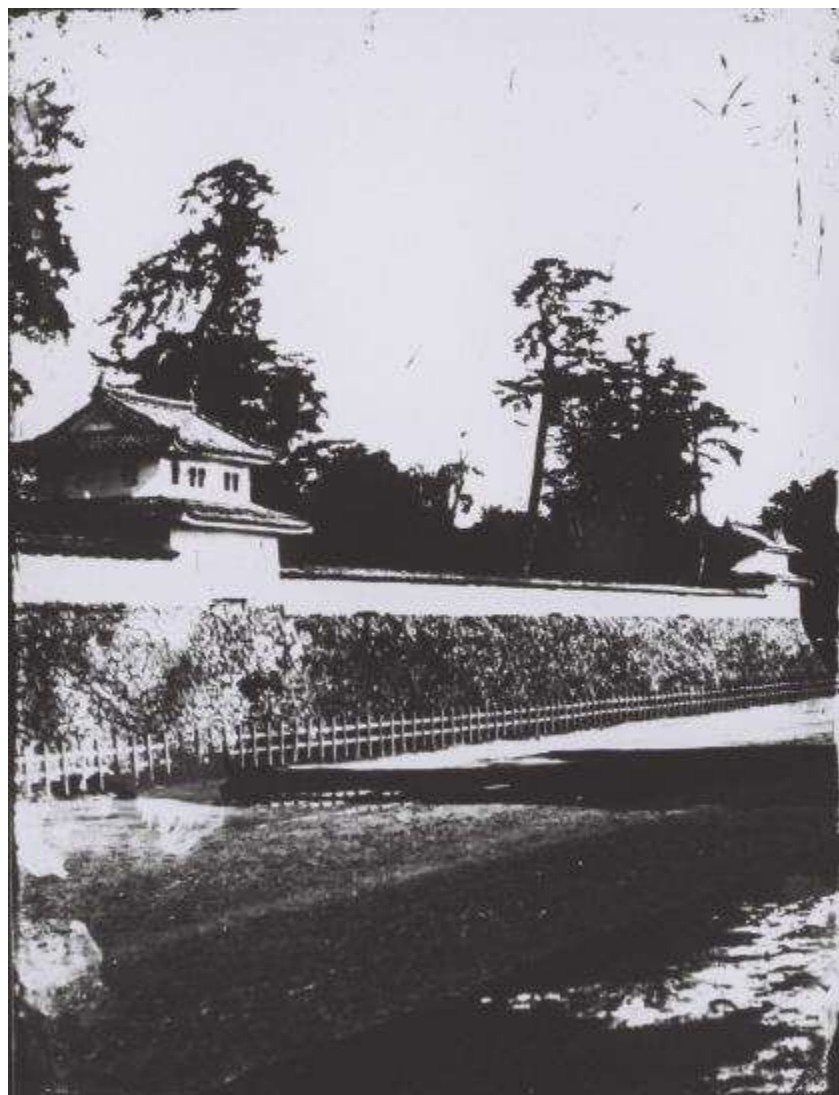
1144 [迎涼閣之図]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



977 [名古屋城迎涼閣を下より望む]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



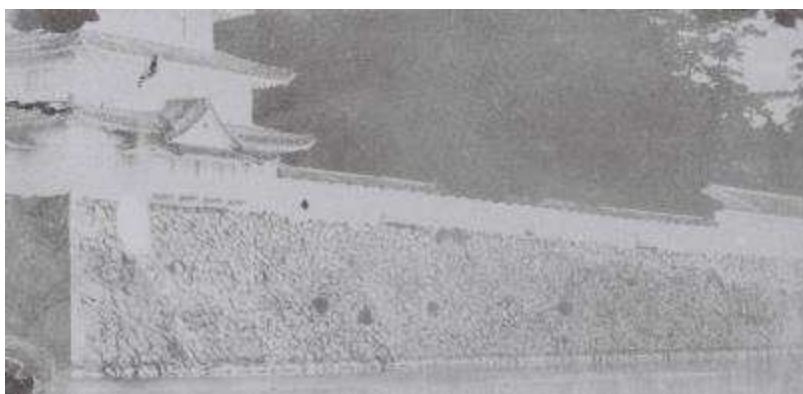
1146 [向屋敷御馬見所]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



343 [名古屋城内]
幕末 徳川林政史研究所蔵



1219 [名古屋城（西丸月見櫓）]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



1219 [名古屋城（清州櫓）]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



1219 [名古屋城（清州櫓～弓矢多聞櫓）]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



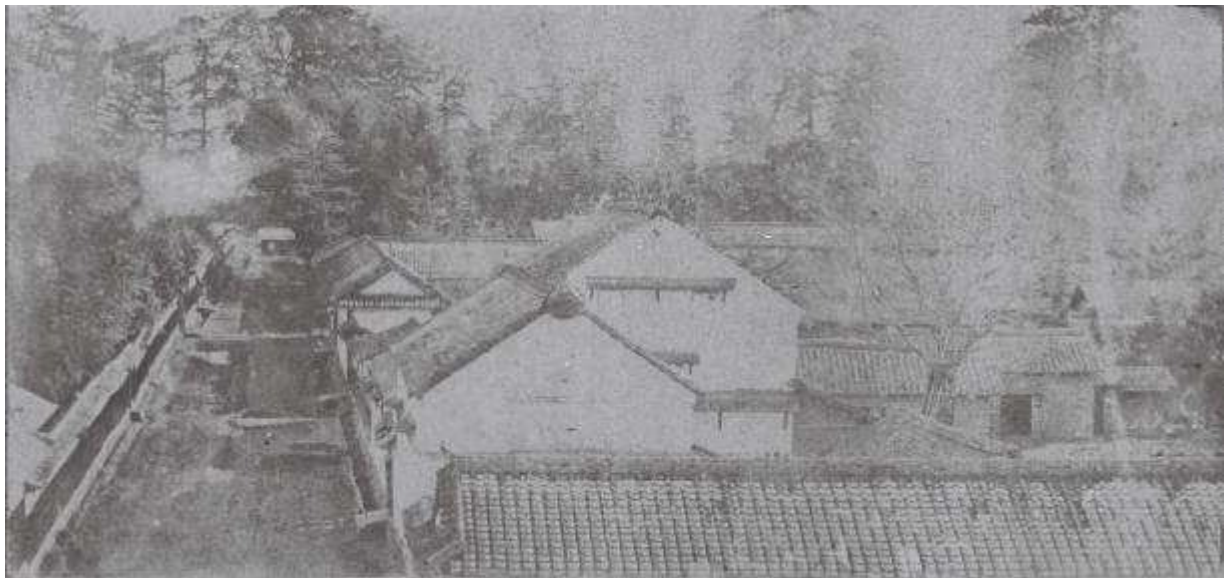
1219 [名古屋城（深井丸弓矢櫓）]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



1158 [深井御庭波渡場]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



1148 [東大手之図]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



1136 [御太鼓櫓筋之図]
幕末～明治初期 徳川林政史研究所蔵



ガラス乾板写真 本丸西面
明治初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 本丸南二の門
明治初期 名古屋城総合事務所蔵



写真「名古屋城天守 本丸大手馬出と西之丸を隔てる空堀南から」
明治 20～30 年代（1887～1906）頃か 個人所蔵



歩兵第六連隊絵葉書（二之丸東二之門）
明治前期 個人所蔵



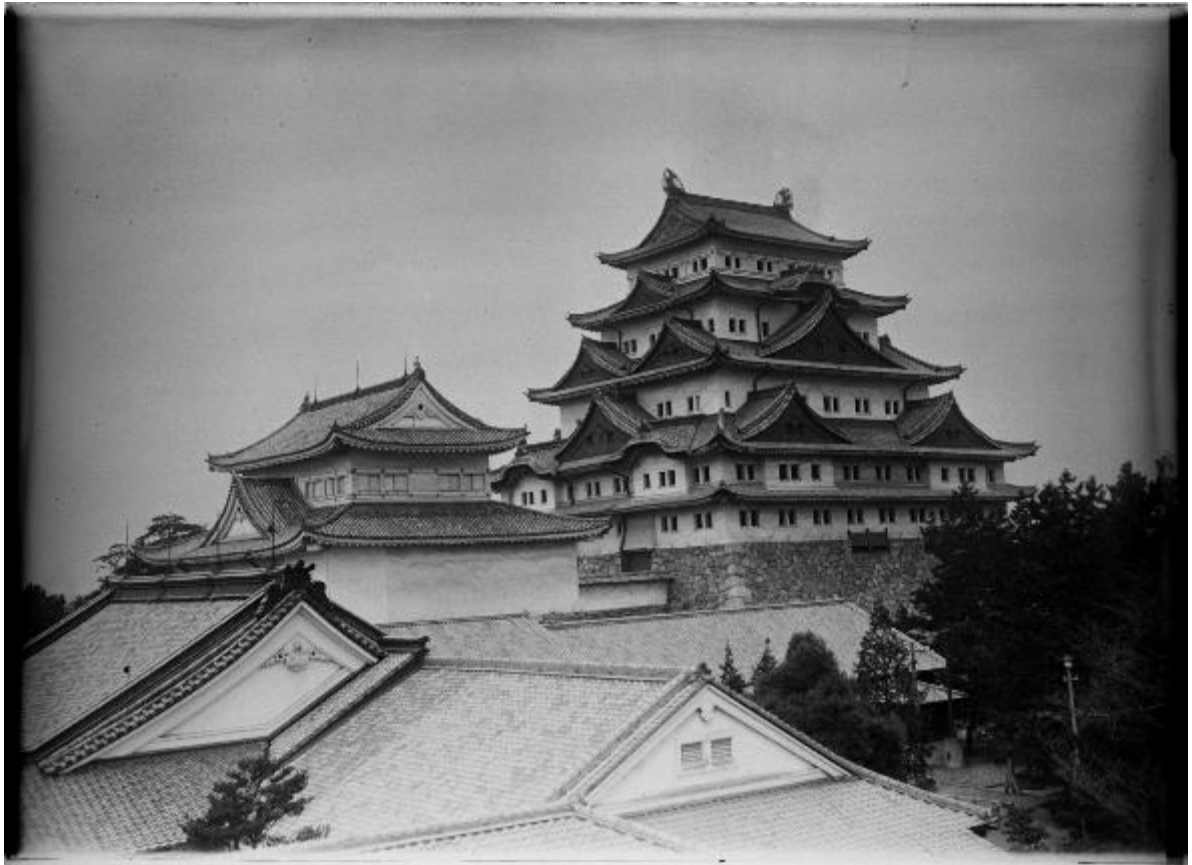
（名古屋百景）名古屋城絵葉書（榎多冠木門）
明治前期 個人所蔵



西之丸写真
明治 35 年（1902） 名古屋城総合事務所所蔵



古写真（天守 5 階から南東方向を望む）
明治 33 年（1900）以降 宮内庁宮内公文書館所蔵



ガラス乾板写真 本丸敷地内建造物（焼失）俯瞰
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 天守閣 1 階内西入側（焼失）
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 天守閣 1 階内橋台上南側石落及び鉄砲狭間（焼失）
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 本丸御殿玄関・車寄外観
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 玄関二之間より一之間（焼失）を望む
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 本丸御殿表書院上段之間北面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 上洛殿一之間より上段之間（焼失）東北側を望む
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 東北隅櫓（焼失）東南面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 東南隅櫓東南面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 西南隅櫓東南面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 表一之門（焼失）枡形
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 表二之門正面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



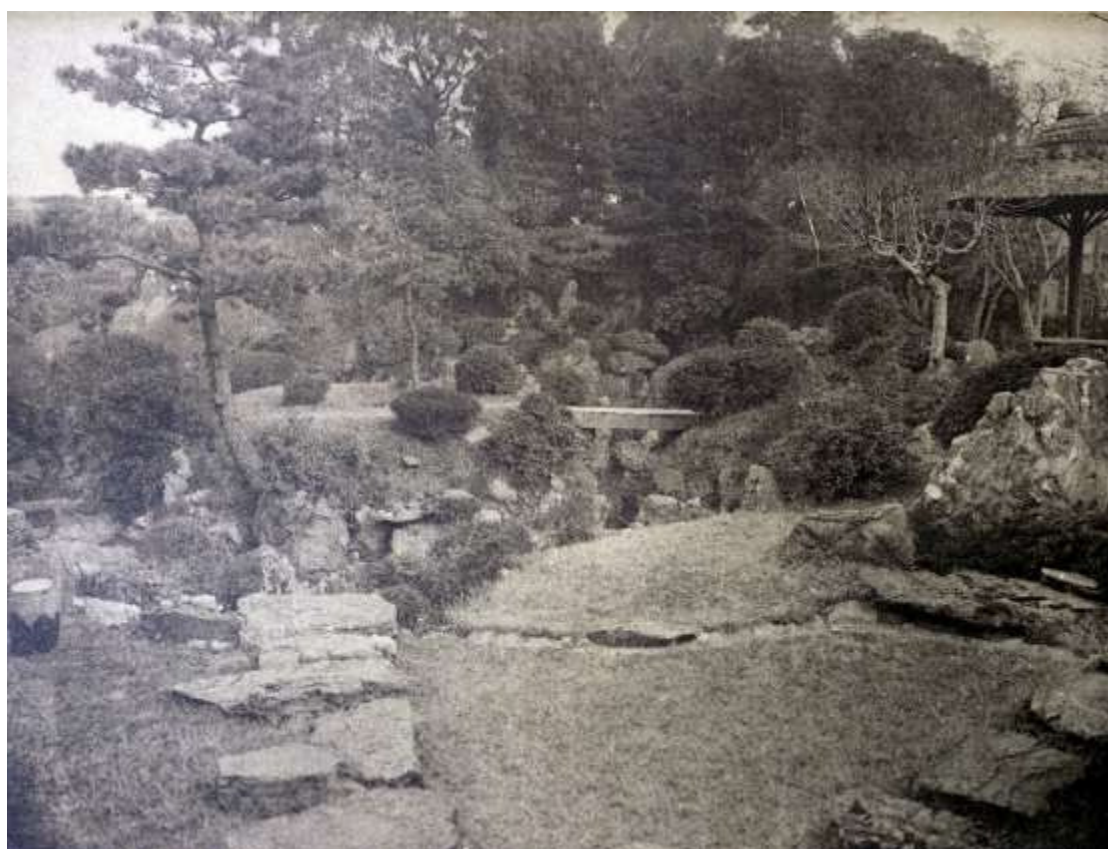
ガラス乾板写真 東一之門（焼失）正面櫛形清正石を望む
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 東二之門（焼失）正面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 不明門北側
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



名古屋城舊二之丸庭園・北ノ御庭・南西部より見たる全景
昭和初期 引用：重森三玲、1939 年、『日本庭園史図鑑 第 5 巻』、有光社



名古屋城舊二之丸庭園・南ノ御庭・北東部より見たる全景
昭和初期 引用：重森三玲、1939 年、『日本庭園史図鑑 第 5 巻』、有光社



ガラス乾板写真 天然記念物 榎の木
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 正門（焼失）正面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 西北隅櫓西北面
昭和初期 名古屋城総合事務所蔵



ガラス乾板写真 御深井丸地内乃木倉庫（第一倉庫）正面
昭和初期 名古屋城総合事務所所蔵



戦災焼失後の天守台
昭和後期 名古屋城総合事務所所蔵

■その他

	史資料名	時代	所蔵
1	本丸御殿対面所上段之間付書院脇壁欄間 破片	慶長 20 年(1615)	名古屋城総合事務所
2	本丸御殿上洛殿欄間彫刻 破片 椿の花	寛永 11 年(1634)	名古屋城総合事務所
3	本丸御殿上洛殿欄間彫刻 破片 牡丹の葉	寛永 11 年(1634)	名古屋城総合事務所
4	本丸御殿上洛殿欄間彫刻 破片	寛永 11 年(1634)	名古屋城総合事務所
5	本丸御殿上洛殿入側外側欄間 破片	寛永 11 年(1634)	名古屋城総合事務所
6	笹躰躰小襖	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
7	名古屋城建造材	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
8	本丸御殿表書院金襴	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
9	本丸御殿上洛殿入側明かり障子	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
10	打掛金具	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
11	焼損金具 八双形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
12	焼損金具 八双形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
13	焼損金具 天井辻金具	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
14	焼損金具 天井辻金具	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
15	焼損金具 天井辻金具	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
16	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
17	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
18	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
19	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
20	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
21	焼損金具 花熨斗形長押釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
22	焼損金具	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
23	金鯰鱗	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
24	釘隠	江戸時代前期	名古屋城総合事務所
25	徳川家康座像	江戸時代	名古屋城総合事務所
26	名古屋城本丸廬屋修繕之儀伺「大日記 明治十一年十一月 砲工方面之部」	明治 10 年(1877)	防衛省防衛研究所図書館
27	金鷄尾復旧之儀二付伺「大日記 明治十一年七月 六鎮台」	明治 11 年(1878)	防衛省防衛研究所図書館
28	金鯰復旧銘板	明治 12 年(1879)	名古屋城総合事務所
29	名古屋城保存之儀二付上申「肆大日記 明治十九年三月」	明治 16 年(1883)	防衛省防衛研究所図書館
30	陸軍省所轄旧名古屋城宮内省へ引渡ノ件請議ノ通 「杏大日記 明治二十六年五月」	明治 26 年(1893)	防衛省防衛研究所図書館
31	絨毯	明治	名古屋城総合事務所
32	梨地菊紋散肘掛付猫足椅子	明治	名古屋城総合事務所
33	白地授繻子立湧文卓掛・机	明治	名古屋城総合事務所
34	猫足側座火鉢	明治	名古屋城総合事務所
35	朱地金欄七宝繫文卓掛・机	明治	名古屋城総合事務所
36	黒漆塗菊紋燭台	明治	名古屋城総合事務所
37	黒漆塗菊紋散肘掛付椅子	明治	名古屋城総合事務所
38	行灯	明治	名古屋城総合事務所
39	名古屋城本丸御殿障壁画梅山・一溪鑑定書	明治写	東京都立中央図書館木子文庫
40	御沙汰書	昭和 6 年(1931)	名古屋城総合事務所
41	国宝名古屋城美術図録	昭和 6 年(1931)12 月初版	名古屋城総合事務所
42	国宝建造物滅失届・障壁画焼失届	昭和 20 年(1945)	名古屋城総合事務所
43	金鯰取卸並二乃木倉庫補強工事依頼ノ件	昭和 20 年(1945)	名古屋城総合事務所
44	実測野帳・調書	昭和前期	名古屋城総合事務所
45	集束焼夷弾弾頭	昭和	名古屋城総合事務所
46	型板	昭和	名古屋城総合事務所
47	障壁画模写作品 花車図	平成	名古屋城総合事務所

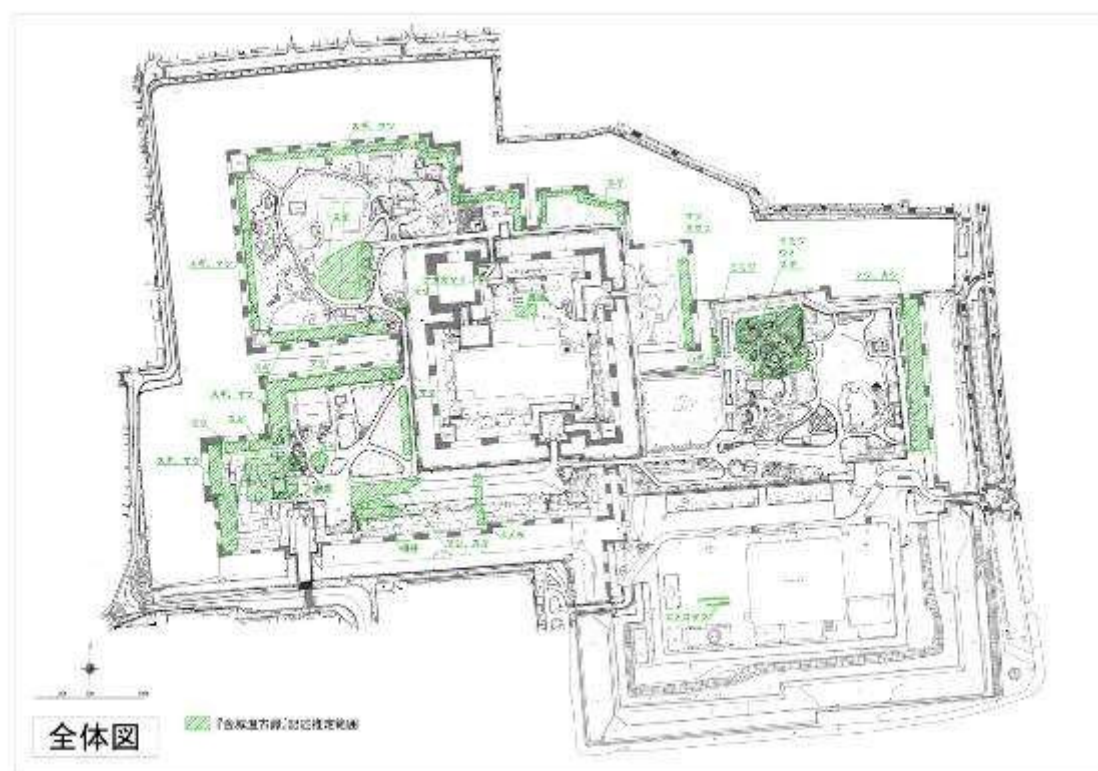
■その他（金鯰鱗破片一覧）

号	封筒・付箋等書付	採集日	所蔵
1号	金鯰修理残材	昭和12年(1937)3月	名古屋城総合事務所
2号	分析返却分	昭和12年(1937)3月	名古屋城総合事務所
3号	南方鯰引下ニ際シ脱落シタルモノ	昭和20年(1945)7月	名古屋城総合事務所
4号	南方鯰引下ニ際シ脱落シタルモノ	昭和20年(1945)7月	名古屋城総合事務所
5号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
6号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
7号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
8号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
9号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
10号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
11号	亜米利加軍ニ接收ノ際隠匿シ置キシモノ	昭和21年(1946)6月	名古屋城総合事務所
12号	天守東松林内ニテ土中ヨリ発見ノモノ	昭和27年(1952)9月	名古屋城総合事務所
13号	上洛殿前庭土中ヨリ発見	昭和29年(1954)3月	名古屋城総合事務所
14号	天守閣入口東方石垣上ニテ発見	昭和29年(1954)4月	名古屋城総合事務所
15号	不明門ニテ発見	昭和29年(1954)6月	名古屋城総合事務所
16号	天守閣内ニテ発見	昭和29年(1954)12月	名古屋城総合事務所
17号	天守閣東南通路土中ヨリ発見	昭和30年(1955)4月	名古屋城総合事務所
18号	昭和十二年金鯰盗難事件の難品	昭和12年(1937)3月	名古屋城総合事務所
19号	第一回分析品 名古屋工業研究所ニテ	昭和28年(1953)7月	名古屋城総合事務所
20号	天守閣西北道路上ニテ発見	昭和30年(1955)9月	名古屋城総合事務所
21号	—	昭和32年(1957)12月	名古屋城総合事務所

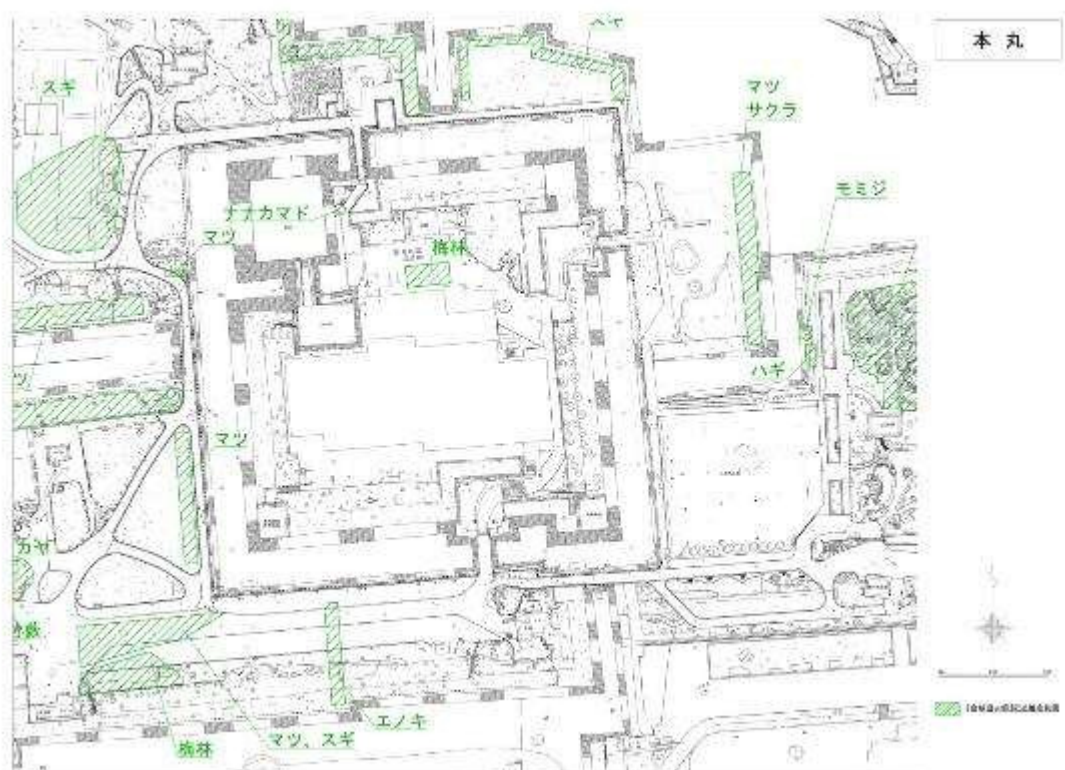
資料-3 『金城温古録』に記録された植栽

表 『金城温古録』に記録された植栽

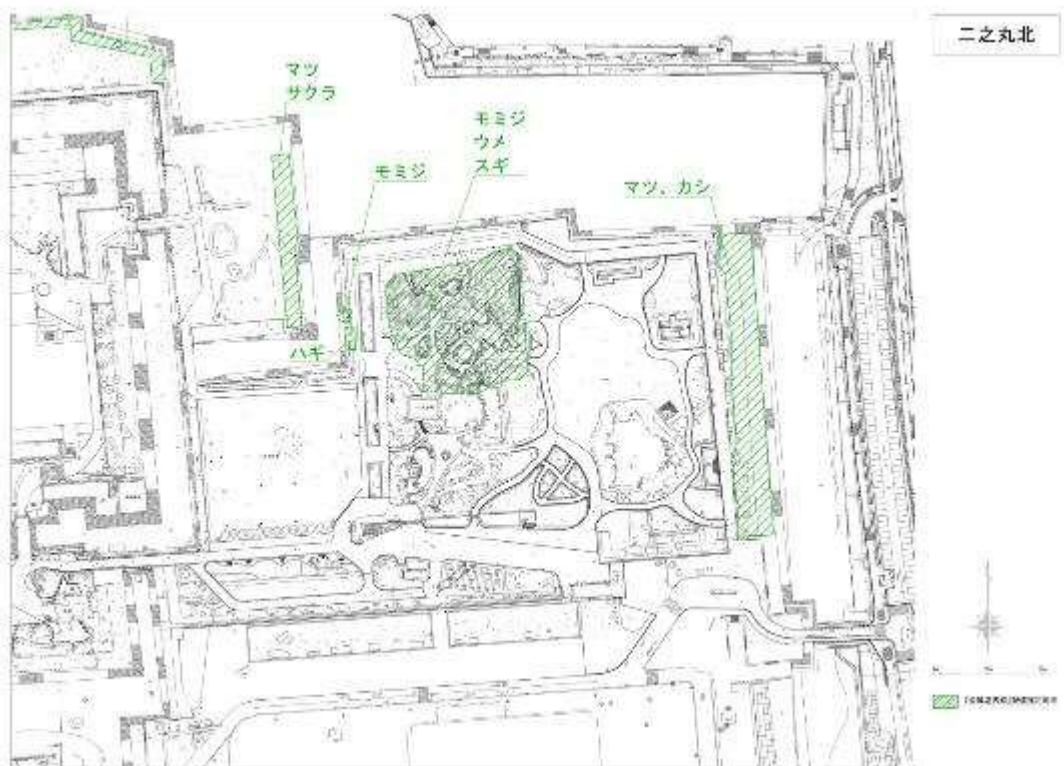
地区	樹種名	場所	主な記述内容
本丸	ななかまど 七 竈	不明門南西	(図より)
	梅	本丸御殿北	(図より) 梅林
	松	搦手馬出東土塁	(図より) 松ノ並樹アリ
	桜	搦手馬出東土塁	(図より) 桜ハ文政ニ植ル
二之丸 (北)	松・榎	東御土塁	御植ものは松なり。下には榎の木多かりし也。
	紅葉	北御庭	高雄の紅葉 北御庭に有。秋に到りて楓葉紅を染む。
	梅	北御庭	難波の梅 老樹一株、北御庭の内に有り。
	萩	埋門南側	(図より)
	杉	権現山	老杉 例の土佐杉と云 森々と生繁りて、
二之丸 (南)	紅葉	埋門上	網掛の紅葉 埋御門上に楓の大木有り。
	姫小松	向屋敷矢場芝玉縁上	芝玉縁上に姫小松の並木植れり。
西之丸	榎	正門北側	老樹の榎ありて、御造営以前よりの古木也といふ。
	松	吹貫門から透門までの通り	此道半分松枝繁茂 夏日承涼
	松・杉	榎多門内屯	此内、林の所多し。(松・杉)
	梅	榎多門内屯	(図より) 梅林
	榎	大手馬出との境にあった東側土塁	少し身がましき榎とては、榎多御門内東御土居に中樹一本これ在り。
	竹	塩蔵北	竹藪 土戸内御塩蔵の北に在り。
	竹	塩蔵北竹藪の西	新竹藪 古在来竹藪の根、其西芝地へ生渡りし。
	松・杉	西側・北側土塁(鵜の首南)	御蔵北西御高堀内に大杉多く、松も交り、一重並有之。
	松・杉	月見櫓東側	月見櫓東へ北向御高堀内は、中程より西は松、東は杉也。
	松・杉	西側土塁(月見櫓南)	西御土居には松多くて杉少し。
御深井丸	松	透門北側土塁	御土居上の植木は松なり。
	杉	塩蔵構	御塩蔵構は東・北・西の三方御堀境に、杉の樹一重並あり。
	杉	御旅蔵周辺	御旅蔵の西前東後とに大杉むら立り。
	松・杉	西側石垣上、北側石垣上、塩蔵構との境の土塁上	東御土居の上、北西高堀内の内に大杉一重並あり、間松も交ざりし。
	松・杉	南側土塁	南御曲輪土居の上は西端に大杉あり。其れより東端迄之内に松生たり。
	柿・栗	御深井丸内	御深井丸広庭の内に、柿・栗の大樹、所々に在し。
	胡桃	御深井丸内	御深井丸広庭の内に、又、胡桃の樹多く、



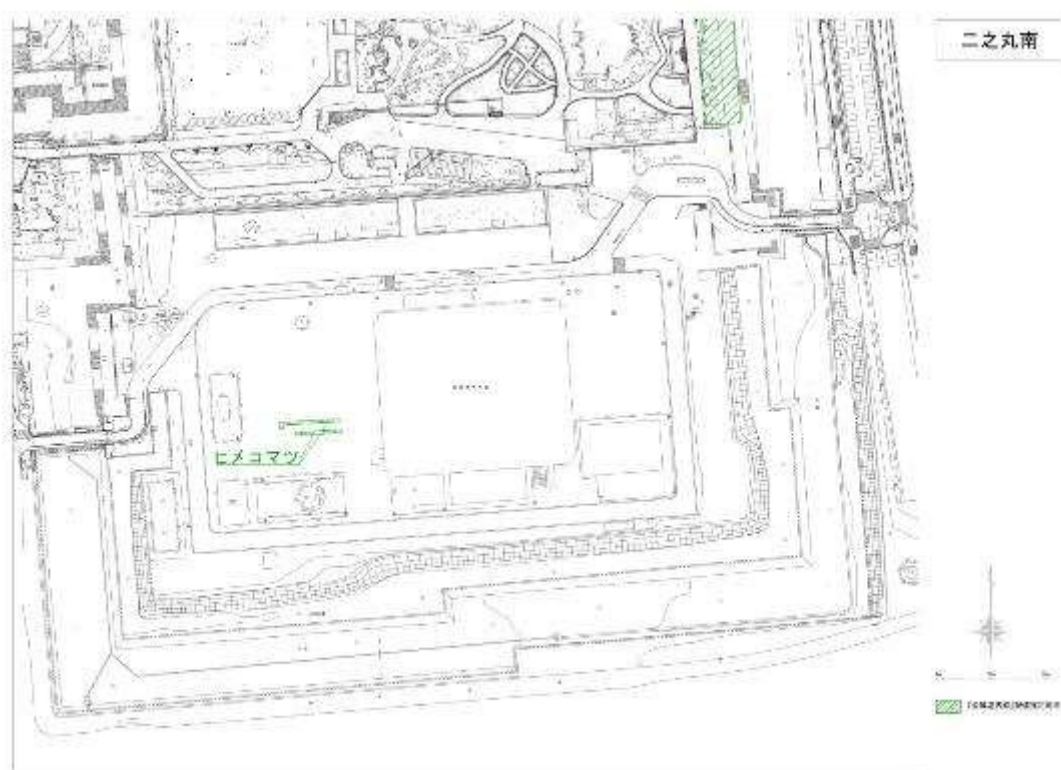
全体図



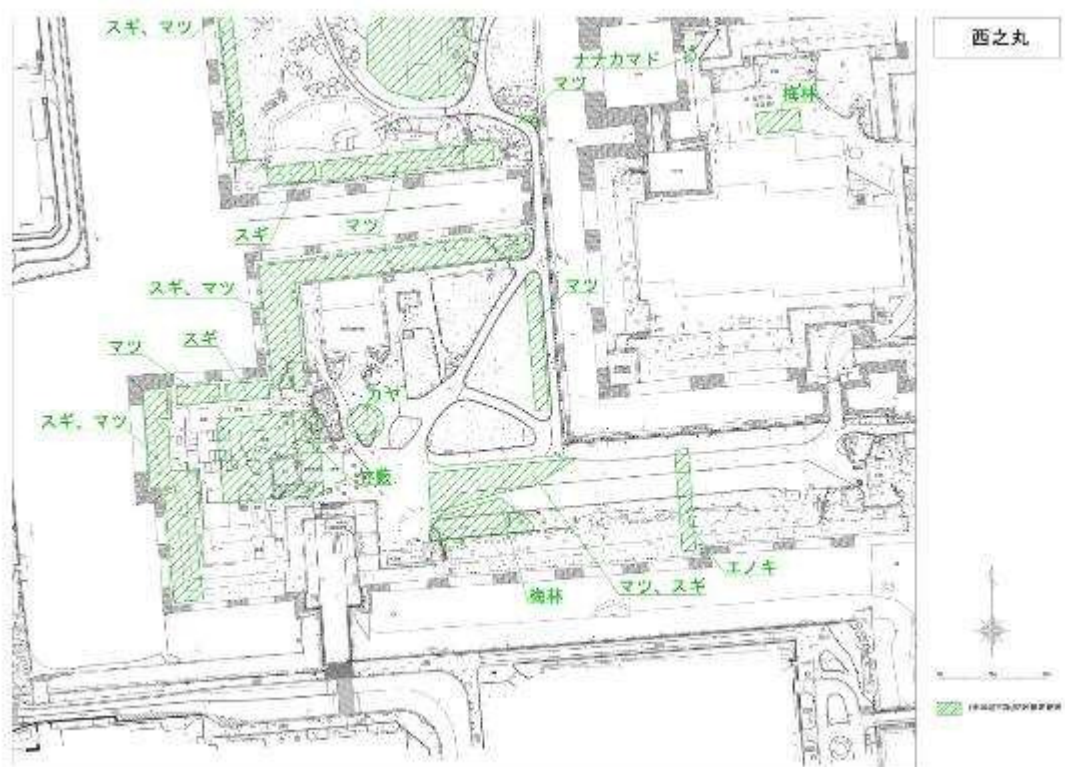
本丸



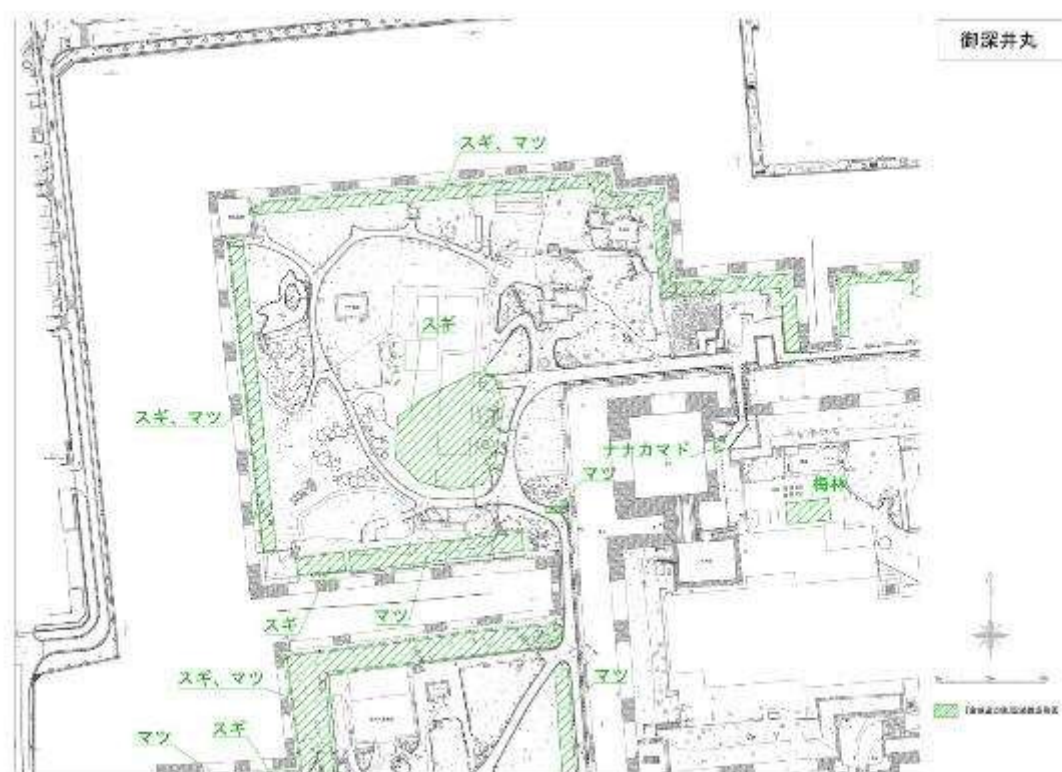
二之丸(北)



二之丸(南)



西之丸



御深井丸

資料-4 引用・参考文献

<調査報告書等>

- ・愛知縣 1931『愛知縣史蹟名勝天然紀念物調査報告 第九』愛知縣
- ・名古屋ため池生物多様性保全協議会事務局 2009『2009 年度なごやため池生きもの生き生き事業報告書』名古屋ため池生物多様性保全協議会事務局
- ・名古屋ため池生物多様性保全協議会 2011『平成 22 年度生物多様性保全推進支援事業 名古屋ため池生き物いきいき事業報告書』
- ・なごやため池生物多様性保全協議会 2012『平成 23 年度生物多様性保全推進支援事業 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書』
- ・なごやため池生物多様性保全協議会 2013『平成 24 年度生物多様性保全推進支援事業 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書』
- ・なごやため池生物多様性保全協議会 2014『平成 25 年度生物多様性保全推進支援事業 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書』
- ・名古屋市 2015『名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや 2015 植物編』名古屋市
- ・名古屋市 2015『名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや 2015 動物編』名古屋市
- ・なごやため池生物多様性保全協議会 2015『平成 26 年度なごや生物多様性保全活動協議会活動報告書』
- ・なごやため池生物多様性保全協議会 2016『平成 27 年度なごや生物多様性保全活動協議会活動報告書 資料編水辺の生きもの部会』

<名古屋城跡関連計画>

- ・名古屋城整備基本構想調査会 1987『名古屋城—21 世紀に向けて—名古屋城整備の基本構想 調査報告書—』名古屋市
- ・名古屋城管理事務所 1989『名古屋城整備基本計画調査報告書』名古屋市
- ・名古屋城管理事務所 1996『名古屋城整備課題調査報告書』名古屋市
- ・名古屋市 1998『名古屋城本丸御殿復元整備課題調査報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2006『特別史跡名古屋城跡全体整備計画』名古屋市
- ・名古屋市 2009『名勝名古屋城二之丸庭園 植栽修復における支障木第一次除伐計画書』名古屋市
- ・名古屋市 2009『名勝二之丸庭園における支障木調査報告書』名古屋市
- ・名古屋城総合事務所 2010『名古屋城本丸御殿展示・観覧等基本計画書』名古屋城総合事務所
- ・名古屋城管理事務所 2011『名古屋城整備課題調査報告書』名古屋市
- ・名古屋城総合事務所 2011『名古屋城天然記念物「カヤ」調査報告及び保存計画』名古屋城総合事務所
- ・名古屋城総合事務所 2011『名古屋城本丸御殿展示・観覧等実施計画書（観覧・利活用編）』名古屋城総合事務所
- ・名古屋城総合事務所 2012『国指定天然記念物「名古屋城のカヤ」調査報告及び保存計画』名古屋城総合事務所
- ・名古屋市 2012『特別史跡名古屋城跡全体整備計画 増補版』名古屋市
- ・名古屋城総合事務所 2012『名古屋城本丸御殿展示・観覧等実施計画書（運営・維持管理編）』名古屋城総合事務所
- ・名古屋市 2013『重要文化財 名古屋城旧二之丸東二之門保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市教育委員会文化財保護室 2013 全面改訂『特別史跡名古屋城跡 指定地調書備忘録』名古屋市教育委員会文化財保護室
- ・名古屋市 2013『名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画書』名古屋市
- ・名古屋城総合事務所 2014『名古屋城西之丸樹木調査委託報告書』名古屋城総合事務所
- ・名古屋市 2014『名古屋城二之丸大手二之門耐震診断調査委託（その 2）構造体調査・基礎診断報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2015『重要文化財 名古屋城西南隅櫓保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2015『名古屋城南蛮練塀 保存基礎検討調査報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2016『名古屋城消防計画』名古屋市

<石垣修復工事報告書等>

- ・名古屋市他 1985『特別史跡名古屋城跡 表一之門跡 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 1989『特別史跡名古屋城跡 塩蔵門跡 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 1992『特別史跡名古屋城跡 東一之跡（西側） 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 1994『特別史跡名古屋城跡 くるみ林・塩蔵構境 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 1997『特別史跡名古屋城跡 二之丸旧東二之門跡北側・二之丸東面 石垣保存修理工事報告書』名古屋市

- ・名古屋市 1998『特別史跡名古屋城跡 塩蔵構南面 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2000『特別史跡名古屋城跡 二之丸東二之門跡 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2002『特別史跡名古屋城跡 不明門北東 石垣保存修理工事報告書』名古屋市
- ・名古屋市 2006『特別史跡名古屋城跡 本丸搦手馬出跡 石垣修復工事発掘調査報告書一元御春屋門地点の調査一』名古屋市

<発掘調査報告書等>

- ・名古屋市教育委員会 1989『名古屋城三之丸遺跡一1・2・3次調査の概要一』名古屋市教育委員会
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 1990『名古屋城三之丸遺跡Ⅰ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 1990『名古屋城三之丸遺跡Ⅱ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市教育委員会 1991『名古屋城本町御門跡発掘調査概要報告書』名古屋市教育委員会
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 1992『名古屋城三之丸遺跡Ⅲ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 1993『名古屋城三之丸遺跡Ⅳ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市教育委員会 1993『名古屋城三之丸遺跡第4・5次発掘調査報告書-遺構編・遺物編』名古屋市教育委員会
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 1995『名古屋城三之丸遺跡Ⅴ-旧名古屋営林支局地点の調査一』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市教育委員会 1995『名古屋城三之丸遺跡第6・7次発掘調査報告書』名古屋市教育委員会
- ・名古屋市教育委員会 1997『名古屋城三之丸遺跡第8・9次発掘調査報告書』名古屋市教育委員会
- ・名古屋市教育委員会 1999『名古屋城三之丸遺跡第10次発掘調査報告書』名古屋市教育委員会
- ・名古屋市教育委員会 2000『下水道工事に伴う埋蔵文化財報告書』名古屋市教育委員会
- ・株式会社西日本電信電話名古屋支店 2001『名古屋城三之丸遺跡一平成12年度NTT電話工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』株式会社西日本電信電話名古屋支店
- ・名古屋市教育委員会 2002『愛知県埋蔵文化財情報19』名古屋市教育委員会
- ・東邦ガス株式会社 2002『名古屋城三之丸遺跡一ガス管理設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』東邦ガス株式会社
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 2003『名古屋城三之丸遺跡Ⅵ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市上下水道局水道本部 2004『名古屋城跡市下門跡発掘調査報告書-西区樋ノ口町地内400号排水管布設工事にかかる埋蔵文化財発掘調査報告書-』名古屋市上下水道局水道本部
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 2005『名古屋城三之丸遺跡Ⅶ-旧国立名古屋病院地点の調査一』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市教育委員会 2006『特別史跡名古屋城跡本丸搦手馬出石垣修復工事発掘調査報告書一元御春屋門地点の調査一』名古屋市教育委員会
- ・(財)愛知県埋蔵文化財センター 2008『名古屋城三之丸遺跡Ⅷ』(財)愛知県埋蔵文化財センター
- ・名古屋市 2009『特別史跡名古屋城跡 本丸御殿跡発掘調査報告書一1・2・3・4次調査一』名古屋市
- ・名古屋市緑政土木局 2011『特別史跡名古屋城跡発掘調査報告書(2011)-市道樋ノ口町線整備事業に伴う埋蔵文化財調査の記録-』名古屋市緑政土木局
- ・名古屋市 2015『名古屋城三之丸遺跡 金シャチ横丁事業に伴う発掘調査報告書』名古屋市
- ・名古屋市教育委員会 2015『本丸御殿跡発掘調査報告書一第9次調査一』名古屋市教育委員会
- ・名古屋市教育委員会、名古屋城総合事務所 2016『特別史跡名古屋城跡発掘調査報告書(名古屋城西之丸発掘調査)』名古屋市教育委員会、名古屋城総合事務所
- ・名古屋市教育委員会 2016『名古屋城三之丸遺跡 第12次発掘調査一調査成果の概要一』名古屋市教育委員会

<参考文献等>

- ・安田・長瀬・松永 2014『名古屋城外堀に生息するヒメボタル *Luciola parvula* の発光数の記録』
- ・水谷盛光 1972『名古屋城叢書4 実説 名古屋城青松葉事件』名古屋城振興協会
- ・水谷盛光 1979『名古屋城叢書6 史話 名古屋城と城下町』名古屋城振興協会
- ・岡本柳英 1980『名古屋城叢書7 秘境 名古屋城御土居下物語』名古屋城振興協会
- ・岡本柳英ら 1980『名古屋城叢書3 名勝史蹟 名古屋城の庭園』名古屋城振興協会
- ・服部鉦太郎 1981『名古屋城叢書2 特別史蹟 名古屋城年誌』名古屋城振興協会
- ・服部鉦太郎 1982『名古屋城叢書8 巷説 名古屋城綺伝』名古屋城振興協会
- ・内藤昌・渡辺勝彦・他 1985『日本名城集成 名古屋城』小学館
- ・服部鉦太郎 1987『名古屋城叢書9 史伝 名古屋城旧聞録』名古屋城振興協会
- ・山田秋衛 1993『名古屋城叢書1 特別史蹟 名古屋城』名古屋城振興協会
- ・城戸久 1994『名古屋城叢書5 特別史蹟重要文化財 名古屋城雑記』名古屋城振興協会
- ・服部鉦太郎 1995『名古屋城叢書10 特別史蹟 名古屋城いまむかし』名古屋城振興協会
- ・林昌利 2000『続・名古屋城叢書3 名古屋城の自然・昆虫編』名古屋城振興協会
- ・林昌利 2001『続・名古屋城叢書4 名古屋城の自然・樹木と薬草編』名古屋城振興協会
- ・林昌利 2002『続・名古屋城叢書5 名古屋城の自然・野鳥編』名古屋城振興協会
- ・名古屋城特別展開催委員会 2008『名古屋城特別展 失われた国宝名古屋城本丸御殿一創建・戦火・そして復

元』名古屋城特別展開催委員会

- ・名古屋城総合事務所 2013『本丸御殿の至宝 重要文化財 名古屋城障壁画』名古屋城本丸御殿 PR イベント
実行委員会
- ・名古屋城総合事務所 2013『名古屋城特別展 巨大城郭 名古屋城』名古屋城特別展開催委員会
- ・名古屋城総合事務所 2014『名古屋城特別展 天下人への道—信長、秀吉、家康の合戦—』名古屋城特別展開
催委員会

資料-5 用語の解説

－ ア行 －

■遺構（イコウ）

現存している古い時代の建物や土木構造物など、および発掘調査で出土した、それらの跡。

■馬出（ウマダシ）

城門からの人馬の出撃を敵から隠したり援護したりする目的で、城門前の堀の外側に築いた小区画。

■営倉（エイソウ）

近代の陸軍の兵営内にあって、懲罰のために兵士を拘置した施設。陸軍懲罰令では重営倉と軽営倉との別があった。

－ カ行 －

■外観復元建造物

（ガイカンフクゲンケンゾウブツ）

復元建造物のうち、本来と異なる構造や材料等を用いて外観だけを復元した建造物。名古屋城では、天守閣や正門。

■唐破風（カラハフ）

円く上方に反り上げた曲線状の破風。古くから社寺建築や邸宅に用いられ、天守や櫓の装飾としても設けられる。

■搦手（カラメテ）

城の裏側からの入り口や道筋。

■曲輪（クルワ）

城を構成する区画で、石垣や土塁や堀などで囲われる。

■広域避難場所（コウイキヒナンバシヨ）

主として地震による火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するために必要な面積を有する公園、緑地等。

■公儀普請（コウギブシン）

江戸時代に將軍の命令で大名らに課して行われた普請（土木工事）。江戸城、名古屋城、大坂城などの城郭築造で実施された。天下普請ともいう。

■工作物（コウサクブツ）

建築に準じる屋外の構造物で、人が内部に居住しないものをいうが、定義は様でない。

■高麗門（コウライモン）

城門の一種。門扉の両側の鏡柱と背後の控柱で構成され、それらの上に小さな屋根をコの字形に架ける。櫓門と共に枳形門を構成する。

■刻印（コクイン）

石垣の石材に彫られた記号。普請時に石材の所有者や担当者を示すためのもの。

■虎口（コグチ）

城や曲輪の出入り口で、城門を設ける。

■国宝（旧国宝）（コクホウ）

昭和 25 年（1950）制定の文化財保護法により重要文化財に指定された建造物や美術工芸品などの有形文化財のうちとくに価値の高いものを指定。昭和 4 年（1929）制定の国宝保存法（廃止）によって定められた国宝は、混同を防ぐために旧国宝と通称される。

■国宝保存法（コクホウホゾンホウ）

日本の文化財保護に関する廃止された法律。昭和 4 年（1929）3 月 28 日制定。古社寺保存法（こしゃじほぞんほう、明治 30 年 6 月 10 日法律第 49 号）を引き継いで制定され、昭和 25 年（1950）8 月 29 日、文化財保護法施行に伴い廃止された。

■御三家（ゴサンケ）

江戸時代、尾張の徳川家(尾州家)、紀伊の徳川家(紀州家)、常陸の徳川家(水戸家)の総称。

－ サ行 －

■作事（サクジ）

石垣・土塁・堀などの土木工事である普請に対して、天守・櫓・城門・家屋などの建築工事をいう。

■算木積（サンギツミ）

長辺が短辺の 1.5 倍から 3 倍ある細長い直方体の石を、長辺と短辺が互い違いになるように石垣の隅部に積み上げていく方法。

■史跡（シセキ）

歴史上、重大な事件や各種の施設の跡。

■漆喰（シクイ）

消石灰に布海苔（ふのり）を加え、これに麻苳（あさすさ）あるいは和紙などを配合して水で練ったもの。

■重要文化財（ジウヨウブンカザイ）

昭和 25 年（1950）制定の文化財保護法によって指定された有形文化財。建造物・美術工芸品・典籍・考古資料など。

■荘園（ショウエン）

平安時代より室町時代にかけての貴族・寺社の私的な領有地。

■城郭（ジョウカク）

城や砦。外敵の侵攻から守るために築かれた防御施設。江戸時代には幕府が城と認めたものに限られるが、今日では陣屋や台場などを含めることがある。

■数寄屋造（スキヤヅクリ）

書院造に茶室の意匠を加えた風流な住宅建築様式。古くは茶室を数寄屋といった。

■造成（ゾウセイ）

作りあげること。

■層塔型（ソウトウガタ）

天守の形式の一つで、各重を寺院の層塔（三重塔や五重塔など）のように遞減させながら積み上げたような形式。それに対して、大きな入母屋造の屋根上に小さな上重を載せた形式を望楼型という。

－ タ行 －

■拓本（タクホン）

木や石、または石碑や器物に刻まれた文字・文様を墨粉やカーボン紙によって紙に写しとったもの。

■多聞（タモン）

石垣や土塁の上につくられた細長い櫓。多聞櫓・長屋櫓・渡り櫓・走り櫓ともいう。多聞は長屋のことで、共同住宅も多門という。本計画では「多聞」としており近世ではそのように書かれるが、正しくは「多門」である。

■梯郭式（テイカクシキ）

本丸の二方や三方を囲む曲輪の配置形式。本丸が中心ではなく偏った位置になる。

■帝冠様式（テイカンヨウシキ）

近代洋風建築に、日本建築の屋根をもつ最上階を被せた建築様式。昭和初期に現れたもので、愛知県庁舎がその代表例。これを軍国主義建築と評価するのは誤り。

■天守（テンシュ）

近世城郭の中心となる高層建築。名古屋城では、慶長 17 年（1612）に創建され、昭和 20 年の戦災で焼失した天守をいう。

■天守閣（テンシュカク）

近代になって生まれた、天守に対する俗称。名古屋城では、昭和 34 年（1959）に再建された現在の天守閣をいう。

■天然記念物（テンネンキネンブツ）

わが国にとって学術上価値の高い動物・植物・地質鉱物（それらの地域を含む）で、

その保護保存を主務官庁から指定されたもの。

■登録有形文化財

(トウロクユウケイブンカザイ)

有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して「有形文化財」と呼び、このうち、国が登録する登録有形文化財（建造物など）をいう。

■特別史跡（トクベツシセキ）

文化財保護法で指定した史跡のうち、特に歴史上、学術上の価値の高いものとして文部科学大臣が指定した史跡。

■外様大名（トザマダイミョウ）

江戸幕府で、徳川氏の家門またはその本来の家臣ではなく、主として関ヶ原の戦後に臣従した諸大名。

■都市公園（トシコウエン）

都市計画法第4条第6項に規定する都市計画施設である公園又は緑地で地方公共団体が設置するもの及び地方公共団体が規定する都市計画区域内において設置する公園又は緑地。

■土塀（ドベイ）

木造の骨組みに土塗りの壁を設けた塀。城郭では、これに狭間や石落を設ける。骨組みがなく、粘土塊を積み上げた土塀や瓦・小石を粘土で固めた土塀もあるが、城郭では少数派である。

■土塁（ドルイ）

土を盛り上げて築いた堤防状の高まり。曲輪の縁辺部などに築かれる。石垣に対して、土でできた斜面状の城壁は土居（ドイ）や土手というが、それらも合わせて土塁ということもある。

－ ナ行 －

■那古野城（ナゴヤ・ナゴノジョウ）

大永年間（1521～1528）に現在の二之丸付近に、今川氏親が築いたとされている城。

■縄張（ナワバリ）

曲輪の配置を中心とした城の平面構造のこと。築城に際して、縄を張りめぐらしたことから縄張とよばれたという。

■練堀（ネリベイ）

木造の骨組みをもたない土堀。粘土に古瓦や小石などを混ぜて築く。名古屋城では二の丸の北面に設けられた。狭間を開きにくいので、城郭にはあまり使われなかった。

－ ハ行 －

■廃藩置県（ハイハンチケン）

明治4年（1871）7月、政府が旧来の藩制を廃して全国に郡県制度をしき、中央集権をはかった施策。

■版籍奉還（ハンセキホウカン）

明治2年（1869）全国の各藩主が旧来領有していた土地と人民とを朝廷に返還したこと。わが国封建政治を終結し中央集権を促すための大変革で、廃藩置県の前提。

■藩主（ハンシュ）

江戸時代、藩の領主。大名。藩侯。

■平城（ヒラジロ）

近世城郭の築城形式の一種。高低差のほとんどない平野の中に築かれた城。

■復元建造物（フクゲンケンゾウブツ）

史跡において、旧来の工法、材料等を用いて史実に基づき忠実に復元した建造物。名古屋城跡では、本丸御殿及び不明門等を指す。

■武家屋敷（ブケヤシキ）

武家は大名・旗本をさす語なので、本来は江戸城周囲に設けられた大名屋敷をいう。城下町に居住した大名の家臣の屋敷は侍屋敷と呼ばれたが、近代になってそれらも武家屋敷と誤って呼ぶようになった。

－ マ行 －

■埋蔵文化財（マイゾウブンカザイ）

土中に埋蔵されている古い時代の建築跡や遺物など。

■枡形（マスガタ）

城門の前や後ろにつくられる四角形の広場。周囲を石垣・土塀・多門櫓などで囲い、侵入する敵に射撃を加える。米を計量した枡（升・斛）の形になぞらえた名称。

■枡形門（マスガタモン）

枡形の外側に高麗門、内側に櫓門を設けて、二重構えの城門としたもの。

■未告示（ミコクジ）

国家や地方公共団体などが、ある事項を公式に広く一般に知らせることを告示という。それがまだされていないこと。
本計画では特別史跡指定範囲として告示されていない箇所を指す。

■未指定（ミシテイ）

指定されていないこと。本計画では特別史跡指定範囲に指定されていないことを指す。

■名勝（メイショウ）

景色のすぐれた地。勝地。
文化財保護法第2条第4項において「庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上の価値の高いもの」と定義された文化財（記念物）のうち、同法第109条に基づき文部科学大臣が「重要なもの」として指定したものの。

－ ヤ行 －

■櫓（ヤグラ）

四方を展望するために設けた高楼。城郭建築では、敵情視察または射撃のために城門・城壁などの上に設けた。

■櫓門（ヤグラモン）

階下を城門とし、その上に渡り櫓を設けたもの。

特別史跡名古屋城跡保存活用計画

発行 名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所
〒460-0031 名古屋市中区本丸1番1号
電話 052-231-2488 FAX 052-201-3646
発行年月 平成30年5月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。